(明治四十八年十二月二十五日第三種郵便物認可)

十月四日發行
發行人 鈴木 …
滿洲日報社

皇軍を侮辱する報告 正義上根本的に排擊
憤慨せる陸軍當局見解

【東京四日發】わが陸軍ではリツトン報告書が九月十八日の我軍の行動につき正當な自衞手段さ認むることを得ずさなしてゐる點に著しく刺戟され之は單なる認識不足にとゞまらずして**故意に基く皇軍の侮辱であり越權の沙汰**であるさ憤慨し完膚なきまでに之に痛擊を加へる決心である、陸軍の見るところでは報告書がかゝる不遜の文句を使用するに至つたのは

一、我軍の鮮かな手際を見て計畫的なものと見たこと

二、學良が九月六日王以哲に對し日本軍さ事を構へるなさ訓令したさいふ**學良側の言明を故意に重視したこと**

三、王以哲が日本軍に對し無抵抗主義を執つたさ言明したことを故意に重視したこさ等に基因するもので事變發生當時すら日本軍の自衞權の範圍逸脫を論じた者がなかつたのにかゝはらず**調査團がかゝる根本問題につき故意に虛構の說をなすはその任務と逆行するもので正義確立のため根本的に排斥せ**ざるを得ぬさなしてゐる

重大難局展開を豫想
ジユネーヴにおける觀測

【ジユネーヴ三日發】日支問題に關心を有するものは報告書に對し種々の意見を吐いてゐるが反日分子は報告第四章、第六章の二章を振翳し聯盟の對日方針は之に依り確立したさいつてゐるが、他方には第一、第二、第三章などを通觀して轉くも昨年來聯盟が日本に對し採つた態度に若干修正を提議したものださいふものあり又第九、第十章は日本に對し大なる讓歩だと解し、殊に支那に鞏固なる中央政府が出來なければ日支問題は解決出來ぬさあるは日本の主張を或る程度迄放任靜觀する外なきに至りはせぬかさいつてゐる、然し有力筋の見解は若し日本が滿洲國につき形態上の讓歩を甘受するならば實質的に多くの利益を受ける結果にならんさ觀測され、日本代表部にもこの見解を重要視する者があるけれども今更日本が滿洲國承認から背進するかも知れぬさ豫想する者なく遂に重大な難局が展開されんさ豫想される

支那領土の共同管理具體化
支那少壯要人の反對

【南京三日發】國府側の意見は既報の如く大體報告書是認の態度だが、未だ贊否の正式意思表示はなさず蔣介石、汪精衞等首腦部の意見書到着を待つてゐるが、少壯要人連は調査團建議の解決案は支那領土の國際共同管理を具體化せんさするもので支那を侮辱するこさ甚だしく國民黨の主義、主張に甚だしき逕庭ありさて絕對反對意見を吐きたるものが多い

學良の機關紙毒つく

【北平四日發】學良の[illegible]告書に關し左の如く述[illegible]不法手段により滿洲が[illegible]たのを證明しながら原狀恢復を認めず、これを特殊自治區域さするが如きは侵掠者は必ず優越の地位を占め得るさ爲すもので矛盾も甚だしい、英帝國內のカナダやオーストラリヤは人民の自由意思により自治を享有してゐるが、東三省は脅迫に依るものだ、中國の公僕さして成るべく日本人を顧問さして採用すべしさなしてゐるが一度日本人の性質に思ひを及ぼす時中國の公僕云々は笑止の至りである、日本が報告書の解決案に對して斷然反對の事は始めから明かだ

鮑滿洲國代表永井拓相訪問 滿洲國代表さして先般來朝した鮑觀澄氏は一日午後三時永井拓相を官邸に訪問し着任の挨拶を述べ種々懇談後乾盃を擧げ退去した、寫眞、乾盃する(中央)鮑代表(右)永井拓相

既定方針により國難を打開せよ
經濟聯盟政府を鞭撻

【東京四日發】リツトン卿の報告書に對し財界は擧つて滿洲問題に關する根本的認識を誤つてゐる點を指摘し、滿洲國承認さいふ嚴然たる事實の上に立脚して飽く迄既定方針の下に聯盟總會に臨むべしとの意見を述べて政府を鞭撻してゐる、殊に注目すべき點は經濟團體が一丸さなつて政府を援助し擧國一致の外交を確立して國難を打開せよさの有力意見が擡頭した事で我國經濟團體の主力である經濟聯盟は該運動の先鞭をつけるため來る五、六兩日開催の常議員會に本問題を附議し帝國の立場を中外に聲明する筈である、而して經濟聯盟の主張する所は我經濟聯盟はり[illegible]

報告書の重要な二點 南京當局は銳意考慮中
羅文幹外交部長聲明書發表

【南京三日發】リツトン報告書に關連し南京政府は本日午後六時外交部長羅文幹の名を以て左の聲明書を發表した

報告書は既に公表を見た、之はリツトン卿以下の調査委員が數ケ月を費し國際平和のためにせる努力の結晶である、吾人惟ふに昨年十二月十日聯盟が調査團派遣に決定し、日本が支那の領土を侵略した事態に關し最後の根本解決方法に貢獻せんさ欲して此日ブリアン氏が聯盟理事會に調査團派遣の決議案を上程し採決に當り曰く「調査範圍は原則上極めて廣汎である、此の問題は國際關係に影響し日支兩國の平和を攪亂したが**和平手段に依つて兩國間の諒解の可能性あるかを調査團に依つて研究**すべきで如何なる事項も除外してはならぬ」さ、故に調査團の職務は調査し得る一切の關係事項及び和平解決方法を以て聯盟に建議し得るは完全正確な解釋である、**報告書を總覽するに最も顯著な二點あるを觀取**出來る、其一は九月十八日、夫以後の一切の日本の軍事行動は等しく正當の理由なくして自衞手段さ認められぬ事、第二は所謂滿洲國なるものは正しく自然の獨立運動に依り生れたものに非ずして日本文武官吏の操縱に依つて造作された結果であるさいふ事だ**報告書が包含する幾多の性質は極めて重要のものであつて現に中國當局は銳意考慮中**である【寫眞は羅文幹】

正義の立場から斷然頑張るべし
長島代議士の意見

政友會代議士長島隆二氏は去月十九日東京を出發朝鮮經由京城にて宇垣總督と面談の上新京に滿洲國要人を訪れ主さして經濟財政方面の視察中であつたが、この程來連四日出帆はるぴん丸で歸京の途についた、出發に先だち語る

滿洲國の獨立については自分は旣に昨年七月から堂々さその正しきを論じて來たが私見通りになつた事は實によろこばしい、その裏面における滿洲國側要人それに之を支持する我國民の輿論の力は決して忘れられない、國際聯盟の報告書がどうあらうさ正義の立場において頑張るべきだ、今回は主さして財政經濟方面の視察をなし次の議會への勉强をしたのだ、財政の方は心配してゐたが色々聞くさ大丈夫らしいのでホッさ安心した、經濟方面も大筋にいへばどうやら軌道に乘つたらしいからこれも安心した、今後はどうしても治安維持に全力を注ぐべきだらう

滿鐵關係の事項を專門的に詳細檢討
我代表に資料を提供

世界の環視の裡に玉手箱の蓋を明け、目下轟々の議論を捲き起してゐるリツトン報告書の原文および邦譯文は一部づゝ滿鐵に急送することゝなり、三日朝東京發の飛行機に積込まれた旨外務省より滿鐵本社に入電があつた、同機は四日午前十一時周水子着、自動車で郵便局に託送されそこより滿鐵より出迎への自動車に積込まれて滿鐵本社調査課に送られ、到着さ同時に邦譯文は四部乃至五部に分割して印刷に附することゝなつた、これがため三日午前市中の有力な印刷業者の代表が滿鐵本社に集合したが、徹夜で急いでもなほ三日を要するから完成までは今週一杯かゝるものさ見られてゐる、滿鐵では約百部印刷して社內關係各箇所に配布しリツトン報告書において滿鐵および滿鐵關係の事件や事業が如何に取扱はれてゐるかを專門的に精密に研究し對策を決定し、又近くジユネーヴに開かれる聯盟理事會に出席する我代表に資料を提供する筈

松岡代表は來る十五日出發
小林代議士を同伴

【東京四日發】帝國代表松岡洋右氏は來る十五日代議士小林絹治氏を隨へ愈々ジユネーヴへ向け出發する筈

滿鐵提供の資料整理

聯盟調査團の來朝以來、これが案內および說明の衝に當つたのは外務省であるが、四月二十一日一行が大連上陸以來は、滿鐵は最も重要な役割を演じた、滿鐵が一行のために用意した社員は三十二名で內二十名は直接一行に接觸して居り、支出した經費はなほ淸算を終へぬが十二三萬圓に達する見込みである、殊に滿鐵は多年滿洲に關して基本的な調査を行つてゐたのでこれらの資料は最も一行より重視され、又山口營業課長の鐵道問題に關する說明などは一行を動かし、わざわざ北平まで招かれ、これがため經濟問題についても滿鐵より社員を北平に派遣して貰ひたしさの希望が來る有樣であつた、かく調査團一行さ滿鐵さは密接な接觸があつただけに兩者間の質問應答その他の關係書類は調査課の戶棚一つを一杯にするほど浩瀚なものになつてゐる、目下これが整理中で近く總裁に報告書を提出すべく渡邊調査課員が第一篇を長谷川同課員が第二篇を擔當、つゞいて各關係者が各部門を分けて執筆を急いでゐる、なほ裏面に色々な面白いエピソードもあり、記錄さしても貴重なものなので、各關係者で一般向の物語風の單行本をつくり長く殘しておかうさいふ議もあり目下計畫が進められてゐる

陸軍省明年豫算 五億千七百萬圓
內事件費一億三千七百萬圓

【東京四日發】陸軍省の明年度豫算は昨日大體決定したが、總額五億一千七百萬圓に達しその內譯は通常豫算二億一千萬圓、兵備改善費三億七百萬圓で兵備改善費には滿洲事件費一億三千七百萬圓が含まれてゐる、之が財源は國防充實費の繰合せより支出する

聯盟總會本會議
非常任國改選

【ジユネーヴ三日發】聯盟總會本會議は三日午前十一時再開先づポーランドの非常任理事國としての再選可否、選擧權要求の件につき投票の結果三一對六票（四票棄權）を以てポーランドの要求可決、續いて過般理事會可決のイラックの聯盟加入につき滿場一致承認之により聯盟加入國五十七國さなつた

【ジユネーヴ三日發】總會本會議は引續き午後三時半より續開、滿期非常任理事國の改選の結果ポーランド再選、ペルー、ユーゴースラビアの後任さしてメキシコ、チエッコ兩國新に選出された

リ卿倫敦着

【ロンドン二日發】日支紛爭に國際的巨彈を投じた調査團委員長リツトン卿は本日ロンドン着九月ぶりで故國の土を踏んだが驛頭にはサイモン外相その他出迎へあつた

うすりい丸船客

【門司特電四日發】六日大連入港豫定のうすりい丸の主なる船客諸氏

東京外語教授田代光雄、東大教授西內宏、京大教授濱田耕作、岡崎騎兵少佐、工業クラブ伊庭彰一、肥田琢司、吉田直助、出羽政助、天野賢治、神保敏男、下田文吾、秋山正八、原田辰男、大塚貞次郎、古山石之助、小原騎兵少佐

國際政局と滿洲問題の自主的解決
中野正剛氏の講演 (六)

本社主催の中野正剛氏講演會は既報の如く二十七日午後開催非常なる盛況を示したが左に連載するのは當日に於ける氏の講演の要領を筆記したものである、氏は演題を特に明示しなかつたのでその要旨を汲んで假に「國際政局さ滿洲問題の自主的解決」さ表題して置いた、文責さ共に題名も亦記者に責任あるこさを茲に特記し講演者及び讀者の御諒解を願つて置く

私は嘗て新京において執政にも鄭國務總理にもお會ひした、そして盛んに滿洲國の王道政治論を聞いた、私はこの王道政治についてはさきに鄭總理のパンフレットも讀んだが、大學にある文句や孟子の言葉などが多數に引用されてゐる、而してそれ等の言葉は何れも私達が若い時代に習つたものであり日本においても儒教的王道政治は三百年の昔から盛んに說かれて來たものである。

唯日本の最初の王道政治論は說かれるのみで實行されてゐなかつた、即ちそれは朱子學によつてゆがめられた出來損ひのものであつたのだ、彼等は王道は先づ身を修め家を齊へ國を治め天下を定む、而して人を正しきに行はしむさ說くのであるが、この王道論を打破つたのが歐陽明であつたのだ

歐陽明派は身を治めるは家を齊ふため、家を齊ふるは國を治めるため云々のこさは事をなすの順序に非ず心を用ふるの順序であるさ唱へ心を正しくするこさゝ政治は一然であるさ說いたのであるが、日本においてこれを最初に唱へたのが即ち中江藤樹であり、次いで熊澤蕃山であつたのだ、只仁義を唱へこれを以て人に接するのみでは國家は治まらぬ、然らば何故困るか、それは世に政治がなく經濟がないためであるさして、こゝに具體的な方法を授けたのが熊澤蕃山であつたのだが、これこそ生きた王道の活用である、而して私はいま外交に關してもこの王道を利用すべきであるさ思つてゐる

支那の覇道的政治は遠交近攻の政策を執つたが、日本においてはこれさ似た例に織田信長があつて遠く友好を交へるものも日本であれば近くこれを攻めるものも、また日本であつたのである、今日は遠きは即ち英米佛露等であり近きは支那、滿洲朝鮮である、而して支那または織田信長の實行した覇道に反し私が述べた王道は先づ交りは近きよりこれを及ぼし、漸次にこれを擴大して遠きに及ぼさんさするものである、夷を以て夷を制せんさする覇道的外交を排し、近きより遠きに及ぼす王道的外交を行ふこさが今日の我々の急務であるさ信ずるものである

即ち我々は滿洲、朝鮮を結ぶ日滿經濟ブロックを完成し、漸次これを他國に及ぼして行くべきで、それには先づ攫取なき三千萬民衆の幸福を基調さする滿洲國の發達の中に日本の發達を求めるこさが今日の急務であるのである、私は日本の政界に率先して日滿統制經濟の確立が必要であるこさを說いたが今日においては、この日滿統制經濟なる言葉は全く大衆的に唱へられるに至つた

一口に統制經濟さいふも勿論その中には種々な重要問題が含まれてゐる、紡績、米穀、土地私有制等種々な問題が議論の中心さなるが、これが方針を決定するためには參謀本部を作るこさが先決問題であり、これには滿鐵をはじめ滿洲國に在住してその事情に精通される諸君の內より適任者が參加されるさ共に、日本內地の適任者もこれに加つて計畫を樹立すべきである

次に撫順炭移入制限問題が起きて大騷ぎさなつたが、結局その會合も明確な解決を下し得ずして終了した、私は日本さ滿洲に產する石炭問題の解決には結局兩國を通じた統制經濟を樹立するの他ないものさ信じてゐる、先づこれを値段について考へて見るさき兩國の石炭について相當の値開きのあることは當然であるが、今日本に產する石炭の價格を十圓さすればその價格構成分子の中には國稅をはじめ種々の稅金が含まれ、その他日本人勞働者さしての賃金等種々雜多な費用が入り込んでをり、即ち日本の一噸の石炭中には日本國民全部に對する國家の諸施設費に要する費用が入り込んでゐるのである、それを今租稅もかゝらず勞銀も安い中から生み出されて來た滿洲の石炭を以て、日本に持込まれた場合日本の石炭が驅逐せられることは當然である

かくなれば日本の炭礦勞働者から多數の失業者を出し惹いては國家の諸施設に要する費用の捻出まで困難にすることは必然であるかゝることは日本內地にとつては非常な打擊であることは事實であり以上宜しく相共に協調し、例へば內地の石炭が十圓であり、滿洲の石炭が五圓であるさすればその半をさつて七圓五十錢さし、內地の二圓五十錢の損失は滿洲の二圓五十錢の利益によつて埋めて行くさか、即ち双方の資源を共通にしその値段を統一してその統制をはかるべきであつて、それに伴つて石炭需要の道を新たに開拓して行くべきではなからうか

蛇角

◇東洋の一角に砂上樓閣を築かうさいふのがリツトン報告の結論。

◇軍縮の提案に輪をかけた空理空論が所謂報告書の妥協案なるもの

◇これで滿洲問題解決の鍵を握つたつもりは近頃チヤンチヤラ可笑しい次第。

◇リツトン調査團は多分滿洲問題調査の代りに、景氣樓見物でもして行つたのだらう。

◇體面か命か、むろん命が大切さ各方面の意見一致。

◇そこで日本人も大びらで偉夫になれる權利?が認められたわけ。

◇かさいつて命のためなら體面なご構はぬさいふ譯にも行くまい、醜業婦、物貰ひの徒よ、白日の下を遠慮せよ。

◇手摺りの縁あからめし喘衣かな

人事

▲增田義男氏（大汽專務）四日出帆はるびん丸にて內地へ
▲岡田源太郎氏（內外棉重役）同上
▲楠野健三氏（上海紡績重役）同上
▲長島隆二氏（政友會代議士）同上
▲井關安治氏（關東廳檢察官）同上
▲姬路師範滿鮮見學團一行八十三名 同上
▲船田要之助氏（前滿鐵大連工場長）四日入港香港丸にて來連
▲中根龜一氏（大林組工場監督）同上
▲小林政助氏（救世軍少佐）同上
▲中村新八郎氏（日本大學講師）同上
▲荒井延一氏（滿蒙植民協會大阪支部長）同上

滿蒙の戰慄 (11)
直木三十五作　淺枝次朗畫

闘爭 四ノ五

「何つ」

春井が、振り向いた。西城が

「麗子、行つちや駄目だ」

さ、叫んだ。麗が、その聲さ共に、涙を頰へ流して

「わかつたから、よして頂戴」

春井が

「何、云ふてんのんや、この子は」

さ、いふさ、素早く、麗の手を握つて、大きく一足踏み出した。

西城は

「待ち給へつたら」

椅子を押して、近づくさ、春井の手へ、手をかけた。

「何すんねん、あほらしい」

そう云つたかさ思ふさ、春井の左手さ、右脚さが、閃くやうに、西城の肩さ、脚さへかゝつた。一人の女給が

「あーつ」

さ、叫んで、自分が、抛げつけられたでもしたやうに、ボックスの所へ、小さくなつた。バアテンが

「春井さん」

さ、呼んで、走つて出てきた。西城は、テーブルにぶつかつて、椅子をつかみながら、椅子さ一緒に、床の上へ、轉がつてしまつてゐた。

「春井さん」

麗が、絕叫した。だが、その素晴らしい力の下に、ちゞんでゐるだけであつた。

「行け」

春井は、麗の手を引つ張つた。バアテンが、西城の起き上つた所へきて

「御負傷は、ございませんでしたか」

さ、囁いた。西城は蒼白な顏をして、春井を睨んだ。

「春井」

さ、叫んだ。

「まだ用かい」

「女に暴力を振つて、それでも、貴樣、男か」

バアテンが

「危いから、よしなさい」

さ、西城の腕をもつた。

「お前、中々、勇ましいな」

春井は、立ち止まるさ、西城の方に、向き直つた。麗が

「西城さん、いゝから──危いつ」

さ、叫んだ、その時だ。春井の手から、灰皿が西城のすぐ足もさの床の上で、毀れた。けたゝましい音が、部屋中、一杯になつた。マダムが立つた、隅の方へ行つた。西城のうしろのボックスの客が

「春井さん、賴むから、亂暴しないで」

さ、叫んだ。一人の客が

「おい、巡査でも、呼んで來いよ」麗が、可哀さうぢやないか」

さ、云つた。

「でも」

さ、女が、それに答へた時、西城が

「麗子、殺されるか、殺すかまでやるんだ」

それには、强い決心が、こもつてゐた。だが、麗子は、その意味が、よくわからなかつた。自分のこさか、西城のこさか──

「ふん」

春井は、微笑して

「男らしい文句だ。出ろ」

さ、云つた。

「よし」

西城は、つかつかさ、春井の方へ、近づきながら

「こいは、迷惑だ」

春井の前を、通りながら、こう云つた西城の顏は、凄い決心に、光つてゐた。

原理事長等を釋放し不拘束の儘取調べか

下田檢察官長の意見に對し池内檢察官等は反對

大日滿産業博不正事件の捜査は三日深更に至るまで地方法院檢察局池内、高井兩檢察官も居殘り、關係機關、關係者の取調べを行ひ一方大連署司法係も藤井司法主任以下總出で原理事長、石田理事を引出して嚴重取調べ、證據の蒐集に努めてゐるが多年利權漁りを以て世渡さしてゐる連中だけに巧に法網を潛り容易に尻尾を摑まれず、拘留期間の切れる四日午後三時までには刑法上の責任を負はしむるだけの確證を蒐むるに至らないさの理由の下に四日午前九時地方法院檢察局に出張した下田檢察官長は一應原理事長以下を釋放し不拘束で取調を進むるさの意見を有してゐるに對し池内檢察官、石井大連署長、藤井司法主任等は身柄拘束の下に取調べなければ捜査上大支障を來すさの强硬なる反對意見の下に下田檢察官長の間に協議が進められつゝあり成行は一般の注目を惹いてゐる、なほ原理事長等から博覽會々長に擔ぎ上げられた歩兵大佐佐藤庸也氏は四日午前十一時三十分大連署に出頭、石井署長さ會見し經過の顛末を陳情するさころあつた

近く拘引取調を受くるものさ見られ、事件は擴大を豫想されてゐる

逃走の恐れはない不拘束でもよい

下田檢察官長語る

下田檢察官長は四日午前九時大連地方法院檢察局に出張し池内主席檢察官より日滿博不正事件の經過を聽取、捜査方針に關する打合を行つたが、右に就き下田檢察官長は語る

事件は非社會性のもので不都合極まる行爲さ思つてゐる、犯罪範圍は日滿に跨る廣いもので五日や十日で捜査完了する事件でないから今後の嚴正な取調べの結果を俟たなければ何んさもいへぬが、今日被疑者達に逃走の憂ひ、又は證據湮滅のおそれなければ敢へて身柄を拘束して調べる必要もなからう、拘留時間は四日の午後三時迄であるからこの點に就いても池内檢察官さ協議して決定する、しかし身柄を釋放しても事件が片付かないさいふ譯でなく引續き徹底的取調べは行ふ考である

動かぬ證據は福券詐欺

小川部長撫順に急行

原理事長、石田理事兩氏の不正事件中動かぬ的確な證據を握られたものは例の四萬圓福券さして大連署の許可なきに無斷で賣出し撫順石原洋行こさ石原純一氏の七百枚（一圓福券）を初め鐵嶺、奉天、鞍山各地の代賣人を欺き約三千圓に達する詐取を行つてゐる點で、右の事件捜査のため小川部長は二日夜撫順に急行、被害石原洋行に就き取調四日朝歸連した、卽ち四萬圓福券賣に對し當時大連署では發賣を許可せぬ方針の下にあつたのを原理事長は恰も四萬圓を供托した如く裝ひ、撫順石原洋行外各地代賣人へ「許可された御盡力を乞ふ」との打電し代賣店を安心させ、約三千枚の福券を發賣させたもので、後に至つて無許可福券判り代賣店では狼狽し市民から福券の買戻しを行ふなどの騷ぎを演じたもので中には、代賣店から福券前渡しの代金を取つてゐるさころもあり代賣店の蒙つた損害は相當多額に達してゐる模樣である、なほ福券詐欺に關し大連市内某有力者が介在してゐるらしく

菊の秋

四日中央公園にて

標識視察船羅州丸

四日大連に入港

去る九月二十日横濱を出帆せる遞信省燈臺局航路標識視察船羅州丸は定期燈臺並に航路標識巡視のため遠州灘潮岬室戸岬を經て四日午前八時大連港外に到着した、同船には遞信省技師寺田武船長の外同燈臺局工務課技師遠藤邦夫氏以下係員を始め燈臺着識交替者を乘せて居り同日午前十時再び黄日嘴燈臺に向け出帆したが圓島燈臺及び同島務信號所等を巡視し六日午後二時再び大連に入港、四五日碇泊の上旅順方面の各燈臺を巡視の上長崎方面に赴く豫定である

一般の米人は戰爭が恐い

小林救世軍少佐の談

三十餘年に亘り米國にあつて日米親善に盡粹せる救世軍在米日本人部指揮官救世軍少佐小林政助氏は去る五月五日久方振りに歸朝、内地各都市を巡り視察並に講演中であつたが四日午前九時入港ほんこん丸にて來連した、氏は左の如く語る

滿洲事變後の滿蒙を視察し在米邦人は勿論米人の誤解を一掃する爲め事變前後の實情を歸米後各地で講演したいさ思つてゐる今次滿洲事變の勃發にて米國人の對日感情は非常に惡化したさ云はれてゐるが大西洋沿岸の

☆…**米人は** 從來餘り日本或は日本人さの接觸の機會が少い爲め日本に對する認識に乏しく兎角感情のみに走り、反感や排日的氣風があつたが太平洋沿岸各地は古く排日問題等を起し日本人に接してゐるので却つて比較的穩やかであつた、米國は支那の宣傳上手である事を充分知らないのでそれに乘ぜられ上海事變の續發した當時は相當惡感情は激化した、ハイスクールの學生等は邦人さ一緒には

☆…**不愉快** だから通學しない等さ云ひ出したりしたが日系米人の大學出身等が壇上に起つて日本の立場、その事情等を堂々さ述べ漸く學生の排日氣風を一掃に努めてゐた、私は明治四十三年に例の排日問題の喧ましい時米國の有識者に說きその非を論へたが當時の有識者は不用意に——日本人は米國へ來なくさも滿洲かシベリヤへ行け——さ云つたものであるから今日さなつては一語も云ひ得ない譯である、兎も角太平洋岸の米人は多少さも日本を理解して來てゐる、尤も或る新聞では漫畫等で日本を

☆…**侵略者** さして扱つてゐたが一般米人の意志は今戰爭は決してしたくないのである、大戰の悲慘な實情を知つてゐる彼等は戰爭を極度に怖れてゐる佛國邊りでは大戰當時の毒瓦斯の影響で十數年後の今日これが爲め死亡するものが續出する有樣で米人は歐洲大戰が自國の存亡には關係ないのに從軍しこの悲慘を知つてゐるだけに自國の存亡をかけての戰爭は好まないのが事實である、然し日本を非常に怖れてゐるのは事實である疑心暗鬼さ云つたものはあるが一般は決して

☆…**戰爭は** したくないのである、スチムソンが當時戰爭を慫慂したさ云ふのは國民の意をためしたためか、いづれにしても主戰論の眞意は疑問である日本へ歸つて　政府主腦者を見たが何れも平和論者であつて海外で傳へ聞くのには全く相反してゐる、私は凡べてを見聞して正しい認識を米人に與へたいさ考へてゐる

なほ同氏は五日午後七時半より基督青年會にて講演會を開き旅順、營口、奉天、新京、ハルビン、撫順、安東を經て内地へ向ふ筈である【寫眞は小林救世軍少佐】

支那選手がデ盃戰に出場

寄附金の募集に着手

【上海四日發】當地に於ける今シーズンの國際テニス競技は支那側の全勝に歸したので陳銘樞、黄紹雄、陳策、吳鐵城、張發奎等主さして關東系政客軍人が邱飛海林寶華等の選手を招待して祝賀宴を開いたがその席上寄附金十萬元を募集次期大會テビスカップアメリカゾーンに邱飛海林寶華派遣を協議直に寄附金の募集に着手した

警備隊員及邦人の被害頗る甚大

滿洲里、海拉爾の被害者八十餘名　滿鐵に入つた情報

西部國境地方における情況はその後正確な情報なく憂慮されてゐたが三日夜滿洲里よりチチハルに歸來した者の談さして同地より滿鐵本社に入つた情報によれば左のごさく滿洲里海拉爾共に形勢重大なるものがある

一、滿洲里國境警備隊は二十七日午前十時三十分　護路軍のため四十名銃殺され、在住邦人二十餘名また殺害された

二、滿洲里領事館員は一同監禁されてゐるが現在なほ無事

三、海拉爾においても國境警備隊二十名および内地人三名殺害され西山に埋められた

四、蘇炳文は一日付東北政府樹立を聲明し蘇は東北軍司令に張殿九は副司令に就任した

五、富拉爾基は約二百名の蘇張軍で嚴重防備してゐる

北滿に跳梁せる李海靑軍擊滅

中山枝隊活躍目覺し

チチハルよりの情報によれば中山枝隊は二日拂曉洮昂線大興の東北約十キロの前後官地附近にある**李海靑軍約三千に對し攻擊を行つたところ敵匪は周章狼狽して**洪水のため中島の形さなつた地區に逃げ込んだので**騎馬隊と協力し完全にこれを包圍し砲兵は砲列を敷き威力を遺憾なく發揮**し二日の日沒までには**敵の半數を擊滅し**三日朝より再び猛擊に着手殘存の敵に對し**飛行隊の應援を得て敵の全滅を期し攻擊を續行中である、**これによつて今春來農安、安達、明水、克山等黑龍江省内で猛威を振つてゐた李海靑匪は全滅することゝなつた【奉天電話】

接戰を期待される滿鐵對學生競技

九日午前十時開催

滿鐵運動會大連支部競技部對滿洲學生陸上聯盟の第一回對抗陸上競技は愈々來る九日午前十時より大連運動場において擧行するが既報の如く大連滿鐵軍は全精鋭をすぐつてこれにあたり學生聯盟軍もまた左記の如く旅順工大、奉天醫大南滿工專よりピックアップした近來稀に見る充實したチームで滿鐵軍を擊破せんさして居るので非常な接戰を期待されて居る

▲主將成毛（醫大）▲マネイヂャー 佐藤、重宮、村上（工大）村澤西（工專）大瀧、江副原、江口（醫大）
▲百米　增井、廣瀨、翠（醫大）井本、小粥（工專）重宮（工大）
▲砲丸投　高木（工專）須藤、山田（醫大）林（工大）
▲千五百米　成毛、谷口、林、小林（醫大）木村（工大）
▲走高跳　翠（醫大）服田、宮崎、難波（工大）大崎（工專）
▲四百米　增井、佐藤、林、今井（醫大）大瀧、宮崎（工大）
▲圓盤投　山田、須藤、神原（醫大）林（工大）高木（工專）
▲走巾跳　翠、入江、廣瀨、增井前澤（醫大）重宮、津山（工大）
▲高障碍　林、服田（工大）翠、清水（醫大）大崎（工專）
▲槍投　野上、前澤、山田（醫大）高木（工專）林（工大）
▲四百米繼走　增井、翠、奥山、今井（醫大）井木、小粥（工專）林（工大）

滿蒙植民協會の荒井氏來連

滿蒙植民協會大阪支部長荒井延一氏は四日朝入港香港丸にて來連したが氏は語る

内地の人は滿蒙を目ざして華々しく進出したい氣持ちは持つてゐるがまだ危險だと云ふ樣な恐怖觀念をもつてゐて尻込みしてゐる樣だ、私は今度滿蒙を詳しく本當に見てその安全である事を知らせたいさ考へてゐる、それさ同時に食糧問題についてもよく調査し内地人の參考に供したいさ思ふが大體豫定は十日位しかないので甚だ遺憾に思つてゐる

負傷戰士を「勞はりませう」

各小學校で映畫の會

負傷戰士をいたはりませう！のスローガンをかゝげて四月初旬起つた支那事變傷病軍人後援會滿洲支部ではその後滿鐵沿線各地に講演會の夕を開催して「負傷戰士をいたはりませう！」の宣傳に努める一方森永製菓のミルクキャラメル及びミルクチョコレート投入函を各所に配置して非常な好成績を收めたが更に第二期宣傳さして小學生を通じ各家庭にその趣旨を普及するため左の日程で各小學校で宣傳さ教育を兼ねた活動寫眞映寫會を開催することゝなつた

▲五日（午後一時）沙河口小學校▲六日（午前十時）大正小學校（午後一時）日本橋小學校▲七日（午前十時）朝日小學校（午後一時）聖德小學校▲十日（午前十時、午後一時の二回）伏見臺小學校▲十一日（午後一時）松林小學校▲十二日（午後一時）常盤小學校▲十三日（午後一時）下藤小學校▲十四日（午後一時）嶺前小學校▲十五日（午後一時）早苗小學校▲二十日（午後七時）春日小學校▲二十日（午後一時）大廣場小學校▲その他は未定

滿洲體育聯盟解散と決定

七日代表委員會に附議

事變發生直後、在滿各種、體育團體では滿洲體育團體聯盟を組織し傷病兵並びに奧地派遣の軍隊滿鐵社員の慰問、或は新國家設立に對する體育團體さしての要望等その業蹟に可成り見るべきものがあつたが滿洲國の成立さ共に新國家の組成は着々さ進捗し聯盟成立の直接目的も略達せられたので常任委員會において協議の結果

殘餘金を然るべき方面に贈り、一先づ本聯盟を解散することに意向定まり今後目的を變更して新な團體を作るや否やに付いては來る七日午後四時二十分より大連市役所樓上に於て開かれる代表委員會議に於て決定することゝなつた

旅大北八景ラヂオ放送

五日夜七時

本社が先に旅大北道路開通を記念もして募集した北道路八景は興味ある企てさして果然人氣沸騰讀者の絕大なる後援の下に審査委員及本社員の二回に亘る實地踏査の結果去る一日夕刊紙上に發表の如き選定を見たが更にこれ等勝地を一般に紹介し旅大市民愛好の景勝さなさんがため本社佐賀營業局長は五日午後七時よりラヂオを通じ「旅大北道路八景の選定に就いて」さ題し新八景の紹介の講演をなす筈

米新聞王手術

【クリーヴランド三日發】米新聞王ウイリアム、ランドルフ、ハースト氏は今日クリニック病院で手術を受けた、病名不明

達磨忌修行

五日は達磨大師の命日に當るを以て市内天神町常安寺では午後七時より達磨忌を修行し宗門最上の法式出班燒香を嚴修せらる筈多數御參詣ありたいさ

ミハト好評

磐城町通りに新に生れた三鳩菓子店は開店以來其製造品の上品にして美味且格安なる和洋生菓子は一般の嗜好に投じ工場は晝夜兼行の有樣だが特に國菓君が代は安くて味が良いので好評を博して居る

天氣豫報

五日　北の風晴　一時曇

滿潮（午前一時五分　午後一時十五分）
干潮（午前七時三十五分　午後七時十五分）

各地溫度（四日午前十一時）

地名	溫度
大連	一四、〇
旅順	一七、〇
營口	一五、〇
奉天	一三、〇
長春	一三、〇

けふの小洋相場（九時）
金百圓は一二一五圓四五錢

國難日本刀（114）

高桑義生作　京極佳夕畫

女の國（九）

「小松さんどうした？わたくし我慢出來ない」

とホールは繰返した。

「困つたねえ。今夜はあれほど固く約束したのだから、あの人の怒るのも無理はないし……」

鴇母や、女たちが當惑してさゝやきあつた。

「おかみさん、呼んで下さい。主人呼んで下さい」

「はいく只今……お玉さんはどうしたんだらう、見に行つたきり歸つて來ないし、あたし見て來るよ」

鴇母はあたふたと立ちあがつた

「あなた方みんなだめ……主人のほか、話わからない。わたくし主人に話す。主人呼んで下さい」

「はいく、只今呼びに參りました」

ホールは焦れてゐた。大勢の妓たちも、取りつく島もなかつた。座はすつかり白けてしまつた。そして不安な顔で女たちは、ひそひそと話し合ふ。

ホールはひとり葡萄酒をあほつた。

鴇母はお內證の外から、聲をかけた。ちやうどそれは、小松が詮方つきて、承諾の返事を與へたところだつた。

「おかみさん、おかみさん……」

「あいよ、何だねえ？」

「あのホールさんが大焦れに焦れ込んで、どうでも主人を呼んで來い……大變なけんまくなんですよ。どうしませう？」

「さうかい。いゝからちよつとお入りな」

お辰は小松の返事を取つてあるので、安心してゐた。

鴇母が入ると、小松は差うつ向いたきり、主人の久作は腕組をして、憮然としてゐる。重くるしい雰圍氣に、かの女は押だまつた。

「もう心配しなくてもいゝんだよ、やつと、いゝ返事をしてくれたのさ」

とお辰はいつた。

鴇母もホッとした。

「まあさうでしたか」

「顏さへ見せりやあ、すぐ溫和しくなるんだから、打つ壺つて置けばいゝんだよ。異人は子供のやうに現金なんだから……」

「ほんとうに、困りましたよ。では、すぐ出てくれるんですね」

「あゝ、顏でも直して……その間つなぎに、あたしが行つて、小松さんの返事を聞かして、喜ばしてやらうよ」

「どうぞ……」

と鴇母はそれを機會に、主人に會釋をして、出て行つた。

「では、ちよいと顏を出して參りますよ」

お辰は姿見にむかつて、衣紋をつくろつた。

「お辰」

と久作は呼んだ。

「あいよ」

「なるたけゆつくり座をつないでいてくれ。すぐさいつても、さうおいそれと出るわけにも行かないだらうからな」

小松の心を思ひやるのだつた。

「あゝわかつたよ」

とお辰は立つて、小松に、

「お前も顏でも直して、氣を變へて、なるたけ早く出てやつておくれ。あんまり世話をやかせずにさあ」

「はい」

「小松には、おれがいふ」

お辰が出て行く。入れ違ひに、男衆が、

「旦那はこちらですかい？」

「おゝ、何か用か？」

「ホールさんのお宅からお使が見えました。お目にかゝりてえさいふんですが、お通し申してようがすか？」

「ウム、何か知られえが、お上げ申して、お待たせ申せ」

ホールは、お辰の話を聞いて、打つて變つた表情だつた。そこへ女が使の來たことを通じた。

「急用！だめく」

ホールは手を振つた。

女は去つたが、すぐまた入つて來た。是非といふ、大切な御用だといふ。

「困る、困る……」

ホールは仕方なしに、女に伴はれて、立つて行つた。

岡田時彦　近く來滿　長氏への打電

松竹蒲田脫退後鈴木傳明、高田稔と共に不二映畫會社を組織して活動を續けてゐた岡田時彦は、兼ねてより滿洲駐屯の皇軍將士慰問の希望を持つてゐたが最近いよく具體化し、四日映樂館長次郎吉氏へ電報を以て本月十日までには渡滿する豫定で滿洲に於ける日程を打合せて來たとのことで、長氏の語る處によれば、岡田時彦は最近の作品たる「モダン聖書」を携へて不二映畫撮影部長元橋重三郎氏と共に渡滿し、大連より奉天、長春を始めハルビン、チチハル方面まで皇軍を慰問する豫定であると、尚長氏側よりは映樂館に於て舞臺挨拶或は寸劇の實演方を交渉中の由（寫眞は岡田時彦）

噂話

「戀愛案內」で初日早々から近來にない好成績をあげた中央映畫館▲スッカリ氣をよくして吉岡松竹事務員曰く「今月は一萬圓あげて見せます、來週の栗島の情人は燒き増しプリントですゾ」と鼻息の荒いこと▲この松竹映畫のトーキー續きに對抗して帝國館も來週の「地獄の眼鏡」に次いで▲いよく千惠藏ファン待望の「旅は青空」を上映することになるらしい▲映樂館は十五日頃の初日で入江たか子獨立第一回作品「滿蒙建國の黎明」を封切すべく、これまたプリントの燒増を交渉してゐる▲浪曲なら外れつこなしといふ大連劇場、富川左近に次いで女雲月を招聘し浪曲の一手で封切る作戰

◇◇地獄の眼鏡◇◇ 日活のPCL式錄音オールトーキー 婦人倶樂部連載の津村京村の原作——藥種問屋の主人が死んだふりをして棺桶の中から相續人を決めるといふナンセンスもので畑本秋一脚色、伊奈精一監督、渡邊五郎撮影、橫山運平、一木禮二、相良愛子らの主演映畫【次週帝國館上映】

(明治四十年十一月三日第三種郵便物認可)

滿洲日報

廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別一行 金二圓六十錢 場所指定 二割以上加算

認識を是正する迄 永久抗爭を續く

滿洲問題に關して 政府の對聯盟態度

【東京四日發】報告書公表に伴ひ外務、軍部は夫々事務分擔、三日より我意見書作成に着手したが、右報告書內容は文書としては稀に見る名文だが措辭語法全く中立的態度を失ひ最初から偏見と惡意を藏して居る事明白である、依つて縱橫に完膚無き迄にこれを痛擊する一切の準備を整へる、從つて聯盟が支那、滿洲の現狀に對する正當な認識を得る迄は今後幾年費すも抗爭を辭せず曾て聯盟がその解決を附託されて滿足な解決を與へた事例皆無なるに見るも聯盟における滿洲問題は殆ど永久審議の議題化する可能性多大なるに鑑み我國としては今後持久方針で進むべしと爲して居る

聯盟一部に正論擡頭

報告書の結論を非難して

【ジユネーヴ三日發】リツトン報告書に對する聯盟方面の第一印象は同報告書が全然日本に不利で支那のかたを持つたものだといふに傾き、この見解は今日でも尚廣く抱かれてゐるが、然し各關係者とも、まる一日の餘裕を以て報告書を些細に檢討するを得た結果、報告書は必ずしも日本に不利と解しないといふ意見が出て來た、例へばポーランド代表部の如きは報告書の結論に寧ろ非難の態度をとるに至つた、卽ちポ國代表ホチロン氏の意見としては調査團の蒐集した各種の證據は寧ろ強く日本の主張の正しいことを示してゐるにも拘らず、結論は日本に不利なものとなるに至つてゐる、第一報告書それ自身支那には秩序を恢復し正常なる狀態を築き上げる能力なき事明瞭にしてをり調査團も滿洲の原狀復歸不可能な事を容認してゐるではないか、日本の特殊的權益を認むる時は日本の特殊行動も亦正當化せられるのだと正論を表明してゐる

平和を建設すべき材料發見希望

リツトン卿の意見

(寫眞はリ卿)

【ロンドン三日發】日支紛爭に國際的巨彈を投じた報告書の主人公リツトン卿は九ケ月ぶりで本日ロンドンに歸着、サイモン外相等の出迎へを受けた、報告書につき記者に語る

苟くも報告書を通讀する者は紛爭の當事國を責めずして平和の願望で行動したのを認めるだらう、調査團以外の世界、卽ち各國政治家聯盟、新聞も報告書で與へられた先導に追隨せん事を渴望する、報告書に對する日本の立場は既に滿洲國獨立政府が樹立された以上、報告書提案を受理する事は不可能だといふにあるが、余はこの報道を耳にしても意外に感じない、何となれば日本側の立場は既に調査團が東京に居つた時はつきりいつてゐた、日本以外の各國が日本の提案を承諾するか否かは今後の問題だ、余はこの際單に報告書中から日本と支那が平和を建設すべき材料を發見せん事を希望する

報告書は單なる旅行記に過ぎぬ

陸相、閣議にて喝破

【東京四日發】四日の定例閣議は午前十時開會、高橋藏相缺席の外全閣僚出席、先づ荒木陸相より滿洲里方面の情況は連絡不充分のため眞相判明しない、然し在留邦人救出のため對策を講じてゐると報告し、次いでリツトン報告書に關し全閣僚認識不足を指摘し之を非難すれば荒木陸相は「報告書は單なる旅行記に過ぎない」と痛罵し、內田外相は「各國の關係については目下外務省において纏めてゐるから近く發表出來る」と述べ政府としては反對意見發表する前、充分案を練る事とし次回閣議で更に意見交換する事とし正午散會した

三相重要協議

【東京四日發】外相及び陸相は本日閣議散會後特に首相官邸に居殘り首相も加はり三相鼎座リツトン報告書につき重要協議を遂げた

報告書改訂必要

獨政界の見解

【ベルリン三日發】二日正午ジユネーヴで公表された報告書の完全な正文はまだベルリン官邊に到着せず從つて政府當局は正文をみるまでは何等の批評も下されぬと沈默を守つてゐるがドイツの一般政界方面では報告書の起草及滿洲の事態は最近更に新な展開をなしてゐるから報告書の改訂を必要とするとの見解を有つてゐる

米國事情を御聽講

【東京四日發】天皇陛下には六日午後二時御學問所で御茶の會を催され、最近賜暇歸朝の出淵駐米大使を召され最近のアメリカ事情につき講演を聞召される旨御沙汰あらせられた

『滿洲を放棄せよ』

蔣介石の藍衣社宣言

【上海四日發】蔣介石の組織せるファシスト藍衣社は四日滿洲を放棄せよとの宣言を發し國民統一の積極運動を開始した

宣言

中國民族の最大の缺點は自尊心の餘りに強過ぎることである、滿洲事變後民衆は失地回復のため對日宣戰を高唱してゐるが、現在の支那の實力は共匪の跳梁內部不統一、經濟恐慌等のため對外的に武力を行使するには餘りに貧弱ではないか、又國際上の大勢を見るも一般に日露又は日米開戰を豫想し居るもこれは一種の希望に過ぎぬ、露國は五年計畫に沒頭し他を顧りみる遑なく米は實力あるも輕率に日本と事を構へるとは信ぜられぬ、英は國內整理に努め、佛は安南問題に汲々とし、伊の對日態度は消極的である、かゝる際日支開戰せんか支那は孤立無援に陷るは餘りにも明瞭だ、支那の現在は內部統一だ、國民は政府を信賴せよ、土耳古の復興、伊太利の強大は政府國民が克く協力せる結果だ、故に我等は敢て暫時滿洲を放棄せよと叫ぶ、而して政府國民は共匪討伐を完成し全國統一後力を併せ失地を回復せん

共匪一萬

漢口附近襲擊

【漢口四日發】剿匪一段落と宣傳せる折柄漢口より一日行程の新州に今朝八時約一萬の共產軍來襲同地を占領した、漢口は急報に接し狼狽午後二時飛行機二臺を偵察のため急派したが、介石の討伐軍は中央と絕たれた形で事態を重視さる

滿鐵補缺理事

大淵、山崎、河本の三氏決定

永井拓相より發表

大淵三樹 山崎元幹 河本大作

【東京特電至急報四日發】滿鐵補缺理事は今夕六時半左の如く決定永井拓相より發表された

【東京四日發】永井拓相は午後六時官邸に於て齋藤首相と意見交換の結果左記三氏を滿鐵理事に任命するに決した

河本大作、山崎總務部次長、大淵東京支社長

永井拓相語る

【東京特電四日發】理事任命は別項の如く決定したが、これよりさき永井拓相は今夕六時齋藤首相と會見、最後の打合せをなし、更に電話を以て林滿鐵總裁に意向を傳へ、六時二十分霞ケ關の官邸に於て別項の如く發表したのである、而して拓相は語る

滿鐵の理事については先般來各方面から候補者の推薦があつた滿鐵からも候補者の推薦があつたので內部の充分なる打合せを希望し、これがため大分遲れた次第である、けふ午後、林滿鐵總裁から正式に大淵三樹、河本大作、山崎元幹の三氏を推薦してきたので拓務省においては考慮の上、これを妥當と認め任命の手續をとつた次第である

新任理事の椅子の割振り

河本氏は新京支社長

滿鐵理事はいよ〳〵決定を見たがこれに伴つて當然問題となるのは今後の重役の配置およびこれと關聯ある職制が如何に決るかである第一に問題となるは理事部長制か社員部長制かであるが、最近は理事部長制必ずしも不可ならずとの意見も高くなり、こゝに新理事の顏觸れより見て依然として從來の制度が維持されるに非ずやとの觀測が多い、又たとひ合議制となるも擔任理事を設ける結果、現在とあまり變らぬものと見られてゐる次に理事部長制として八理事の擔任箇所は最も興味を惹き色々取沙汰されてゐるが、伍堂、十河、村上の三理事は現狀維持として殘る五理事の間に異動及び新任があるものと見る者が多い、まづ竹中理事の總理部長は、經理關係の社外理事が任命されなかつたことより見て間違ひないところとされてゐる、山崎新理事は元來總務部畑の人で、涉外事務にも專門家であるから總務部長たるべしとの觀測が多い、しかして山西現總務部長は地方部關係の事務に精通して居り地方部に廻るに非ずやと見られ、この方面における第一人者なので河本新理事は單に連絡に當る必要上、新設さるべき新京支社長として滿鐵の新しき部門に活躍し、大淵新理事は現在通り東京支社長として中央との連絡に當るものと見られてゐる、かゝる新理事の配置は必然的に職制に關聯するが監理部は竹中部長の總理部轉出後當然廢止されてその事務は總務部と總理部に歸屬すべく、その他には奉天事務所が解體縮小して新京に支社が設置される以前にあまり大なる變化なく、大體現制の時代に適せざる部分だけを變更した程度で陣容を固め、林、八田正副總裁の下に新しき一歩を踏み出すこととならうと見る向が多い

選ばれた榮ある橫顏

總務部次長の山崎氏、二課一の選任で、これで理事八名中、社員出身と社外輸入とが半々となつた ◇ 大淵新理事は滿鐵社員中の最古參いはゆる明治四十四年組の一人で本社では勸業課長などを勤めたが大部分は東京支社に勤務し出でゝ上海事務所長として約一年間外交手腕を揮ひ仙石總裁時代再び東京支社に舞ひ戾り支社長に榮進したそれだけに中央に知人が多い、その風丰は八田副總裁と生き寫しで昔からよく間違はれたものである ◇ 山崎、河本兩氏は早くから確定的にいはれただけに、ニュース價値は少くなつたが、山崎新理事は滿鐵社員中のウダルニクで近頃の出世頭、河本新理事は前關東軍高級參謀で先年所謂滿洲某重大事件で責を引いて退き、現在は滿海鐵道の監理してゐる人、陸軍部內の鐵道通で豪快な人物——この三新理事がトロイカの首を並べて、新しき滿蒙の天地に驀進するのは全く壯觀であらう

滿洲國承認答禮使

謝外交總長一行十八名

愈よ來る十二日出發訪日

日本の承認に對する答禮の意味を兼ね滿洲國の實狀を說明、今後の問題に資すべく謝外交總長以下十七名は既報の如く來る十二日新京を出發大連經由赴日、日本各方面を訪問その間種々なる問題に對する公式の打合せをなし十一月五日新京に歸着することゝなつた一行の顏觸れを見ても判明する如く主に滿洲國各廳各部を代表する少壯官吏で新興滿洲國の潑剌たる意氣を物語つてゐる、因に一行の氏名は左の通りである

謝外交總長、大橋次長、呂宜文、姚任、兪曉嵐、葉堯公、杜蕭塵、勝田、岡野、曲秉善、克興阿、王宗晋、單鑌霖、張格、楊世英、楊培外に某一名

なほ一行の豫定は

十二日新京出發奉天一泊、十三日奉天出發大連一泊、十四日出帆のうら丸にて渡日、十七日神戶着直ちに特急「燕」にて出發同日午後九時二十分東京着、十八日は旅の疲れを癒し後日本各方面との打合せをなし十九日宮中拜觀、二十日より二十五日まで滯在、二十六日東京發京都に向ひ同地一泊、その間桃山御陵參拜、二十七日京都出發二十八日より三十日まで阪神滯在各方面の訪問視察をなし奈良へも赴くはず

かくて日本滯在の全旅程を終へ十一月一日神戶發四日大連着直に出發新京へは五日着の豫定である【新京電話】

韓軍掖縣に集中し愈よ山東統一

劉軍の運命こゝ數日

【青島特電四日發】韓、劉の和平解決は遂に決裂し既に招遠、萊遂は韓軍の手に歸し殘るは掖縣一城となつたので韓は一擧にこれを陷しいれ、山東を統一すべく主力を掖縣に集中、縣城を包圍猛擊を加へつゝある、劉軍亦之に對し頑強に抵抗を續け双方に相當の損害を生じてゐるが、韓軍の勢力は次第に增加されつゝある今日、劉軍の運命は茲數日間に決するものと見られてゐる、なほ城內には三萬の難民が居住して居るが、劉軍は彼等の出城を許さぬので何れも彈雨の下で窖に潛み眠れ一方各所に火災起り凄慘な光景を呈して居る

預金部擴充

勅令案を決定

直ちに御諮詢の手續

【東京四日發】政府は四日の閣議で預金部擴充に伴ふ大藏省官制中改正勅令案を決定、直に上奏樞府に御諮詢手續をとつた、その內容は預金部を擴大し理財局長兼任となつてゐた預金部長を專任とし、なほ稅務監督局所在地に支部を置き稅務監督局長を支部長とし預金部事務の圓滑を圖り時局匡救目的を達成するものである

蘇の態度

邦人保護言明

【ハルビン特電四日發】三十日宮崎少佐は飛行機にて蘇炳文に宛て事變の原因に關し詰問の書翰を投下したが、蘇は四日電報にて左の通り回答してきた

今次の事變は給料不拂の不公平なる處置に關し軍人が憤激せしめた結果であるが、既に終熄平靜に歸した貴國民に對しては絕對にこれを保護する、人を派し給料を發給せば問題は解決する余は年來地方を鎭撫し軍隊を維持し心神共に勞れ宿願重り任に堪へず、給料の發給を得て事件解決せば罪に服し中央の處置を受く

各國言論界の論評

滿洲問題審議を一兩年延期せよ

イーヴニング・ニユース評論

【ロンドン三日發】今日のイーヴニング・ニユース(保守黨系)は聯盟理事會は滿洲問題の審議を一兩年延期し靜觀すべきである、リツトン報告書は餘りに時期を失し居り而も聯盟をして同報告書の握り潰しをなせば辛うじて現在保持しつゝある聯盟の面目は丸潰れとなり、何等かの行動を執るとなれば日本の聯盟脫退は決定的となるであらう、實にイギリスが聯盟國として日支問題の討議に參與するに至つたことは最も不幸といはねばならぬ、英國民に取つては問題は利害關係薄く而も英國民の大多數は日本に同情を有すと論じてゐる

親支的偏見報告

何の役にも立たない

デーリーメール紙評

【ロンドン三日發】保守黨系デーリーメール紙は報告書を手嚴しくこきおろして曰く

之は何の役にも立たない、一部で豫想された程反日的ではないが親支那的偏見に支配されてゐる事は明白である、一九〇四年の戰爭に際し日本の莫大な犧牲がなかつたなら滿洲はソ聯邦の一部となつてゐたであらうその最重大な點を閑却してゐる、調査團の諸提案を實現するには多年の外交交涉と國際會議が必要でその間日本の在滿權益維持に必要な治安維持は現狀を以つてしては到底不可能だ、本紙はサイモン外相に對し日本の聯盟脫退を促進し延いて凡ゆる重大國際紛議を惹起する惧れある一切の行動を支持せざる事を要望せざるを得ない、日本が滿洲に留まる事はイギリスが印度、埃及に留ると同樣自然の配劑である

モーニングポストの論評

【ロンドン三日發】保守黨機關紙モーニングポストは三日の紙上に報告書に關する社說を揭げ、同報告書が第一章辛亥革命以後の支那の特徵は中央政府の權力の微弱なることに存すと斷じ、更に第九章日支紛爭解決第十項において極東平和の維持が支那に鞏固なる中央政權なくしては實現し得ざる事を力說してゐる諸點を指摘し鞏固なる中央政權なき支那の現狀を忌憚なく暴露し論じてゐる

リツトン報告書は支那における鞏固な中央政府の必要を強調してゐるが今後支那が依然その現狀を持續すれば四分五裂の狀態に陷るだらうし北に滿洲國存在し南に廣東政權が事實上獨立し蒙古にはソウエート共和國が存在してゐる、南京政府の權力は東西南北何れの方面にも及ぶ地域頗る局限されてゐる、支那の統治主體としての中華民國なるものは全然態の良い擬勢に外ならぬ、報告書が示す如く日本並に列強の國際的協力により支那に鞏固な中央政權再建出來れば結構だがかゝる中央政權が樹立されると考へるのは非常な獨斷たる者もある

紐育諸紙論評

【ニユーヨーク三日發】今朝のニユーヨーク各紙は一齊にリツトン報告書に對する論評を揭げいづれも同報告書を極めて妥當なりとなしてゐる、而して米政府當局は愼重な態度を持し未だ公式の論評を避けてゐるが消息通の中には日本が果してこの解決案を受諾するかどうかは頗る疑問なりとなしてゐる

タン紙の社說

【パリ三日發】本日のタン紙はその社說において次の如く論じた

日本が滿洲國承認實現以前なりとせば調査團の提案も恆久的協定に對して必ず重要な根柢を提供したらうが今日となつては調査團の結論は當然日本の聯盟脫退を誘致すべく之は一刻も放置する事が許されない

餘りに空想

佛諸新聞論調

【パリ三日發】三日のパリ諸紙はリツトン報告及びその批評を揭げたが論調は一般にリツトン報告を以て餘りにユートピア的空想に富み過ぎ且つ內部にも撞着があつて實際價値はないから總會で審議さるゝ場合列國は恐らく日本に反對處置を取ることを避けるだらうと見てゐるが各紙の論評は左の如し

▲ドイツチエ・ツアイツング 報告書は聯盟の侮辱である

▲ウオルウエルツ 報告書は弱國が強國により不當なる壓迫を加へられたるを認め乍ら一方これが是正を強大な違法者の手に全然委ねんとしてゐる、これにより聯盟は重大な諸問題に直面せるものである

エコー・ド・パリ紙は曰く 報告書は既に成立して了つた、滿洲自治に對しては極めてナイーブな態度で詳細な自治計畫を樹てゝゐる

プチ・パリジアン紙は曰く 滿洲の事態は今や全く報告書の取扱範圍外に逸出し去つて了つた恐らく聯盟は今後滿洲問題を片づけることに非常な困難に出合ふことであらう

プチ・ジユナル紙は曰く 報告書はよく分別を含んだ提案を出してゐる、然し餘り大した助けにはならうとは思はれない

マタン紙は曰く 吾人が報告書を讀んで得た印象はそれが極めて多數の矛盾を含んでゐることと殊に監察と結論とが斷然かけ離れてゐる點が先づ何より目につく

その齎す結果が果して有益なものであり得るか否かについては懷疑的態度を執つてゐる

ドイツ各紙

【ベルリン三日發】當地の識者は報告書は既に日本が滿洲國を承認したあとで實際價値はないから總會で審議さるゝ場合列國は恐らく日本に反對處置を取ることを避けるだらうと見てゐるが各紙の論評は左の如し

伊國は沈默

【ローマ三日發】歐洲各國政府は何れも報告書に關する意見を差控へてゐるがイタリー政府は當分無期限に之が論評を延期する意向を聲明してをり各新聞も論評を避けて沈默を守つてゐる

北平各紙論調

【北平特電四日發】河北日報その他何れも報告書の論理的不徹底を指摘し不徹底なものとなして居るがこの際リツトン報告に準據する他なしとし支那の執るべき態度を述べて居る

一、報告書を全然承認せず絕迄武力により東北失地恢復するが如きは今日支那の爲し得る所でない

二、對日宣戰もせず、報告書の建議も受附けず、徐ろに國際情勢の變化を俟ち第二次世界大戰を機に東三省を恢復するといふ事もあまり悠長過ぎる

三、依つて執るべき案は報告書中の建議を基礎とし今後の折衝により我方に有利に修正を加へる事である

晨報の論評

【北平三日發】當地漢字紙の報告書論評左の如し

晨報(學良機關紙) 調查團は原狀回復を不可能としてゐるが、これは日本に滿洲國承認取消しを望み支那に對し東北の特殊地域承認を要求するの誤謬を敢てするもので諮問會議の設置は滿洲の國際共同管理の緣あり、要するに調査團の意見は極東紛糾を解決する能はず日本の侵略をも防止する能はず

社說

日本輿論の沸騰は當然
報告書の無理解

リットン報告書要領發表されて、日本の輿論沸騰す。報告書が日本の意思に合致せず、輿論の沸騰は豫想された所であつた。報告書が頗る微細の點に沸りて調査を遂げながら、其要點に於て誤謬に充ちてゐる。元來滿洲問題の最良解決方法は事實を承認するに若くはなしとは吾人の屢々說く所にして、調査團に對しても一再ならず注意を促がしたが、報告書には遂に之れを認めてゐない。滿洲の歷史的事實や、去年九月十八日までに至る事實をも調査してゐるが、滿洲國獨立といふ大切な事實を認めてゐない。不思議なるかな、身滿洲國に來り、滿洲國執政並に國務總理以下の要人に接し、滿洲國の保護を受けながら、滿洲國を見ること恰も幻影の如くである。委員諸氏の眼と耳とは果して何處にありしか。

◇

九月十八日の日本軍の行動を自衛と認められずといひ、其の後の行動に對しても非難の態度を執つてゐるのは、滿洲に於ける當時の實情を察しないからである。當時東北舊政權は、日本の權益を實力を用ゐて剝奪せんとして其機を狙つてゐた。而して盛んに軍隊內に反日氣分を鼓吹してゐた。支那が直接行動を始めた以上、我軍が北大營を襲ひて先づ其根據を衝き、次で全滿に渡りて、其の兵力を破壞するにあらざれば、日本軍隊は恐らく全滅を免かれざる可く、在滿日本人の生命財產は蹂躪され日本の全權益は破壞されたに相違ない。此事は、先年の漢口英租界に於ける實力奪取、南京に於ける虐殺事件等より見て、推測に難からざる所である。歐米人は、既に近年に於て此事實を目擊しながら、何故に滿洲に於ける事態を察知することが出來ないのか。日本の官民より屢々此實情を說明したに拘らず、報告書には全然之れを認めてゐないのは、之れを知る能はざるにあらずして、寧ろ故意に日本を傷けんとしたものと思はれても致し方あるまい。其の他無理解の點を拾へば限りがない。

◇

其解決方法に至つては滿洲國の獨立を其まゝ承認するより外に良方法はないのであるから、報告書に何を書き立てゝあつても問題ではないが、支那の主權の名の下に國際管理の實を行はんとする如きは、無謀の甚しきものである。抑も政治の根本は治安維持であつて、之れが何よりの先決問題であるが、報告書の結論に示すが如き憲兵制度にて果して何事が出來るか。報告書はいかにも滿洲の實情を知らなさ過ぎる。此他の治安維持は舊政權に復しても出來ず、歐米人を交へた憲兵などで保てるものではない。現在の如く、獨立の滿洲國が主となりて、東洋本來の王道政治の名の下に、日本が援助を與へて、恩威兼備の裡に、徐々之れを固めて行くより外に方法はない。經濟も政治も萬事はそれからの事である。その他細告書に列舉する方法の如きは論ずるに足らず、すべて紙の上だけに主張し得べく、實地には出來ないことばかりである。

◇

斯くの如き、無理解きはまる報告を突きつけられては、日本全體の輿論沸騰し、硬論全國に漲り、國際聯盟を脫するも止むを得ずとするに至つたは當然といはねばならぬ。云ふまでもなく、滿洲國の成立は事實上の問題であつて、日本は此の事實を承認したのである。我國はどこまでも、此事實に卽して邁進すべきである。而して一意滿洲國の王道政治を扶け、その聲明せる安住樂土を早く實現せしめんことを期す可く、之れに背反する一切の事情は、斷々乎として之れを排擊し之れを突破す可きは勿論である。

駒井長官辭任

滿洲國國務院總務長官駒井德三氏は辭任して參議府に入ることになつた。駒井氏は建國以來極めて多忙な時期に於て、最も多忙にして最も重要な國務院總務長官に任じ、寢食を忘れて職務に鞅掌した。爲めに國務の基礎着々として成就し、建設工作も一段落を告げ、遂に日本の承認をも得るに至つた。その功勞の多大なるは云ふまでもない。今や國家第二段の建設に入らんとするに方りて、氏の素志の如くに辭任を申出でたるものなりといふ。後任者に關しては吾人未だ聞く所あらずと雖も、國家は既に第二段の建設時代に入らんとし、內には匪賊の跳梁あり、外には國際關係の紛糾ある今日、此の重要なる地位に就く人物の、極めて愼重に詮衡されざるべからざるは云ふまでもないが、例へば單に行政上の經驗があるとか、然る可き閱歷があるといふのみにてはその資格十分なりとは云ふ可らず。資格として最も必要なのは、建國の精神を理解すること深くして、その實現に對する熱意の熾烈なることでなくてはならぬ。蓋し後任長の人物如何によりて、滿洲國の消長が分れるのだと云つても過言ではない。吾人は此際切に後任者其人を得て、駒井氏も安心して參議府に入るを得るに至らんことを望むものである。

愈々本筋に入る日滿石炭統制
滿鐵案を携へて十河理事の東上

滿鐵經濟調査會では三日午前十時より委員長室に委員會を開き十河理事を中心に重要協議を行ひ午後に及んだが、十河理事はこれを携へて午後二時より重役會議に臨み打合せの後、同理事は更に奉天で全權府と協議し一旦歸連の後、八日のうすりい丸で上京の途に就くことに決した氏の上京の主たる目的は切迫した石炭統制問題の決定に當り滿鐵を代表して中央政府および內地石炭聯合會と折衝するにあるが、この問題は明年度の撫順炭の輸入數量を如何にすべきかの當面の問題と日滿石炭統制を如何に實行するかの根本の問題と二つに分けて考慮する要あり、前者については大體前例があるのでこれによつて決定出來るが後者は日本經濟界の根本的大問題で解決は極めて容易でないと見られてゐる、しかして本問題については石炭聯合會側では既に成案を發表して滿鐵など委員に加へて案の決定をなさんとし滿鐵は委員會への加入を回避して深入りを避けて來たが何時までもこの對峙の狀態で押通すわけに行かぬので經濟調査會および商事部でドイツ、英國その他の石炭統制の前例を研究して滿鐵案を練つたから十河理事はこれを携へて上京し政府の意向をも參酌して應酬することになつてゐる、なほ同理事は上京中資源局內に設けらるべき日滿統制經濟委員會についても關係各方面と打合せをなす筈である

助成に除外され海運業者不滿
ハンデーの付く關東州置籍船

景氣不景氣如何に拘らず荷動きには自から或一定の限度を有するが一方之が輸送に當る船舶は新船建造と共に逐年增加の一途を辿り一たび財界の不況に直面すれば直に船腹の過剩を來し現に見る未曾有の海運界の悲況に陷つてゐる、これがため船舶改善協會に於ては船質の改善によつて現下の不況を打開すべく種々運動するところがあり、去る第六十三議會に於て船舶素質改善助成案が通過し十月一日より實施するに至つた、然るに右助成金の交附は內地造船主が內地造船所で新船を建造する場合に限られ當然均霑し得るものと期待せられてゐた關東州置籍船は除外せらるゝことになり僅に古船を解體するに際し內地造船主との契約によりその交附せらるゝ助成金中の幾分かを間接に受くるに過ぎない、而して助成金を適用する解體船舶は
一、總噸數千噸以上、船齡二十五年以上
建造代船は
一、四千噸以上の鋼製汽船
合計總噸數は
解體船の合計總噸數の三分の一以上
といふことになつて居り補助交附金は總噸數一噸につき五十圓でありこれによつて深刻な悲況に沈淪する本邦海運界に一道の光明を齎すものとして期待されてゐるだけに關東州置籍船に對する除外例を設けたことは些か片手落の措置として當地海運業者は不滿の色をなしてゐる、關東州置籍船は輸入稅を收めないといふにあるようだが輸入稅除の爲に關東州置籍船たらしめた船舶にありては仕方なしとするも內地船主より古船を購入したるもの又は將來本據を大連に置く會社（大汽、阿波共同の如き）又は一旦內地で輸入稅を支拂ひ改めて關東州置籍船となつたものには當然均霑すべきであるとして極力主張し居り殊に關東州置籍船の古船が依然として內地を橫行することになれば折角の船質改善方策も完璧を期し得られぬわけで關東州置籍船の除外は妥當を缺くものとしてこの際根本的に所期の目的を達成するため均霑せしむべきであるとの聲が高い、尚關東州置籍船に助成案が適用さるゝとせば隻數三十五隻、この噸數十萬七千二百十四噸の有資格船があり現在の置籍船數に對し隻數に於て二割七分總噸數にあつては四割七分を占むるものである

東北政權時代の對外負債を解決
性質如何では責任を負はず

舊東北政權時代における對外國債に關しては滿洲國成立當時より屢次聲明した如く舊債權負債は大體において全部繼承することになつて居り滿洲國當局ではこれが支拂方法について研究中であつたが愈々具體的方策を樹立するため負債整理委員會を造ることに決定、參議府會議の決定を經て卽日施行の筈である、尙舊政權時代の負債はその無統制なりしため幾何の額に上るかも現在では確とした數字も判らないがその性質の如何によつては滿洲國では全然その責に任ぜないものであると洩らしてゐる【新京電話】

商標權法施行要望

安東に於て開催の全滿商議聯合會に奉天商工會議所よりは模造品商標權侵害に對する滿洲國側の商標權法の施行要望を提案すると【奉天電話】

滿洲國稅務會議
四日より新京で開く

滿洲國における第一回稅務監督署長會議は四日より七日間に亘つて財政部會議室において開催されるが、財政部よりは合總長、孫次長始め各司長、奉天よりは王署長、三浦副署長、吉林よりは榮署長、山田副署長、ハルビンよりは袁署長、阪田副署長黑龍江よりは濱本副署長出席四日午前十一時開會先づ熙總長の訓示に次ぎ直に財政部案又は各署提出案に對する各署長の質疑應答あり、第一日は午後五時散會、第二日よりは午後二時より同五時まで大體左の項目に亘り審議する筈

▲財政部提出案
一、稅務監督署開設以後における管內事務の狀況
二、大同元年歲入見込み
三、大同元年歲出見込み
四、租稅收入增加を圖るべき應急具體的の方策
五、國內稅統一に關する方策
六、徵收期限の改善
▲奉天省提出案
徵稅方法統一に關する件外六件
▲吉林省提出案
租稅徵收員整理方法改訂に關する件外七件
▲ハルビン提出案
營業稅課稅方法に關する件外十五件
▲黑龍江省提出案
租稅滯納期整理法に關する件外九件【新京電話】

新造船

ズ勞農總領事
來る十日頃歸國

日蘇滿三國の不可侵條約を中心として近く三國の交涉が開始される模樣であるが、ズナメンスキー在奉天總領事は多分十日頃歸國の模樣でスレパック通信員も同伴歸國する由なればこれによつて局面の展開を見るものと期待さる【奉天電話】

今更事務總長を設置の必要無し
關東廳の事務圓滑

在滿四機關の統一當面、關東長官の奉天駐在といふ事が關東廳の事務遂行に澁滯を來しはせぬかと憂慮されてゐたところ、其後の模樣を觀るに重要案件は林長官代理の出奉打合せにて決定され、林氏在旅の際は藤原秘書課長よく長官の意を體して處理し何等の支障を來さぬ、然るに今回新たに營業事務の規程の改正により長官代理の權限の擴張を見ることになる爲め關東廳の事務も最重要のものに非ざる限り本廳に卽決處分し得るに至るべく隨つて一部に傳へられてゐた事務總長新設案の如き最早その要なきに至つた、右に關し某課長は語る長官との事務連絡を圖る爲め關東廳に事務總長を設置すべく官制を改正せよとの議は四機統一前から唱へられ最近も課長會議にも上程されたが折角長官と直接水入らずに各局長及部長が懇談し得る現制を改めて事務總長といふ新な關所を增置するといふことは更に事務を複雜ならしむるもので事務簡捷の精神に反する、それよりも事務簡捷といふ目的のため廳內主要機構に變動を來すであらう

滿鐵側の市議候補

十一月一日に施行される大連市會議員の選擧に市中側各立候補は早くも準備運動に取りかゝり着々地盤を固めつゝあるがこれに反し滿鐵側は協和會社滿電より古泉技師長が立候補を傳へらるゝのみ態度を明示せず久しく洞ヶ峠を下らなかつたが政戰近づくに從ひ拱手傍觀し出來なくなつたのでいよいよ社員會の一部が中心となり古泉氏を除いてなほ六名乃至七名の候補を推薦すべく適任者銓衡中である、その中先づ白羽の矢を立てられた合田地方課土地施設係主任は既に諒解を與へ出馬を決意したもの、如く傳へられ千種衞生課長また固辭して受けないので他に代るべき人物を物色中である。その他林田滿洲體育協會主事もスポーツマン關係者の支持を得て出馬すると噂され兩三日中には顏ぶれも決定すべく沈默の滿鐵側も頓に活況を呈して來た

滿鐵社員會

滿鐵社員會定例役員會は四日午後三時から社員俱樂部集會室で開かれたが席上先づ大連市議問題が討議、社員會はその會の性質上全然これに關係しないが市民である責任のうへからも滿鐵社員が多數立候補することを希望するといふ抽象的意見の一致を見たに過ぎず、次いで座談的に候補者の名

博覽會可決
市參事會

大連市役所では四日午後二時より委員室に於て市參事會を招集し
一、大連市主催滿洲大博覽會開設に關する件
二、特別會計設置の件
三、博覽會總繼年期及支出方法
四、基本財產繰入に關する件
五、昭和七年度市稅戶別割賦課に關する異議申立に對する決定の件
六、昭和七年度市稅戶別割等級更訂の件
七、昭和七年度戶別割臨時賦課等級決定の件
を附議、博覽會は昭和八年七月二十三日より同年八月卅一日まで四十日間豫算金七十五萬圓で開催すべく原案に同意、特別會計設置も博覽會開催に伴ふものでこれ亦原案同意、博覽會費の支出方法は昭和七年度に五萬圓、同八年度に七十萬圓と修正、基本財產繰込の件もその他の事項も原案通り可決し同六時散會した、博覽會市會は七日開會の豫定である

竹內前署長送別

林滿鐵總裁
三日中歸任

【東京四日發】林滿鐵總裁は理事補充も決定したので兩三日中に歸任することゝなつた

松山本社長

松山本社々長は武藤全權その他各機關首腦者を歷訪し挨拶をなした【奉天電話】

高田會披露宴

大連商議會頭高田友吉氏は四日午後七時よりヤマトホテルに於て當議員並に新聞關係者四十餘名を招待就任披露宴を張つた、尙本日午後六時半より同ホテルにて一般知名士を招待する由

人事

▲鹿山一雄氏（滿洲國政府監察院總務處長）四日午前九時急行にて歸任
▲松島鑑氏（同上實業部農鑛司長兼總務司長）家族引纏めの爲め來連中の處四日歸任
▲武田胤雄氏（滿鐵地方部參事）四日午前急行にて北行
▲十河信二氏（滿鐵理事）第十三列車で奉天へ
▲松島鑑氏（滿洲國官吏）同上
▲津田海軍少將　十二列車で來連
▲于冲漢氏（滿洲國監察院長）同上

歸つて見て（承前）
東上の途　石村生

德山と滿鐵とは、例の燃料會社の關係で、現在は勿論將來に於ても、事業の發展上滿鐵とは切つても切れぬ因緣を持つてゐる。德山で私の最も驚いたのは、同地に於ける海軍燃料所の規模の宏大で、且つ設備の完備せることであつた。かねて平壤に於ける海軍燃料所と共に海軍唯一の貯油所とは聞いてゐたがこんなに偉大なるものとは思はなかつた。

大觀小觀

支那側でも、リットン報告書が共同管理の臭氣あるを嗅ぎつけたが、▲歐米人に阿れるものばかりでないと見えて

市況（四日）

特產
大豆强含　銀安を移し

錢鈔
當市大山洋動
爲替續騰

奧地市況

神戶特產 市場電報

（相場表は判読困難のため省略）

西藏の珍風景

未開の天地にも近年一夫一婦の風
最上の敬禮として長い舌をペロリ

西藏では英國の援助で軍隊を動員し雲南と青海に向って進撃を開始したとのニュースが報ぜられた唐時代の大西藏建設を目的とするものであるが實現の可能性が多分にあると見られてゐる、いま西藏の珍風景を一つ茲に紹介しやう

チベットと聞けば直に例の一妻多夫の特性を持った人種であることを想はせるほどに有名だが、近年外來の風潮がこの未開の天地にも訪れてきて、一夫一婦の風がだんだんと起ってきた、數年前この一夫一妻の示威運動が起り「全世界の男は悉く女を占領す、チベット獨りなんぞ然らざる」といったやうな大旗を先頭にチベットの男が群をなしてラマ僧の政廳に押しかけ一夫一妻制の實施要求を提出して尖端を行くチベット・モボのために氣焰をあげた、爾來「一夫一妻制擁護！」とか「打倒一妻多夫！」なんてスローガンを掲げ女性横暴のドラ聲をはりあげてゐる

……×……

もっとも金持になると支那式の蓄妾が行はれてゐるが、極稀のことでラマ坊主にならない男兄弟は全部一人の妻君を共用し妻の統制によって多くの夫が一生懸命に働くと云ふ大家族主義が行はれてゐるわけだが、その方法は先づ第一婚から始まるのだ。

男が二十歳になると必ず結婚することとしてゐる、相手の女といふのは男の兩親が選擇し本人に異存がないといふとまづ陰陽師のところへ行って相性だとか日取だとかを決める、そこで男の叔伯父が威儀を正して娵の家に出かけて結婚申込みといふ段取りになる、その時女の家に酒を持ってゆくのである、それが申込む意味になってゐるので酒を持って男連が女の家を訪れれば必ず縁談と相場がきまってゐる。

それから一週間のちである、男の方から女の家へ金を贈る、日本でいへば結納なんだが、チベットでは娵を育てゝくれた兩親へ感謝の意を表するのださうだ、これで許婚の儀が終るのだ

……×……

サテ陰陽師が見た黄道吉日が來るといよく結婚となる、娵の家ではその日の來るまでは連日祝宴を重ね當日最後の盛宴を張り家の神である龍王神を祭って盛儀報告をやり、娵は兩親から妻としての心得を一通り云ひ聽かせられ綺をかくして小馬に乘り行列美々しく親戚友人付添ひでお聟さんの家へと乘りつけるのだ、そして待ち設けてゐる聟の家の者は入口の兩側に並んで女に付添ってきた者一同に麥で造った餅を一ツづゝ與へるまるで葬式のやうな儀禮だが。

お聟さんは家の中の一段と高い所に座を占めて待ってゐると新婦はその左に座り型の如く祝詞を浴びて來賓一同酒を呑んで騷ぐこれで式は終るのだ。

第一回の結婚式は以上で終り、第二回目からの結婚、卽ち第一回の新郎の弟があれば、その年齡の順に凡そ一年一回の割で式を擧げ長男の伜に母乳を呑まさせながら三男、四男の若い男と結婚すると云ったやうなものだ。この二回以後の式は略する者もあり、內輪だけで濟まぜるもの、第一回と同じやうにするもの等決ってゐない。

ところが困ることには共用の妻君なので肥料の公平な分配が行はれない、どうかすると兄貴が弟に妻を獨占されたりして人間自然の本能を現はす虞があるところから一年間を順ぐりに兄弟で專有することに取決める者も出て來る。こんなことになると女性の權威が斷然男性を壓し、そんな取決めには一から十まで女房の干渉があり、横暴が起るといふ譯だ。

……×……

斯ういふ庶民階級と全く異った階級がラマ僧の世界である。チベットの政教を二つながら握って庶民に君臨するラマ坊主なんだから少し美しい女と見ると片つ端から手をつける手をつけられた女の方では、まるで神樣にでも接すると云った畏れを抱いてゐるので、何とも申上げずに往生させられてしまふ。これがため美しいチベット女は、ワザワザその顔に傷をつけるとさへいはれてゐる。

だからラマ僧の頭梁である達賴ラマは、權勢並ぶものなく、滅多に庶民などの目に觸れず、宮殿の奧深い所に引籠ってゐて、達賴に謁見したなんていふと無上の光榮としてゐる。

この謁見の時の敬禮が大變だ。帽子をとり合掌して達賴に謁するのだが、同時にペロリ長い舌を出すことが最上の敬禮なんだ。そして手を下げ足を曲げて拜すること三度、達賴はそれに答へる爲に謁者の頭にチヨット觸る、手で撫でてやれば死んでも忘れないほどに有難がつて感喜の涙を流す始末だ。

……×……

ラマ僧生活のうちで一番修練の嚴しいのは「寒行」である。猛烈な寒中に全く素っ裸となって經文を讀む、これは毎日決まった時間だけこの修行をやらされ、臍下丹田に苦痛の一念を力にこめるのである。甚だしいのになると雪をカキ別け一晩中坐りこむのがある、おまけに濡れた布を素肌につけ、水氣が乾けばまた濡れたのと取り替へ彼等寒苦行の修練を積んでゆく、彼等が寒い時に薄着で居られるのもかうした修養のたまものである。

寫眞の說明

（左）敬禮　最上の敬禮とされてゐるペロリ出した長い舌（右）婦人　ゴチヤ〱した長い上衣、大きい二つの耳かざり、いとも大事さうにかけたのは彼等が崇拜するラマの守護神を入れてあるマスコット（下）騎兵　物々しく身を固めた甲冑長い手槍馬にまで嚴重な武裝がほどこされてゐる騎兵

暗い氣持の建物

◆…グレート大連をもって自ら任ずるこの大連市に、誰が見ても暗い氣持ちにさらはれる建物が二つある、伏見臺紅葉町停留場近くの聖愛病院分院と、八幡町の角にある婦人病院がそれだ、ここに言ふ暗い氣持ちは病院の存在に對してではなく、病院の建築物その物より受ける感じである

◆…聖愛病院分院は俗に氣狂ひ病院と呼ばれてゐる、二十年を經たと思はれる平家の赤煉瓦造りで正面玄關にかけた聖愛病院分院の看板は古ぼけて字もはつきりと讀めない陰鬱の德元緖のやうな建物だ、此をじつと見詰めてゐるたなれば普通人でも氣が變になるだらうと思はれる

◆…八幡町婦人病院も聖愛病院分院と似たり寄ったりの建物だ、それに高く廻らした塀には處々硝子が植えてある、他のところなれば盜人除けと考へるが、婦人病院なるが故に非常に不愉快だ、太陽がよく照りわたってゐる日などは、あの狹くるしい正門の石段に必ず三四人の生きた商品を見る、しかもヒヤの入った商品である、蒼ざめた面持ちで街頭をボンヤリ眺めてゐる彼女等の姿は、背景の病院と調和して陰慘そのものだ

◆…この二つの建物に何とか明る味を持たすことは出來ないものであらうか

滿洲婦人歌壇

神場磨須子

○
髪をすく朝の室の明るきに赤きとんぼのまぎれ來にけり

○
朝たけて未だ露けき庭すみにこほろぎ一つ細々と鳴くも

○
夜のしじまに浮ぶ冷たき人の顔心靜かに眼をとぢにけり

○
波の音近く聞ゆる草原の宵待草に心ひかるゝ

○
下心くゆることあり夕庭に蟻のしぐさをぢつと見てゐる

家庭顧問

拳大のシコリが出來た　乳癌ではありませんか

【問】私は二十三歳で二人の兒の母でございます、一ケ月ほど前から右の乳房を強く押しますと痛みを覺えましたが普段は別に何ともありませんでしたので放って置きました。ところが四日前の夜半から急に激しく痛み出しまして翌日には一寸さはってもひどく痛み、朝檢溫しましたら三十七度四分、夕方三十八度一分に上りました。それでイヒチオールを塗布し硼酸水の冷濕布を致して置きましたら昨日は熱も平溫になり痛みも薄らぎました。外觀は別に變りありませんがさはって見ますとこぶし大のしこりがございます、若しや乳癌ではございますまいか、すつと授乳を續けて居りますが如何でございませうか、御伺ひいたします（秋山かほる）

發熱が續いたら乳腺炎　それなら切開を要する

唐澤準吉

【答】授乳期には單に乳汁の鬱積によって乳房が腫て硬くなったりしこりが出來たり熱が出たりすることがあります。授乳したりマッサージや硼酸水の濕布で大がいなほりますが、若しそんな手當をしても何時までもなほらず發熱が續くやうでしたら乳腺炎であります、乳腺炎は漸次中心部で化膿して來ますから切開し膿を出して治療せねばなりません、表面に大きく膨脹して紅潮するのは餘程膿が多量にたまってからで、初期には殆ど外部へ現はれないのです、その初期のうちに手當すれば簡單に治りますが、大きくなって外部にひどく現はれて來てからですと瘤も大きくなり治療日數も長くなります、二三日濕布をしてそれでもシコリや腫が治らなければ直に專門醫にお見せなさい

滿日各地版

對支貿易殆ど杜絶 安東海關收入激減
滿洲海關獨立と支那報復で 對日貿易のみ增加

[illegible]…稅徵收の發表後における貿易不振狀態は止むを得ない、支…も今後における狀況靜觀さい…こころだらうがこの儘何時まで…も持續することはないであら…と觀視してゐるが、現在の處で…鐵道による對日貿易のみ漸次增…加傾向を示して居り、昨今支那…からは一隻も船舶の入港を見ず…安東からも支那向の船は殆ど…無い樣である

軍が開魯方面に逃走する理由は東支東部線と西部線一帶は高粱を刈り取りたる後日本軍の討伐と飛行機の爆擊を恐れ比較的日本軍勢力の及ばない開魯附近に逃げ込まんとしてゐるのであると

鄭家屯西南の義勇軍

【鄭家屯】東科爾沁前旗鄭家屯西南百二十支里よりの報告に依れば救國義勇軍司令の率ゆる千餘名は紅黃槍會匪百餘名と共に該地附近に蟠居する匪賊を招撫し勢ひ增大するを待つて康平縣城襲擊を企圖してゐるとなほ康平縣自衛團中には既に彼等と共謀各自抗日救國による腕章を着し總數二千餘名中華民國を押し立て目下盛に蒙古人民部の財物を掠奪しつゝあり又同縣内にて義勇軍司令四名と團長八名を任命したと、又別の情報に依れば義勇軍司令于海川逮捕直後奉天方面より來れる某義勇軍司令は目下雙山縣境附近に散駐せる匪賊を招撫中であると

鄭家屯平靜に歸す

【鄭家屯】鄭家屯襲來の義勇軍司令于海川の逮捕後避難農民は歸村し市民は門戸を開き營業するに至つた邦人居留民は從來處々に散在して居たが匪賊襲來等の場合不便の爲め新市に集り鄭家屯の銀座通りを形成した、加藤商店三泰屋福興公司は既に引越し旭洋行も開業廣濟堂も兩三日中に引越す由滿洲

鄭桂林と學良 完全に連絡
捕虜の自白で判明

[illegible]…官に昇進した旨自白した之れによつて鄭桂林軍と學良の何柱國とは完全に連絡ある連絡を取…つてあることが判明した、尚…として彼の所持する腕章手…あり我が〇團としては之を重…視し近く山海關の何柱國に對し…嚴重なる抗議を爲す筈であると

馮宮聯合軍暴虐
逃走の途部落民慘殺

[illegible]…で小銃彈は一人四十發づゝ所…持し馮、宮、趙の三旅は迫擊砲二…門砲彈三十發づゝ有し尚飛行機の…來襲と鐵道通過の際は夜行軍を…し大部落に入るをさけ小部落に…入るか又は野營をして逃走中であ…るが退却の道順を知られることを…恐るるため通つた部落の住民は悉…く虐殺してゐる、今度馮、宮騎合…[illegible]

鮮農の收穫保護へ　警官隊奉天發

鮮農の收穫保護は吉林方面は不可能
林警務局長語る

【奉天】林警務局長は三日午後三時着直にヤマトホテルに投宿したが語る

鮮農の農作物收穫時期のために保護として警察官を派遣することにしたが吉林方面まで手を伸すことは多少困難を伴ひできるだけの範圍で保護をすることになつた、州境方面の警備狀態を巡視したのは勢ひ兵匪馬賊等が州内に雪崩れ込んで來てはこまるからあらかじめこれに對應する必要あり其の準備をするので あるが大體において現狀は平穩である、奉天滯在は兩三日で豫算編成期にはいつたのであるから早く歸廳する、本月中には全權部も軍司令部も新京に移るから關東廳出張所も亦移駐せねばならぬ、陣容は奉天と殆ど同一のものでよいとは思つてゐる關東廳警務局としては鮮農農作物の保護は各地一樣に行ひたいの希望はあるが場所の危險性により若し不幸にして一名の警官が殉職しても收獲物と變らない物質的損害であるばかりか人命にも關する問題であるからこの點は愼重に考へられ吉林方面までは保護のできない狀態である

撫順附近匪賊事件被害

【撫順】匪賊の燒打その他過般の匪賊事件で撫順附近の滿洲國人の家屋人畜の被害は甚大なるものありこれ等の被害者中の生存者は目下冷氣加はる昨今宿るに家なく食に窮して悲慘であるため、縣公署でもこれが救濟のため今回省財政廳より銀五萬元をうけて救濟に當らしてもこの際應分の同情金を支出すべく滿鐵本社了解の下に二萬五千元を支出することゝしたと

匪賊安廣襲擊

【洮南】八月廿七日洮南東方安廣附近に約千五百の匪賊現はれ安廣城西十支里の地點に於て掠奪せり安廣公安局長は公安隊を指揮し直ちにこれと交戰約一時間にして彼等匪賊を大賚方面へ擊退し牛馬百餘頭を捕獲した

迷惑な狩獵

【撫順】撫順地方は匪賊警戒のため一般に狩獵等遠慮せるためか、昨今は塔灣滿鐵採砂場附近には盛んに鴨が飛來するので、狩獵家仲間のうちにはゐたゝまらずポツポツ愛銃を背負つて鴨打ちに出かける者があるが、警備機關側では非常に迷惑してゐるし、萬一匪賊と間違へ誤殺するやうなことがあつては氣の毒だと心配もしてゐるが採砂場でも過日來盛んに銃擊がするため作業中の苦力等は何度も匪賊の襲來と勘違ひして逃げ出すといつた風で困つてゐる

凡そ關稅鹽稅礦稅等は其の特設機關に於て徵收し營業稅并當稅出產稅煙草稅酒稅統稅印花稅は各縣稅捐局に於て徵收する事

二、地方稅

車捐船捐廟捐妓捐戲捐等は各縣の財務局に於て徵收する事

約二百名の部隊が見る〳〵内に全滅
松木部隊の討伐談

【チチハル】去る廿四日昂々溪の匪賊討伐に參加した松木部隊附赤木騎兵大尉の凱旋談

昂々溪に襲來した匪賊は李海靑の敗殘兵約五千と稱せられたが實際昂々溪に侵入したのは二千位で、あとの三千は附近の部落で樣子を見て居た樣だ、兵匪の來襲當時同地には特務曹長以下若干名と憲兵若干名がゐて死力を盡して防禦に當つたので日本人方面には少しも損害がなかつた、自分は步兵の隊と砲兵〇隊を指揮して市内に侵入した兵匪の攻擊に當つたが、敵は我々の來援を知らなかつた爲め周章狼狽蜘蛛の子を散らす如く南方に退却した處、南門前は泥地多く而かも道が一本よりないので再集團して逃走した、そのため千米突の距離から發射した彈丸は面白い位敵に命中し約二百名の部隊が見る〳〵内に全滅し道路一面死屍の山と化した、引續き追擊にうつり結局敵は死體約五百を遺棄して南方に潰走したが我々のチチハル到着早々の討匪であり、これ位痛快なことは今迄になかつた

殊勳の松木部隊チチハルを出發
某方面の警備につく

【チチハル】廿六日午前八時朝來一點の雲もなき滿洲晴れの好天氣の中を天野少將は矢田高級副官、橋本中佐を隨へて龍江飯店を出發途中領事館前に整列した歡送者に答へつゝ自動車を飛行場に走らせ八時三十分飛行場に到着歡送の松木中將以下軍部代表者並に日滿官民有志と挨拶を交し記念撮影の後八時五十分飛行機に搭乘し萬歲聲裡に飛行機は秋空高く爆音を響かせて東方遙かに機影を沒した、尙同部隊は同日三回に亘つて緣故深きチチハルを出發して某方面の任務に着くこととなつた、斯くて昨年十一月入城以來警備に討伐に殊勳を輝かした小泉部隊天野部隊は日滿十萬の居住者に名殘を惜まれつゝ遠くチチハルを離れ去つて行つた

戰傷者氏名

【チチハル】昂々溪の討匪に於ける松木部隊原隊の戰死傷者氏名は左の如くである

▲戰死　步兵一等兵柏村正男、同海東哲夫、同吉田淸吉

▲負傷　步兵大尉增澤可也、同一等兵降旗雪雄

因に右は松木部隊のチチハル入城後最初の犧牲者である

警備の同僚を思ひやり俸給を天引きして醵金
安東警察署員の慰問

【安東】治安維持と人民保護の重任を擔ひ日夜辛苦の限りを盡してゐる警官殊に大堡、大東溝、三道浪頭、通溝等の僻地に駐在し充分なる睡眠の暇もなく緊張そのものゝ不自由な生活に堪へてゐる警官の勞苦に對しては何人も感謝の念自から湧き上るを禁じ得ない所であるが、世にも涙ぐましい同僚の不自由な生活と勞苦を思ひやつて安東署殘留部署員百三十五名は一齊に自己の俸給一割を天引醵金し又た互に貯蓄した積立金の中から百圓を支出して之に加へ適當の慰問を爲すことゝなつた

微かに忍び寄る冬
蘇家屯驛では早くもストーブ 漸く枯れ行く楊柳

【蘇家屯】ひと雨ごとに寒さが增し冬が忍び寄つて來る——二日から氣溫はグツと下つた、十六度から夜は十度内外に下る、洋車夫は綿衣を着出した、警察官の服裝は黑地の羅紗に變つた、コートをつけた婦人も見える、レインコートではうすら寒い氣がする、蘇家屯の驛電信課はストーブを焚いて居る滿洲の冬を語る栗ぬくいの聲も妙に心のうちに沁み込む、街頭の楊柳は段々枯れて行く

◇これからは小盜兒が殖えるだらう、馬匪賊のギヤング式襲擊が橫行するだらう、犯罪は多くなるだらう、現在領事館警務所に收容されてゐるものは合計五十八名、このうち既決竊盜十四名、詐欺、橫領一の外未決中のもの竊盜六、橫領七、傷害一、傷害致死一、殺人九名、家宅侵入、醫師法違反等々で人口の增加と共に犯罪件數は伸びて行く

◇三上司法主任の話によると最近になつて殺人事件は撫順、奉天、本溪湖に各一件宛あつたが、事變來人間が多少殺伐の氣になつて來たことは事實である、そして智能的な橫領、詐欺が多くなり竊盜も增したこともある、秋から冬への氣候の變化には犯罪の數も增えて來るだらうからお互に注意をせねばならぬ

チチハルの物價著しく騰貴
各線水害復舊狀況

【チチハル】水害に次ぐに匪害等にチチハルは交通の孤立に苦しむ事茲に三ケ月諸物價は暴騰に次ぐに暴騰を以てし殊に米、味噌、醬油、煙草等の日用品は驚く許り暴騰して天井知らずの有樣でこれが救濟策を講じつゝある國際運輸の當地に於ける代價の奉仕的の價格すら實に驚く勿れ白米一升二十七錢と云ふ暴騰振である、各鐵路の近狀左の如し

▲東支鐵道西部線　小蒿子喇嘛甸子間軌條枕木破壞にて不通修繕日數約五日

▲洮昂線　陷落せる裝甲列車目下引揚中

▲呼海線　呼蘭耙犁百二十キロの地點匪賊の爲め燒却

▲齊克線　不完全ながら一日一回運行

▲東支鐵道東部線　二十六日橫道河子を發せる旅客列車高嶺子で匪賊の襲擊を受け乘務員等拉致

徵稅方法變更
縣政府に通令

【瓦房店】奉天稅務監督署より復縣政府に達したる通令に依れば十月一日より國稅及地方稅本規定に依り徵收すべしとせ

一、國稅

怪しい看板
賭博中捕はる

【チチハル】當地永安里に看板三ツ四ツ麗々しく並べ掲げた自稱大連新聞支局長城東某（借名）は豫てから賭博常習犯として當局よりにらまれてゐたが最近頻々として支那人が同家に出入するので愈よ怪しとにらみ二十六日午後八時三十分東巡査以下新任警官數名が同家を襲つた處果然約三十名の支那人が車座となつて牌九と稱する賭博を開張してゐたが、警官隊の不意討ちに周章狼狽先を爭つて逃げんとする處を内二十三名を逮捕珠數繋ぎとして本署に連行、一應取調の上支那人のみは滿洲側官憲に引渡し、前記城東某は引續き留置取調中である、なほ右城東某はチチハル記者團とは何等の關係なしと

市營住宅貸付け規則改正案可決
三日の旅順市會

【旅順】旅順市營住宅貸付規則中改正の件他二件に對する旅順市會は三日午後二時半から開會米岡宮田滿議員缺席東畑氏議長席に就き陸山助役より提案說明の後一應協議會の形式に於て第一號議案中改正の點は

家賃は月額十圓以上二十八圓の範圍に於て市長これを定む、但し市長は必要に應じ市參事會の決議を經て變更することあるべし

と改め讀會省略可決、次で昭和園貸付規則中改正要點を

晝間一日を　八圓乃至十圓
夜間一晚を　八圓乃至三十圓

晝夜連續を　十二圓乃至卅五圓

に改め讀會省略可決、次で市會議員選擧名簿に關する名古屋町一二德光能雄（三九）に對しては内地へ歸省中附加洩れであつたこと判明登錄することとし異議なく可決四時散會した

旅順市議懇親宴

【旅順】旅順市會議員一同は三日の市會を以て當任期中最終の市會と見做され且又改選期も迫つて來たので三日午後六時から永山市長を始め市吏員主なる者市會議員一同は壽に於て慰勞懇親宴を開催した

邦人農園に強盜
ランプの石油を撒き火傷を負はせて逃走

【鞍山】鞍山鐵西南四番町競馬場附近菊地農園番小屋に二日九時頃各自拳銃所持の三人組強盜侵入して使用人吳延貴（三七）吳玉坤（二〇）路福榮（二〇）姚振春（四七）の四名を脅迫し奧に寢て居た苦力頭郭士灣（六七）を土間に引摺りおろし金を出せと脅喝して毆打し麻繩で首を縛り三回も氣絕させたが應ぜぬので吊してあつた石油ランプを打ち撒き火をつけ大火傷を負はせ衣類その他をかつさらひ逃走した、一同は火の手が盛んなのに驚き消火に努め午後十時漸く鎭火したので急を本署に屆け被害者は直に滿鐵醫院に入院せしめたが頗る重態である

撫順電車變更

【撫順】撫順の市内電車は中央大街軌條の撤廢と新線工事並に交撫線列車時間の改正に伴ひ本月十日以後月末までは一部變更、十一月一日より全部改正すると

本署に連行藤本警部補係で取調べ中であるが、一兩日中詐欺未遂及介紹業取締規則違反として送局の筈

小泉聯隊長招宴

【遼陽】遼陽步兵聯隊長小泉大佐は三日午後五時半から偕行社に席を設け官民多數を招待新任披露を兼ねた晚餐會を催した

三巡査署葬
開原で執行

【開原】既報の九月三十日昌圖東方橫道河子に於て殉職した巡査永間文春、永田權太郎、風岡敏藏、池田一二三の四勇士の葬儀は署葬を以て十月六日午後一時開原公會堂に於て執行することになつた

口錢稼ぎ捕る

【撫順】最近中央大街六六に日鮮滿商工業界振興社假事務所なる看板を揭げてゐた櫻井淸郎（三一）は昨今市内西五條牛肉商德永慶長外四名の依賴をうけ各種物品の賣掛金合計八百七十餘圓の取立方を引受け債務者邦人四名滿人十六名に對し債權取立狀を送附しあわよくば不當の口錢稼ぎをせんとしてゐたが、撫順署增尾刑事に探知されて

沿線往來

▲林關東廳警務局長　三日午後三時五分着奉天へ

▲小泉第十六聯隊長　三日午後一時四十分發鳩で赴遼

▲小山貞知氏　同上

▲河本大作氏（滿海鐵路局理事長）三日午後三時五分着鳩で歸奉

▲岡部少將　三日朝來奉

▲中谷庚司氏（大阪府會議員）二日來奉

▲河野一郎氏（代議士）三日來奉

▲向坊勸業公司社長　三日歸奉

▲駒井德三氏（滿洲國總務長官）來奉中の所二日夜歸長

▲原惣兵衛氏（代議士）二日晚安東より來奉

▲岡野俊吉中佐（國際聯盟特派海軍代表）三日午後三時二十五分發安奉線で歸東

▲丁士源氏（滿洲國代表）同上

▲閻傳紱氏（奉天市長）三日午後三時十五分長春へ

▲後藤英雄氏（奉天市政公署顧問）同上

榮養
胃腸
わかもと
小兒の發育促進に
私が最初に姙娠いたしました時は、三ケ月もつはりが續いて、身體はひどく衰弱いたしました。そのためか、姙娠五ケ月で流産いたしました。前につはりで處が、昨年の三月に又姙娠いたしりした。今度こそはと家内中一生懸命でゐ失敗しておりますので、つはりがありまして、胸がむかましたが、五月初め頃からつはりがありまして、便秘は一層、くして嘔吐があり、食慾が非常に減退して、頑固になつて參りました。産婆さんに來て頂いて出來るだけの手當は致して勿論、快方に向ひません。……姙婦が「錠劑わおりましたが、婦人雜誌をよんでおりますと、病床で、安産した實話が出てゐましたのかもと」といふ藥を服んで安産した實話が出てゐましたのて私も試しにと思つて、買つて服用し始めました。これに力を得まするとニ日目に少し通じがありました。嘔吐が段々なくなりして尚のみ續けておりますと、惡心、便秘は癒えて、毎日氣分がすぐれて來て、半月程しますと便秘は癒えて、一方食通じがある樣になり、嘔吐はちつともしなくなり、慾はズンく進んで參りました。
この藥は、姙婦の榮養にも非常によいとのことでございますから、病氣の方は癒つても藥は續けて服用しておりました。殊の外によろこんだのは夫でございまして、これは一重に「わかもと」のわかをとの力で生れた子だからといふので、「わかもと」を服み續けた程でございます。
本年の正月二十日に安々とお産をいたしました。錠劑「わかもと」と名をつけた程でございます。
つて「若美」と名をつけた程でございます。錠劑「わかもと」を服み續けてゐました爲に生れた子は至つて丈夫で、お乳もドツサリ出ますので、其後の肥立ちも至極順調でございます。
右の一文は、若美さまのお母様が、よろこびの餘り下さつたお便りです。
母となるべき婦人の爲に
產婦人科の權威土肥博士が「母となるべき婦人の爲に」と題してその心得一切を極く平易にお書き下さいましたもの。
希望者は東京芝公園大門際、榮養と育兒の會事業部宛に(實費二錢切手七枚封入して)申込になれば急送されます。
虛弱者の體質改造劑
榮養強壯
胃腸衰弱
母乳不足
姙婦產婦
「わかもと」は在來の榮養劑の如く、單に榮養素を體内に補給するだけでなく、日常の食物の消化吸收率を非常に昂める。一日、僅かに三瓦の服用で一ケ月後一貫匁二貫匁と體量が增加するのはそのよき例である。
衰耗した胃腸の細胞機能に活力を與へ、消化、吸收を助け、慢性胃疾の胃腸病を治療するに「わかもと」の右に出るものはない。之ほ、在來の化學的胃腸藥劑には含有せられてゐなかつた多種の酵素を「わかもと」だけが特に有するからである。
母乳不足のため乳兒を衰弱せしめつゝある產婦が「わかもと」を服用すると早きは翌日より乳張り、榮養に富める乳汁を豐富に分泌するに至る。この現象は、催乳食餌の如き一時的の現象でなく、催乳機能の根底に作用せる結果であるから持續作用がある。
「わかもと」は姙婦、胎兒に必要な要素を悉く保有するのみならず、つはりを防止する不思議な効果を持つ。注意深き產科醫、助產婦が胎兒の發育と產婦の衰弱防止のため、姙娠常備藥として「わかもと」を推奬するのは諸賢の知らるゝ所である。
澤村名譽教授發見
專賣特許
藥價低廉
粉末 三〇日量=一圓六十錢 (用量一日三・〇瓦=九〇瓦入)
粉末=二七〇瓦入 四圓五十錢・五四〇瓦入 八圓五十錢
錠劑=三〇〇錠入 一圓六十錢・一、〇〇〇錠入 五圓
◎新發賣携帶用新型瓶 五十錢
發賣元 東京市芝公園大門內 榮養と育兒の會
海外代理店 三井物產株式會社
支店、出張所所在地=大連、奉天、長春、吉林、ハルビン、天津、北京、青島、上海、漢口、廣東、香港、サイゴン、マニラ、シンガポール、カルカッタ、バタビヤ、スラバヤ、シドニー、メルボルン、孟買、倫敦、紐育、桑港、シヤトル

依然拘留のまゝ取調べを續行す
一產業博事件の上に伸びる峻嚴なる司直の手

インチキ博覧會の首魁原理事長以下の拘留期間が切れる四日午後三時を以て一應身柄の宅下げをなし不拘束のまゝ取調を行はんとする司法部主腦者の意見に對し俄然部内に動搖を來し成行きを注目されてゐたが、同日午後二時三十分下田検察官長は池内検察官、藤井司法主任等を招き拘留問題につき種々協議の結果、一味の釋放を行ふことは捜査上大支障を來しその結果及ぼす各方面への波動をも考慮し一味の身柄は拘禁のまゝ進むにし意見の一致を見、同日午後三時改めて原理事長外六名に拘留狀（拘留期間二十八日間）を執行した、かくて氣を取り直した大連署捜査本部では午後五時半頃藤井司法主任を中心に捜査方針を打合せ颱賑極まる事件の核心を摑むべく邁進することゝなつた

検察局には意見の扞格なし
下田検察官長談

日滿博幹部の身柄拘束問題に就き下田検察官長は語る

私の談話の筋はいはゞ拘束不拘束問題に對する法律的解釋であつたのだ、まだ係検察官共會つて居ないので從て此事件に對する検察官の意見は何も聞いて居なかつた、自づから検察官と意見の扞格などはあり得べきとでなく、この點確と諒解して頂きたい、唯私のいつたのは若し法律的に見て「被疑者拘束の時間が切れた場合、別に逃走の惧ないものとすれば時宜によつては釋放してもよい」といつた迄でこの事件には少しも觸れて居なかつたのだ、斯様なことで内部に意見の相違あるなどは自然官紀にも關することであるからわざとその點を訂正して置く

池内検察官談

下田検察官長と私との間に博覧會事件で意見の相違を來してゐるかの如く傳へられてゐるが自分としては左様なことは少しもないと思つてゐる、本日（四日）官長には博覧會事件の經過をお話し最後に被疑者の身柄を拘束するかどうかの方針は官長を初め關係者が寄つて決定したことでそれまで官長も自分も直接この事に關する意見を述べ合つたことはない、然るに司法内部に於て意見の相違を來してゐるが如く見られることは司法權の威信にも關することであり特に申上げて置きたい事は司法部内に於て少しもこの事件に對する意見の相違はない、後から官長に伺つたところによると「法律上の建前からいへば逃走又は證據湮滅の憂ひないものは不拘束で取調べることも出來る」といふ總括論を話されたので博覧會事件を指して云はれたものでないといふことでありこの點誤解ないやう願ひたい

タクシー解散ごっこ
今度は妥協氣分

大多數を以て組合解散を決議した大連自動車營業組合では非解散派と抗爭を續けてゐたが關東廳保安課本多技手の調停で解散を思ひ止まり兩派握手して斯界のため盡力しようといふ妥協機運に傾き兩三日前から兩派代表會合中であるが四日午後二時ごろ大連署廣石保安主任は兩派代表數名を招致し妥協を勸告するところあり、一兩日中圓滿解決の運びとなつた

依然不安な東支線と呼海線
通信の杜絶で運轉狀況不明

最近における東支線および呼海線の運轉狀況は左の如くである

一、東支東部線は三日より日軍および護路軍警乘しハルビン愛河間普通第三列車を運轉す

二、西部線は東支側の報道によれば滿洲以西の通信破壞され詳細不明であるが安達は既に匪賊に占領せられあるものゝ如くであると

三、一日チチハル發の列車は未だハルビンには到着せず

四、海倫呼蘭間は三日正午開通の見込

但しその後の情報によれば三日東支東部線は二層甸子が匪賊のため電信線を破壞され、同所以東の通信が全然杜絶したため情況不明であり、從つて三日運轉の第三列車は一面坡以東にあるものと見られてゐるが確な所在判明せず、四日以後の運轉も目下のところ氣遣はれてゐる、次いで西部線については安達ハルビン間の通信も杜絶し運轉復舊の見込は全然立たぬ

李海青軍潰走
死體多數遺棄

【チチハル四日發】二日間に中山枝隊の包圍攻撃を受けた李海青軍は千五百の死體を遺棄し黑龍江省軍の包圍を脫し潰走した、李海青は生死不明であるも再起不可能と見らる

チチハル危險

【チチハル四日發】三日午後昂々溪より當地に來る洮昂線の乘客者は當地を距る二キロ（飛行場附近）の地點で兵匪に襲はれ乘客中協和會員若林一郎氏（同文書院出身）は殺害され他は拉致された、チチハル郊外は愈々危險となつた

綾龍大連護送

大連署の手配となつてゐた美少年...實は八千圓藝妓綾龍こと水流綾子は大連署より引取に來た刑事に渡され四日の「はと」で大連に護送された【奉天電話】

舟山號沈沒
船體は二分

舟山號救助に出動中の大連丸より四日午前六時の無電によると舟山號は遂に波浪の爲め眞二つに切斷され前部は僅かに甲板のみを殘して岩上に横たはり後部は全部沈沒してマストのみが見えるに過ぎず殘餘の乘組員は救助を求めてゐるが波高く近寄れず英艦スケルトン號が來航したので救助を依頼した

乘組員の救助
波高く困難

遭難英船舟山號は遂に既報の如く眞二つに切斷され後部船體は沈沒し前部の一部分のみ辛うじて海上にあるが四日午後一時大連丸よりの無電によると帝サル優捷丸は四日午前十一時現場到着、乘組員を救出せんとしてゐるが波高く近よれず食料はまだあるが飲用水は缺乏の模様であると

航濟號坐礁

支那船航濟號は三日午後七時二十五分吳淞沖にて坐礁目下救助を求めてゐる

滿日主催

『最惡の場合の帝國海軍の方策』
講演と映畫の夕
七日協和會館で

練習艦春日
海軍大佐 中村重一氏

演題「國際聯盟に於ける帝國の立場と最惡の場合の帝國海軍の方策について」

全滿射撃大會
射撃順序きまる
參加射手二百五十名

王殿下御下賜の優勝盃及び本社優勝盃爭覇の第六回全滿小銃射撃大會は愈々來る九日午前八時三十分より大連市春日池畔大連市民射撃場に於て開催するが三日申込締切の結果第一部三十四個班、第二部十五個班計四十九個班出場射手二百四十五名の未曾有の盛況... 時局柄各方面より非常なる期待を以て迎へられて居る大連市民射撃會並に本社共同主催の伏見宮...

第一部

第二部

馬賊を追ふ

星ケ浦を狙ふ匪賊
殘黨一名捕る
昨夕沙河口署の活躍

二日夜星ケ浦を襲はんとした十三人組匪賊團の殘黨はその後二日間に亘り沙河口署において不眠不休の捜査中であつたところ四日午後三時半ごろ星ケ浦逃走五人組の内二名が大膽にも白晝再び星ケ浦黒石礁十四番地富豪于喜亭氏方に訪れたのを、さきに星ケ浦にて櫻井巡査が頭目王振德を逮捕した際、同所に居合せてかれて顏見知りの星ケ浦の壯丁孫萬壽（三）が折よく同家に居合せてこれを發見し直ちにこの旨星ケ浦派出所に屆出でた急報に接した沙河口署では三浦署長を先頭に内勤巡査も總出で全員百餘名が賊の立ち去つた郭家屯を中心として管内小平島以東星ケ浦間の約二里四方に亘つて旅大道路を挾み村落山野、海岸一帶の横隊大追跡をなし人家は片つ端から捜索を行つた結果午後四時五十分に至り郭家屯後永子橋西方果樹園内豚小屋に潛伏してゐるのを谷川警部補一隊の捜査隊が發見逮捕せんとしたところ遂に發覺せることを知つた兩名は最後の抵抗として猛烈に飛びかゝり豚小屋内で大格鬪を演じたが衆寡敵せず遂に力つきて警官隊のために高手小手に縛されて一同凱歌をあげ星ケ浦派出所に連行された、この兩名は王德峰（三〇）高恩榮（三七）と言ひ何れも一緒に逮捕された一味同様山東方面より來連したもので頭目の逮捕されて指揮者のなくなつた兩名は四日午後單獨星ケ浦に現はれ高飛びの資金にと最後の強盗を働かんと前記于喜亭氏方を訪れたものらしい＝寫眞は馬賊王德峰右と、高恩榮左（下）馬賊追撃中の警官隊（下）

白を切る
嚴重に取調べ

四日午後逮捕された匪賊の一味王德峰、高恩榮の兩名に對して沙河口署は深夜に到るまで嚴重な取調べを行つたが、兩名は市内寺兒溝浪速町二番地に居住し、當日は郭家屯に賭博の目的を以て赴いたものであると頑強に云ひ張り、飽く迄匪賊の一味でなく唯の賭博常習者であることを主張したが、沙河口署では彼等の言葉の節々より匪賊の一味であることに疑ひなしと見込みをつけ、尚徹底的に取調べを續けると共に、彼等が潛伏してゐた方面に對して物的證據の蒐集に努めることになつた、尚沙河口署より連絡により浪速町住居に關する手配を受けた大連署では直に管內各派出所の連絡に注意すると共に夜間の警戒を一層嚴重にするやう手配を行つた

危い鄭垂氏邸

二日夜逮捕した匪賊王振德頭目以下五名に對して連日嚴重なる取調べを續けてゐるが、計らずも當夜星ケ浦方面に現はれた一派が滿洲國總理鄭孝胥氏の令息にして總理秘書たる鄭垂氏の黑石礁の本宅を襲撃する模様のあつたことを知り或は政治的又は思想的背景のある一味ではないかとの見地より一層愼重なる取調べを行ふことになつたが、同時に未逮捕の一味に對しては全能力を擧げて警戒することゝなつた

居眠り女工
腕時計失敬さる

看守誣告事件
懲役五月求刑

海運界視察に

日時 九日午後二時
球場 滿倶球場

駿臺倶樂部 稻門倶樂部 定期戰

主催 駿臺倶樂部 稻門倶樂部
後援 滿洲日報社

中根工務監督
大林組工事視察

實業大會
準優勝戰
國際、OB勝つ

訪滿自轉車隊

銅像創立委員會

學童使節謝電

公示催告

大連市山縣通 國際運輸株式會社

昭和七年十月三日
關東廳地方法院

曙の鐘 (427)

倉田潮 作
河野想多 畫

毒盃（一）

平津は已の一身を犠牲にして、芳川さより子を訴へ、お夏の罪を輕くしたが、まだそれだけでは滿足が出來なかつた。

未決に放りこまれて暗い日を送つて行くのはそれほど苦にもならなかつたが、自己の一身を犠牲にして糺彈した芳川さより子さが眞の犯人でないとすれば、あけみの謀につた譯になる。だが、より子が眞の犯人でないと思ふのは、あけみの云つた通り

「昔、自分がより子と甘い關係があつた爲めに無意識により子に同情してる」

爲だらうか。それも多少はあるかも知れない。が、それかと云つて、あけみの今迄の態度や處置には疑ひをかけずにはすまされぬところがある。

あけみは事件の眞相を殘る隈なく知つてゐるらしい。そして、已の心のまゝに人を牢獄に送つたり又出してやつたりする。それだけでもあけみに疑ひをかける餘地は十分あるではないか。

芳川さより子とは明に被害者に害惡を加へたのだから、相應な罪の報いをうけるのは至當である。が、罪の報いをうけ可き者はもう一人外にありはしないか。

「何うせ俺はこんな豚箱の中で死ぬ人間ではないのだから」と平津はニヤ〳〵笑ひながら考へ續けた

「何うせ俺は近く陽の目を見る時が來るのだから、その時期を少し早めて、明日にもこの豚箱を蹴破つて外に出ようか。そして、最一人の罪の報いをうけべき人があるなら、その人をも一緒に連れて來ようか」

平津はもとよりこんな未決なぞを破るのは譯ないことであつた。時々人が中に這入つて來るではないか。その人を鳥渡くびり上げてそのかへ玉として出て行けばよいのである。が、彼は成るべくなら人を苦めずに出て行きたいのである。芳川の家から警察に連れて行かれる中に彼の選んだ暴力は、餘儀なくやつたことなのだが、今は十分時間があるから、あんな無理を通さずとも外によい方法がないこともなからう。

平津が其の方法を考へてゐると署長が使ひをよこして逢ひ度いと云つて來た。平津は此處の署長が好きだつた。平津に對するばかりでなく總ての者に對して出來るだけ寛大な許しであるらしい。特に平津に對しては一寸恐縮するほどの禮を以て接してゐる。

署長室のドアを押すと、平津は友達の家にでも這入つて行くやうなゆつたりした氣持で、笑ひながら椅子の前に立つた。

「おかけ下さい」

と今日に限つて署長は嚴しい面持ちをして云ひながら、自分は立ち上つて後の扉をしめた。コンクリ五階建の大きい署内の物音も、扉が厚いので急に室内に聞えて來なくなつた。署長は再び席に戻ると

「平津さん、今日は秘密に御相談したいことがあつて御よび申しました」

と椅子をすゝめた。平津も椅子をすゝめて答へた。

「何んな御用ですか」

「これは私一個人として申上げることですが、私は以前からあなたのなされたことを新聞で讀み、また御經歷をあなたの同郷の人から聞いてよく知つてゐるばかりか、あなたのなされたことが一私人の利益の爲でなく、日本國家全體の爲に犠牲となつて執行されたことだと知つて、職務柄をも忘れて非常に共鳴してゐるのです。で、公人としての私は何時までもこゝにあなたを止めておいて十分取りしらべをせねばならないのですが、さうすればかへつて日本人としての私の本分がつくせません。日本人として考へるとあなたをこゝに止めておくより廣野に放つて日本の爲に盡して頂いた方が何れほど爲になるかしれません。で、私は職をとして、あなたにこゝから出て頂き度いと思ひますが私の微衷を入れて下さいますか」

と決心を面にあらはして言ひ切つた。

けふの放送

大連 JQAK

十月五日

▲午後七時 ニュース
▲講話「旅大北道路八景に就て」滿日社營業局長佐賀秀雄
▲長唄「角兵衛」（後の月酒宴の島臺）唄堀越健、三味線杵屋三喜乃、同三喜良
▲マンドリン合奏（一）ウインナ行進曲（シユラメル作）（二）詩的序曲（カンナ作）滿鐵音樂會演奏部員
▲職業紹介事項
▲ニユース
▲氣象通報
▲支那劇「南天門」公餘團劇社

東京 JOAK

▲五日（午後六時三十分）講演「神代の武藏野」文學博士鳥居龍藏▲（七時）常磐津「祝言式三番叟」（式三番）淨瑠璃常磐津文字太夫、同和佐太夫、同歌男太夫、同三都太夫、三味線同三藏、上調子同市松、同政壽郎▲（七時四十五分）小唄「未定」唄小林喜舞、三味線佐橋章子▲（八時）管絃樂（新交響樂團練習所より中繼）（一）行進曲歡喜（チユリーヌ作）（二）昭和奉讃曲（大沼哲作）（三）圓舞曲記念せよ（チユリーヌ作）（四）祝典行進曲（シユトラウス作）日本放送交響樂團、指揮平野主水

廿五周年を迎へた電機學校の活躍振り

東京市神田區錦町二丁目所在の財團法人電機學校は、目下電氣科、機械科の校内生及び電氣科の校外生を募集中であるが、同校は明治四十年の創立に係り、既に二萬四千廿九名の卒業者と、遞信省電氣省電氣主任技術者試驗合格者三千九百廿一名を出し、現在校内生四千五百餘名、校外生一萬五千餘名を有し、我邦工業教育界の權威として本邦工業界に異常の貢獻を爲しつゝあることは一般周知の事實である。

同校は今年創立廿五周年に達したるを記念し、益々其の內容を充實し、名實共に斯界の權威たる陣容を整へた。詳細は同校に規則書を申込まれよ

第九回 滿日特選碁戰

先 四段 向井一男
相先先番 三段 蒲原繁治

對局者の感想

黒付く一三五の手はこちらから打つのであつたかはつきりしませんでした

滿洲日報
十月四日發行

皇軍を侮辱する報告 正義上根本的に排撃
憤慨せる陸軍當局見解

【東京四日發】わが陸軍ではリットン報告書が九月十八日の我軍の行動につき正當な自衛手段と認むることを得ずとなしてゐる點に著しく刺戟され之は單なる認識不足にとゞまらずして**故意に基く皇軍の侮辱であり越權の沙汰である**と憤慨し完膚なきまでに之に痛撃を加へる決心である、陸軍の見るところでは報告書がかゝる不遜の文句を使用するに至つたのは

一、我軍の鮮かな手際を見て計畫的なものと見たこと

二、學良が九月六日王以哲に對し日本軍と事を構へるなと訓令したといふ學良側の言明を故意に重視したこと

三、王以哲が日本軍に對し無抵抗主義を執つたと言明したことを故意に重視したこと等に基因するもので事變發生當時すら日本軍の自衛權の範圍逸脱を論じた者がなかつたのにかゝはらず**調査團がかゝる根本問題につき故意に虚構の説をなすはその任務と逆行するもので正義確立のため根本的に排斥せ**ざるを得ぬとなしてゐる

重大難局展開を豫想
ジュネーヴにおける觀測

【ジュネーヴ三日發】日支問題に關心を有するものは報告書に對し種々の意見を吐いてゐるが反日分子は報告第四章、第六章の二章を振廻し聯盟の對日方針は之に依り確立したといつてゐるが、他方には第一、第二、第三章などを通觀して聯盟が日本に對し採つた態度に若干修正を提議したものだといふものあり又第九、第十章は日本に對し大なる讓歩だと解し、殊に支那に鞏固なる中央政府が出來なければ日支問題は解決出來ぬとあるは日本の主張を或る程度迄放任的に觀する外なきに至りはせぬかといつてゐる、然し有力筋の見解は若し日本が滿洲國につき形態上の讓歩を甘受するならば實質的に多くの利益を受ける結果にならんと觀測され、日本代表部にもこの見解を重要視する者があるけれども今更日本が滿洲國承認から背進するかも知れぬと豫想する者なく茲に重大な難局が展開されんと豫想される

支那領土の共同管理具體化
支那少壯要人の反對

【南京三日發】國府側の意見は既報の如く大體報告書是認の態度だが、未だ贊否の正式意思表示はなさず蔣介石、汪精衛等首腦部の意見書到着を待つてゐるが、少壯要人連は調査團建議の解決案は支那領土の國際共同管理を具體化せんとするもので支那を侮辱することゝ甚だしく國民黨の主義、主張に甚だしき逕庭ありとて絶對反對意見を吐きたるものが多い

學良の機關紙 毒つく

【北平四日發】學良の機關紙は報告書に關し左の如く述べて居る

不法手段により滿洲が占領されたのを證明しながら原狀恢復を認めず、これを特殊自治區域とするが如きは侵掠者は必ず優越の地位を占め得ると爲すもので矛盾も甚だしい、英帝國內のカナダやオーストラリヤは人民の自由意思により自治を享有してゐるが、東三省は脅迫に依るものだ、中國の公僕として成るべく日本人を顧問として採用すべしとなしてゐるが一度日本人の性質に思ひを及ぼす時中國の公僕云々は笑止の至りである、日本が報告書の解決案に對して斷然反對の事は始めから明かだ

滿洲國代表として先般來朝した鮑觀澄氏は一日午後三時永井拓相を官邸に訪問し着任の挨拶を述べ種々懇談後乾盃を擧げ退去した、寫眞、乾盃する（中央）鮑代表（右）永井拓相

報告書の重要な二點
南京當局は鋭意考慮中
羅文幹外交部長聲明書發表

【南京三日發】リットン報告書に關連し南京政府は本日午後六時外交部長羅文幹の名を以て左の聲明書を發表した

報告書は既に公表を見た、之はリットン卿以下の調査委員が數ケ月を費し國際平和のためにせる努力の結晶である、吾人惟ふに昨年十二月十日聯盟が調査團派遣に決定し、日本が支那の領土を侵略した事態に關し最後の根本解決方法に貢獻せんと欲して此日ブリアン氏が聯盟理事會に調査團派遣の決議案を上程し採決に當り曰く「調査範圍は原則上極めて廣汎である、此の問題は國際關係に影響し日支兩國の平和を紊亂したが**和平手段に依つて兩國間の諒解の可能性あるかを調査團に依つて研究**すべきで如何なる事項も除外してはならぬ」と、故に調査團の職務は調査團が審査し得る一切の關係事項及び和平解決方法を以て聯盟に建議し得るは完全正確な解釋である、**報告書を總覽するに最も顯著な二點あるを觀取**出來る、其一は九月十八日、夫以後の一切の日本の軍事行動は等しく正當の理由なくして自衛手段と認められぬ事、第二は所謂滿洲國なるものは正しく自然の獨立運動に依り生れたものに非ずして日本文武官吏の操縱に依つて造作された結果であるといふ事だ**報告書が包含する幾多の性質は極めて重要のものであつて現に中國當局は鋭意考慮中**である【寫眞は羅文幹】

既定方針により國難を打開せよ
經濟聯盟政府を鞭撻

【東京四日發】リットン卿の報告書に對し財界は集つて滿洲問題に關する根本的認識を誤つてゐる點を指摘し、滿洲國承認といふ嚴然たる事實の上に立脚して飽く迄既定方針の下に聯盟總會に臨むべしとの意見を述べて政府を鞭撻してゐる、殊に注目すべき點は經濟團體が一丸となつて政府を援助し擧國一致の外交を確立して國難を打開せよとの有力意見が擡頭した事で我國經濟團體の主力である經濟聯盟は該運動の先鞭をつけるため來る五、六兩日開催の常議員會に本問題を附議し帝國の立場を中外に聲明する筈である、而して經濟聯盟の主張する所は我經濟聯盟はリットン一行調査團來朝の砌、滿洲問題に關する公正なる幾多の資料を提供してゐる而もリットン卿は歡迎會席上でも我國の立場を理解せる如く或は同情せるが如き演説を行つてゐる、然るに報告書を見るに總てが偏見を以て作成せられたものとしか思へぬといふにあり

正義の立場から斷然頑張るべし
長島代議士の意見

政友會代議士長島隆二氏は去月十九日東京を出發朝鮮經由京城にて宇垣總督と面談の上新京に滿洲國要人を訪れ主として經濟財政方面の視察中であつたが、この程來連四日出帆はるぴん丸で歸京の途についた、出發に先だち語る

滿洲國の獨立については自分は既に昨年七月から堂々とその正しきを論じて來たが私見通りなつた事は實によろこばしい、その裏面における滿洲國側要人それに之を支持する我國民の輿論の力は決して忘れられない、國際聯盟の報告書がどうあらうと正義の立場において頑張るべきだ、今回は主として財政經濟方面の視察をなし次の議會への勉強をなしたのだ、財政の方は心配してゐたが色々聞くと大丈夫らしいのでホッと安心した、經濟方面も大筋にいへばどうやら軌道に乘つたらしいからこれも安心した、今後はどうしても治安維持に全力を注ぐべきだらう

滿鐵關係の事項を專門的に詳細檢討
我代表に資料を提供

世界の環視の裡に玉手箱の蓋を明け、目下種々の議論を捲き起してゐるリットン報告書の原文および邦譯文は一部づゝ滿鐵に急送することゝなり、三日朝東京發の飛行機に積込まれた旨外務省より滿鐵本社に入電があつた、同機は四日午前十一時周水子着、自動車で郵便局に託送されそこより滿鐵より出迎への自動車に積込まれて滿鐵本社調査課に送られ、到着と同時に邦譯文は四部乃至五部に分割して印刷に附することゝなつた、これがため三日午前市中の有力な印刷業者の代表が滿鐵本社に集合したが、徹夜で急いでもなほ三日を要するから完成までは今週一杯かゝるものと見られてゐる、滿鐵では約百部印刷して社內關係各箇所に配布しリットン報告書において滿鐵および滿鐵關係の事件や事業が如何に取扱はれてゐるかを專門的に精密に研究し對策を決定し、又近くジユネーヴに開かれる聯盟理事會に出席する我代表に資料を提供する筈

滿鐵提供の資料整理

聯盟調査團の來朝以來、これが案內および說明の衝に當つたのは外務省であるが、四月二十一日一行が大連上陸以來は、滿鐵は最も重要な役割を演じた、滿鐵が一行のために用意した社員は三十二名で內二十名は直接一行に接觸して居り、支出した經費はなほ淸算を終へぬが十二三萬圓に達する見込みである、殊に滿鐵は多年滿洲に關して基本的な調査を行つてゐたのでこれらの資料は最も一行より重視され、又山口營業課長の鐵道問題に關する說明などは一行を動かし、わざ〳〵北平まで招かれ、これがため經濟問題についても滿鐵より社員を北平に派遣して貰ひたいとの希望が來る有樣であつた、かく調査團一行と滿鐵とは密接な接觸があつただけに兩者間の質問應答その他の關係書類は調査課の戶棚一つを一杯にするほど浩瀚なものになつてゐる、目下これが整理中で近く總裁に報告書を提出すべく渡邊調査課員が第一篇を長谷川同課員が第二篇を擔當、つゞいて各關係者が各部門を分けて執筆を急いでゐる、なほ裏面に色々な面白いエピソードもあり、記錄としても貴重なものなので、各關係者で一般向の物語風の單行本をつくり長く殘しておかうといふ議もあり目下計畫が進められてゐる

松岡代表は來る十五日出發
小林代議士を同伴

【東京四日發】帝國代表松岡洋右氏は來る十五日代議士小林絹治氏を隨へ愈々ジユネーヴへ向け出發する筈

陸軍省明年豫算 五億千七百萬圓
內事件費一億三千七百萬圓

【東京四日發】陸軍省の明年度豫算は昨日大體決定したが、總額五億一千七百萬圓に達しその內譯は通常豫算二億一千萬圓、兵備改善費三億七百萬圓で兵備改善費には滿洲事件費一億三千七百萬圓が含まれてゐる、之が財源は國防充實費の繰合せより支出する

聯盟總會 本會議

【ジユネーヴ三日發】聯盟總會本會議は三日午前十一時再開先づポーランドの非常任理事國としての再選、選擧權要求の件につき投票の結果三一對六票（四票棄權）を以てポーランドの要求可決、續いて過般理事會可決のイラックの聯盟加入につき滿場一致承認之により聯盟加入國五十七國となつた

非常任國改選

【ジユネーヴ三日發】總會本會議は引續き午後三時半より續開、滿期非常任理事國の改選の結果ポーランド再選、ペルー、ユーゴースラビアの後任としてメキシコ、チエッコ兩國新に選出された

リ卿倫敦着

【ロンドン二日發】日支紛爭の國際的巨彈を投じた調査團委員長リットン卿は本日ロンドン着、久振りで故國の土を踏んだが驛にはサイモン外相その他出迎へ

うすりい丸船客

【門司特電四日發】六日大連豫定のうすりい丸の主なる船客

東京外語教授田代光雄、東大教授池內宏、京大教授濱田[illegible]、岡崎騎兵少佐、工業クラブ[illegible]彰一、肥田琢司、吉田直[illegible]、[illegible]羽政助、天野賢治、神保[illegible]、下田文吾、秋山正八、原田[illegible]、大塚貞次郎、古山石之助、[illegible]騎兵少佐

國際政局と滿洲問題の自主的解決
中野正剛氏の講演（六）

本社主催の中野正剛氏講演會は既報の如く二十七日午後開催非常な盛況を示したが左に連載するのは當日に於ける氏の講演の要領を筆記したものである、氏は演題を特に明示しなかつたのでその要旨を汲んで假に「國際政局と滿洲問題の自主的解決」と表題して置いた、文責と共に題名も亦記者に責任あることを茲に特記し講演者及び讀者の御諒解を願つて置く

私は先般新京において執政にも鄭國務總理にもお會ひした、そして盛んに滿洲國の王道政治論を聞いた、私はこの王道政治についてはさきに鄭總理のパンフレットも讀んだが、大學にある文句や孟子の言葉などが多數に引用されてゐる、而してそれ等の言葉は何れも私達が若い時代に習つたものであり日本においても儒教的王道政治は三百年の昔から盛んに說かれて來たものである

唯日本の最初の王道政治論は、說かれるのみで實行されてゐなかつた、即ちそれは朱子學によつてゆがめられた出來損ひのものであつたのだ、彼等は王道は天下を定む、而して人を正しきに行はしむと說くのであるが、この王道論を打破つたのが歐陽明であつたのだ

歐陽明學派は身を治めるは家を齊ふため、家を齊ふるは國を治めるため云々のことは事をなすの順序に非ず心を用ふるの順序であると唱へ心を正しくすることゝ政治は一緒であると說いたのであるが、日本においてこれを最初に唱へたのが即ち中江藤樹であり、次いで熊澤蕃山であつたのだ、只仁義を唱へこれを以て人に接するのみでは國家は治まらぬ、然らば何が故に農民が困るか、一般平民が困るか、それは世に政治がなく經濟がないためであるとして、これに具體的な方法を授けたのが熊澤蕃山であつたのだが、これこそ生きた王道の活用である、而して私はいま外交に關してもこの王道を利用すべきであると思つてゐる

支那の覇道的政治は遠交近攻の政策を執つたが、日本においてはこれと似た例に織田信長がある、然し織田信長の當時にあつては遠く友好を交へるものも日本であれば近くこれを攻めるのも、また日本であつたのであるが今日は遠きは即ち英米佛露等であり近きは支那、滿洲朝鮮である、而して支那または織田信長の實行した覇道に反し私が述べた王道は先づ交りは近きよりこれを及ぼし、漸次にこれを擴大して遠きに及ぼさんとするものである、夷を以て夷を制せんとする覇道的外交を排し、近きより遠きに及ぼす王道的外交を行ふことが今日の我々の急務であると信ずるものである

即ち我々は滿洲、朝鮮を結ぶ日滿經濟ブロックを完成し、漸次これを他國に及ぼして行くべきで、即ち先づ搾取なき三千萬民衆の幸福を基調とする滿洲國の發達の中に日本の發達を求めることが今日の急務であるのである、私は日本の政治的財政的立直しのため、日本政界に率先して日滿統制經濟の確立が必要であることを說いたが今日においてはこの日滿統制經濟なる言葉は全く大衆的に唱へられるに至つた

一口に統制經濟といふも勿論その中には種々な重要問題が含まれてゐる、紡績、米穀、土地私有制等種々な問題が議論の中心となるが、これが方針を決定するためには參謀本部を作ることが先決問題であり、これには滿鐵をはじめ滿洲國に在住してその事情に精通される諸君の內より適任者が參加されると共に、日本內地の適任者もこれに加つて計畫を樹立すべきである

先般も撫順炭移入制限問題が起つて大騷ぎとなつたが、結局その會合も明確な解決を下し得ずして終了した、私は日本と滿洲に產する石炭問題の解決には結局兩國を通じた統制經濟を樹立するの他ないものと信じてゐる、先づこれを値段について考へて見るとき兩國の石炭について相當の値開きのあることは當然であるが、今日本に產する石炭の價格を十圓とすればその價格構成分子の中には國稅をはじめ種々の稅金が含まれ、その他日本人勞働者としての賃金等種々雜多な費用が入り込んでをり、即ち日本の一噸の石炭中には日本國民全部に對する國家の諸施設費に要する費用が入り込んでゐるのである、それを今租稅もかゝらず勞銀も安い中から生み出されて來た滿洲の石炭を以て、日本に持込まれた場合日本の石炭が驅逐せられることは當然である

かくなれば日本の炭礦勞働者から多數の失業者が出し延いては國家の諸施設に要する費用の捻出まで困難にすることは必然であるかゝることは日本內地にとつては非常な打擊であることは事實であり以上宜しく相共に協調し、例へば內地の石炭が十圓であり、滿洲の石炭が五圓であるとすればその中をとつて七圓五十錢とし、內地の二圓五十錢の損失は滿洲の二圓五十錢の利益によつて埋めて行くか、即ち双方の資源を共通にし値段を統一してその統制をはかるべきであつて、それに伴つて石炭需要の道を新たに開拓して行くべきではなからうか

人事

▲增田義男氏（大汽專務）四日出帆はるぴん丸にて內地へ
▲岡田源太郎氏（內外棉重役）同上
▲磯野健三氏（上海紡績重役）同上
▲長島隆二氏（政友會代議士）同上
▲井關安治氏（關東廳檢察官）同上
▲姬路師範滿鮮見學團一行八十三名 同上
▲船田要之助氏（前滿鐵大連工場長）四日入港香港丸にて來連
▲中根龜一氏（大林組工場監督）同上
▲小林政助氏（救世軍少佐）同上
▲中村新八郎氏（日本大學講師）同上
▲荒井延一氏（滿蒙植民協會大阪支部長）同上

蛇角

◇ 東洋の一角に砂上樓閣を築かうといふのがリットン報告の結論。
◇ 軍縮の提案に輪をかけた空理空論が所謂報告書の妥協案なるものらしい次第。
◇ これで滿洲問題解決の鍵を握つたつもりは近頃チヤンチヤラ可笑しい次第。
◇ リットン調査團は多分滿洲問題調査の代りに、蜃氣樓見物でもして行つたのだらう。
◇ 體面か命か、むろん命が大切と各方面の意見一致。
◇ そこで日本人も大びらで俥夫になれる權利？が認められたわけ。
◇ かといつて命のためなら體面など構はぬといふ譯にも行くまい、職業婦、物貰ひの徒よ、白日の下を遠慮せよ。
◇ 手摺りの襟あからめし曝衣かな

滿蒙の戰慄（117）
直木三十五作　淺枝次朗畫

闘爭 四ノ五

「何つ」
春井が、振り向いた。西城が
「麗子、行つちや駄目だ」
と、叫んだ。麗が、その聲と共に、涙を頰へ流して
「わかつたから、よして頂戴」
春井が
「何、云ふてんのんや、この子は」
と、いふと、素早く、麗の手を握つて、大きく一足踏み出した。
西城は
「待ち給へつたら」
椅子を押して、近づくと、春井の手へ、手をかけた。
「何すんれん、あほらしい」
そう云つたかと思ふと、春井の左手と、右脚とが、閃くやうに、西城の肩と、脚とへかゝつた。一人の女給が
「あーつ」
と、叫んだ。
「まだ用かい」
「女に暴力を振つて、それでも、貴樣、男か」
バアテンが
「危いから、よしなさい」
と、西城の腕をもつた。
「お前、中々、勇ましいな」
春井は、立ち止まると、西城の方に、向き直つた。麗が
「西城さん、いゝから——危いつ」
と、叫んだ、その時だ。春井の手から、灰皿が西城のすぐ足もとの床の上で、毀れた。けたゝましい音が、部屋中、一杯になつた。西城のうしろのボックスの客が、立つた、隅の方へ行つた。マダムが
「春井さん、賴むから、亂暴しないで」
と、叫んだ。一人の客が

と、叫んで、自分が、投げつけられたでもしたやうに、ボックスの所へ、小さくなつた。バアテンが
「春井さん」
と、呼んで、走つて出てきた。西城は、テーブルにぶつかつて、椅子をつかみながら、椅子と一緒に、床の上へ、轉がつてしまつてゐた。
「春井さん」
麗が、絶叫した。だが、その素晴らしい力の下に、ちゞんでゐるだけであつた。
「行け」
春井は、麗の手を引つ張つた。バアテンが、西城の起き上つた所へきて
「御負傷は、ございませんでしたか」
と、囁いた。西城は蒼白な顏をして、春井を睨んだ。
「春井」
「おい、巡査でも、呼んで來いよ、麗が、可哀さうぢやないか」
と、云つた。
「でもね」
と、女が、それに答へた時、西城が
「麗子、殺されるか、殺すかまでやるんだ」
それには、強い決心が、こもつてゐた。だが、麗子は、その意味が、よくわからなかつた。自分のことか、西城のことか——
「ふん」
春井は、微笑して
「男らしい文句だ。出ろ」
と、云つた。
「よし」
西城は、つか〳〵と、春井の方へ、近づきながら
「こいつは、迷惑だ」
春井の前を、通りながら、こう云つた西城の顏は、凄い決心に、光つてゐた。

原理事長等を釋放し不拘束の儘取調べか
下田檢察官長の意見に對し池内檢察官等は反對

大日滿産業博不正事件の捜査は三日深更に至るまで地方法院檢察局池内、高井兩檢察官も居殘り、關係者の取調べを行ひ一方大連署司法係も藤井司法主任以下徹宵で原理事長、石田理事を引出して嚴重取調べ、證據の蒐集に努めてゐるが多年利權漁りを以て世渡さしてゐる連中だけに巧に法網を滑り容易に尻尾を摑まれず、拘留期間の切れる四日午後三時までには刑法上の責任を負はしむるだけの確證を蒐むるに至らないとの理由の下に四日午前九時地方法院檢察局に出張した下田檢察官長は一應原理事長以下を釋放し不拘束で取調を進むるとの意見を有して ゐるに對し池内檢察官、石井大連署長、藤井司法主任等は身柄拘束の下に取調べなければ捜査上大支障を來すとの強硬なる反對意見の下に下田檢察官長の間に協議が進められつゝあり成行は一般の注目を惹いてゐる、なほ原理事長等から博覽會々長に擔ぎ上げられた步兵大佐佐藤庸也氏は四日午前十一時三十分大連署に出頭、石井署長と會見し經過の顛末を陳情するところあつた

近く拘引取調を受くるものと見られ、事件は擴大を豫想されてゐる

逃走の恐れはない不拘束でもよい
下田檢察官長語る

下田檢察官長は四日午前九時大連地方法院檢察局に出張し池内主席檢察官より日滿博不正事件の經過を聽取、捜査方針に關する打合を行つたが、右に就き下田檢察官長は語る

事件は非社會性のもので不都合極まる行爲と思つてゐる、犯罪範圍は日滿に跨る廣いもので五日や十日で捜査完了する事件でないから今後の嚴正な取調への結果を俟たなければ何んさもいへぬが、今日被疑者達に逃走の憂ひ、又は證據湮滅のおそれなければ敢へて身柄を拘束して調べる必要もなからう、拘留日[限]は四日の午後三時迄であるからこの點に就いても池内檢察官さ協議して決定する、しかし身柄を釋放しても事件が片付かないといふ譯でなく引續き徹底的取調べは行ふ考である

動かぬ證據は福券詐欺
小川部長撫順に急行

原理事長、石田理事兩氏の不正事件中動かぬ的確な證據を握られたものは例の四萬圓福券として大連署の許可なきに無斷で賣出し撫順石原洋行こと石原純一氏の七百枚（一圓福券）を初め鞍山、奉天、鐵嶺各地の代賣人を欺き約三千圓に達する詐取を行つてゐる點で、右の事件捜査のため小川部長は二日夜撫順に急行、被害石原洋行に就き取調四日朝歸連した、即ち四萬圓福券賣に對し當時大連署では賞金總額四萬圓を供托せざれば發賣を許可せぬ方針の下にあつたのを原理事長は恰も四萬圓を供托し發賣許可された如く裝ひ、撫順石原洋行外各地代賣人へ「許可された御盡力を乞ふ」との打電し代賣店を安心させ、約三千枚の福券を發賣させたもので、後に至つて無許可福券判り代賣店では狼狽し市民から福券の買戻しを行ふなどの騷ぎを演じたもので中には、代賣店から福券前渡しの代金を取つてゐるところもあり代賣店の蒙つた損害は相當多額に達してゐる模樣である、なほ福券詐欺に關し大連市内某有力者が介在してゐるらしく

標識視察船羅州丸
四日大連に入港

去る九月二十日横濱を出帆せる遞信省燈臺局航路標識視察船羅州丸は定期燈臺並に航路標識巡視のため遠州灘潮岬室戸岬を經て四日午前八時大連港外に到着した、同船には遞信省技師寺田武船長の外同燈臺局工務課技師遠藤邦夫氏以下係員を始め燈臺着識交替者を乘せて居り同日午前十時再び黃日燈臺に向け出帆したが圓島燈臺及び同島霧信號所等を巡視し六日午後二時再び大連に入港、四五日碇泊の上旅順方面の各燈臺を巡視の上長崎方面に赴く豫定である

一般の米人は戰爭が恐い
小林救世軍少佐の談

三十餘年に亘り米國にあつて日米親善に盡粹せる救世軍在米日本人部指揮官救世軍少佐小林政助氏は去る五月五日久方振りに歸朝、内地各都市を巡り視察並に講演中であつたが四日午前九時入港ほんこん丸にて來連した、氏は左の如く語る

滿洲事變後の滿蒙を視察し在米邦人は勿論米人の誤解を一掃する爲め事變前後の實情を歸米後各地で講演したいと思つてゐる今次滿洲事變の勃發にて米國人の對日感情は非常に惡化したと云はれてゐるが大西洋沿岸の

☆…米人は 從來餘り日本或は日本人との接觸の機會が少い爲め日本に對する認識に乏しく兎角感情のみに走り、反感や排日的氣風があつたが太平洋沿岸各地は古く排日問題等を起こし日本人に接してゐるので却つて比較的穩やかであつた、米國は支那の宣傳上手である事を充分知らないのでそれに乘ぜられ上海事變の續發した當時は相當惡感情は激化した、ハイスクールの學生等は邦人と一緒には

☆…不愉快 だから滿學しない等と云ひ出したりしたが日系米人の大學出身等が壇上に起つて日本の立場、その事情等を堂々と述べ漸く學生の排日氣風を一掃に努めてゐた、私は明治四十三年に例の排日問題の喧ましい時米國の有識者を說きその非を論へたが當時の有識者は不用意に――日本人は米國へ來なくとも滿洲かシベリヤへ行け――と云つたものであるから今日となつては一語も云ひ得ない譯である、兎も角太平洋岸の米人は多少とも日本を理解して來てゐる、尤も或る新聞では漫畫等で日本を

☆…侵略者 として扱つてゐたが一般米人の意志は今戰爭は決してしたくないのである、大戰の悲慘な實情を知つてゐる彼等は戰爭を極度に怖れてゐる佛國邊りでは大戰當時の毒瓦斯の影響で十數年後の今日これが爲め死亡するものが續出する有樣で米人は歐洲大戰が自國の存亡には關係ないのに從軍しこの悲慘を知つてゐるだけに自國の存亡をかけての戰爭は好まないのが事實である、然し日本を非常に怖れてゐるのは事實である疑心暗鬼と云つたものはあるが一般は決して

☆…戰爭は したくないのである、スチムソンが當時戰爭を慫慂したと云ふのは國民の意をためしたためか、いづれにしても主戰論の眞意は疑問である日本へ歸つて 政府主腦者を見たが何れも平和論者であつて海外で傳へ聞くのには全く相反してゐる、私は凡べてを見聞して正しい認識を米人に與へたいと考へてゐる

なほ同氏は五日午後七時半より基督靑年會にて講演會を開き旅順、營口、奉天、新京、ハルビン、撫順、安東を經て內地へ向ふ筈である【寫眞は小林救世軍少佐】

支那選手がデ盃戰に出場
寄附金の募集に着手

【上海四日發】當地に於ける今シーズンの國際テニス競技は支那側の全勝に歸したので陳銘樞、黃紹雄、陳策、吳鐵城、張發奎等と して關東系政客軍人が邱飛海林寶華等の選手を招待して祝賀宴を開いたがその席上寄附金十萬元を募集次期大會デビスカップアメリカゾーンに邱飛海林寶華派遣を協議直に寄附金の募集に着手した

警備隊員及邦人の被害頗る甚大
滿洲里、海拉爾の被害者八十餘名
滿鐵に入つた情報

西部國境地方における情況はその後正確な情報なく憂慮されてゐたが三日夜滿洲里よりチチハルに歸來した者の談として同地より滿鐵本社に入つた情報によれば左のごとく滿洲里海拉爾共に被害甚大なるものがある

一、滿洲里國境警備隊は二十七日午前十時三十分 護路軍のため四十名銃殺され、在住邦人二十餘名また殺害された
二、滿洲里領事館員は一同監禁されてゐるが現在なほ無事
三、海拉爾においても國境警備隊二十名および內地人三名殺害され西山に埋められた
四、蘇炳文は一日付東北政府樹立を聲明し蘇は東北軍司令に張殿九は副司令に就任した
五、富拉爾基は約二百名の蘇張軍で嚴軍防備してゐる

北滿に跳梁せる李海靑軍擊滅
中山枝隊活躍目覺し

チチハルよりの情報によれば中山枝隊は二日拂曉洮昂線大興の東北約十キロの前後官地附近にある李海靑軍約三千に對し攻擊を行つたところ敵匪は周章狼狽して洪水のため半島の形さなつた地區に逃げ込んだので 騎馬隊と協力し完全にこれを包圍し砲兵は砲列を敷き威力を遺憾なく發揮し二日の日沒までには敵の半數を擊滅し三日朝より再び猛擊に着手殘存の敵に對し飛行隊の應援を得て敵の全滅を期し攻擊を續行中である、これによつて今春來良安、安達、明水、克山等黑龍江省內で猛威を振つてゐた李海靑匪は全滅することとなつた【奉天電話】

接戰を期待される滿鐵對學生競技
九日午前十時開催

滿鐵運動會大連支部競技部對滿洲學生陸上聯盟の第一回對抗陸上競技は愈々來る九日午前十時より大連運動場に於いて擧行するが既報の如く大連滿鐵軍は全精銳をすぐつてこれにあたり學生聯盟軍もまた左記の如く旅順工大、奉天醫大、南滿工專よりピックアップしたチームで滿鐵來福に見る充實したチームで滿鐵軍を擊破せんとして居るので非常な接戰を期待されて居る

▲主將成毛（醫大）▲マネイヂヤー佐藤、重富、村上（工大）村澤西（工專）大隈、江剌屋、江口（醫大）
▲百米 增井、廣瀨、梁（醫大）井木、小粥（工專）重富（工大）
▲砲丸投 高木（工專）須藤、山田（醫大）林（工大）
▲千五百米 成毛、谷口、林、小林（醫大）木村（工大）
▲走高跳 梁（醫大）服田、宮崎、難波（工大）大崎（工專）
▲四百米 增井、佐藤、林、今井（醫大）大瀧、宮崎（工大）
▲圓盤投 山田、須藤、神原（醫大）林（工大）高木（工專）
▲走巾跳 梁、入江、廣瀨、增井
▲高障礙 林、服田（工大）梁、清水（醫大）大崎（工專）
▲前澤（醫大）重富、津山（工大）
▲槍投 野上、前澤、山田（醫大）高木（工專）林（工大）
▲四百米繼走 增井、梁、奧山、今井（醫大）井木、小粥（工專）林（工大）

滿蒙植民協會の荒井氏來連

滿蒙植民協會大阪支部長荒井延一氏は四日朝入港香港丸にて來連したが氏は語る

內地の人は滿蒙を目ざして華々しく進出したい氣持ちは持つてゐるがまだ危險だと云ふ樣な恐怖觀念をもつてゐて尻込みしてゐる樣だ、私は今度滿蒙を詳しく本當に見てその安全である事を知らせたいと考へてゐる、それと同時に食糧問題についてもよく調査し內地人の參考に供したいと思ふが大體豫定は十日位しかないので甚だ遺憾に思つてゐる

負傷戰士を「勞はりませう」
各小學校で映畫の會

負傷戰士をいたはりませう！のスローガンをかゝげて四月初旬起つた支那事變傷病軍人後援會滿洲支部ではその後滿鐵沿線各地に講演會の夕を開催して「負傷戰士をいたはりませう！」の宣傳に努める一方森永製菓のミルクキャラメル及びミルクチョコレート投入函を各所に配置して非常な好成績を收めたが更に第二期宣傳として小學生を通じ各家庭にその趣旨を普及するため左の日程で各小學校で宣傳と教育を兼ねた活動寫眞映寫會を開催することゝなつた

▲五日（午後一時）沙河口小學校▲六日（午前十時）大正小學校（午後一時）日本橋小學校▲七日（午前十時）朝日小學校（午後一時）聖德小學校▲十日（午前十時、午後一時の二回）伏見臺小學校▲十一日（午後一時）松林小學校▲十二日（午後一時）常盤小學校▲十三日（午後一時）下藤小學校▲十四日（午後一時）嶺前小學校▲十五日（午後一時）早苗小學校（午後七時）春日小學校▲二十日（午後一時）大廣場小學校▲その他は未定

滿洲體育聯盟解散と決定
七日代表委員會に附議

事變發生直後、在滿各種、體育團體では滿洲體育團體聯盟を組織し傷病兵並びに奧地派遣の軍隊滿鐵社員の慰問、或は新國家設立に對する體育團體としての要望等その業蹟に可成り見るべきものがあつたが滿洲國の成立と共に新國家の組成は着々と進捗し聯盟成立の直接目的も略達せられたので常任委員會において協議の結果殘餘金を然るべき方面に贈り、一先づ本聯盟を解散することに意見定まり今後目的を變更して新な團體を作るや否やに付いては來る七日午後四時二十分より大連市役所樓上に於て開かれる代表委員會議に於て決定することゝなつた

旅大北八景ラヂオ放送
五日夜七時

本社が先に旅大北道路開通を記念して募集した北道路八景は興味ある企てとして果然人氣沸騰讀者の絕大なる後援の下に審査委員及本社員の二回に亘る實地踏査の結果去る一日夕刊紙上に發表の如き選定を見たが更にこれ等勝地を一般に紹介し旅大市民愛好の景勝となさんがため本社佐賀營業局長は五日午後七時よりラヂオを通じ「旅大北道路八景の選定に就いて」と題し新八景の紹介の講演をなす筈

兎月質店
若狹町一九八
貸出し勉强保管確實

米新聞王手術

【クリーヴランド三日發】米新聞王ウイリアム、ランドルフ、ハースト氏は今日クリニック病院で手術を受けた、病名不明

達磨忌修行

五日は達磨大師の命日に當るを以て市內天神町常安寺では午後七時より達磨忌を修行し宗門最上の法式出班燒香の儀修せらる筈多數御參詣ありたいと

ミハト好評 磐城町通り

新に生れた三鳩菓子店は開店以來其製造品の上品にして美味且格安なる和洋生菓子は一般の嗜好に投じ工場は晝夜兼行の有樣だが特に國菓君が代は安くて味が良いので好評を博して居る

天氣豫報
五日
北の風晴 一時曇

滿潮（午前一時十五分 午後一時十五分）
干潮（午前七時三十五分 午後七時十五分）

各地溫度 四日午前十一時
大連 一四、〇
旅順 一七、〇
營口 一五、〇
奉天 一三、〇
長春 一三、〇

けふの小洋相場（九時）
金百圓は一二五圓四五錢

第九回煖房器具展覽會

日時　十月十五日より十七日まで
毎日午前九時より午後五時まで
場所　大連民政署横空地にて

一、出品希望者は十月十二日までに出品人住所氏名、製作者名煖房器具名及小間數を明記し本社事業部（電話六三四八番）に申込まれたし
一、參加料は一小間（一坪仕切）金三圓五十錢の割合にて申込みと同時に納入されたし
一、場所の割當は十三日午後一時より抽籤しますから本社にお集り下さい

主催　滿洲日報社

菊の秋
四日中央公園にて

國難日本刀（114）

高桑義生作　京極佳夕畫

女の國（九）

「小松さんどうした？　わたくし我慢出來ない」

とホールは繰返した。

「困つたねえ。今夜はあれほど固く約束したのだから、あの人の怒るのも無理はないし……」

鴇母や、女たちが當惑してさゝやきあつた。

「おかみさん、呼んで下さい。主人呼んで下さい」

「はい／＼只今……お玉さんはどうしたんだらう、見に行つたきり歸つて來ないし、あたし見て來るよ」

鴇母はあたふたと立ちあがつた

「あなた方みんなだめ……主人のほか、話わからない。わたくし主人に話す。主人呼んで下さい」

「はい／＼、只今呼びに參りました」

ホールは焦れてゐた。大勢の妓たちも、取りつく島もなかつた。座はすつかり白けてしまつた。そして不安な顔で女たちは、ひそひそ話し合ふ。

ホールはひとり葡萄酒をあほつた。

鴇母はお内證の外から、聲をかけた。ちやうどそれは、小松が詮方つきて、承諾の返事を與へたところだつた。

「おかみさん、おかみさん……」

「あいよ、何だねえ？」

「あのホールさんが大焦れに焦れ込んで、どうでも主人を呼んで來い……大變なけんまくなんですよ　どうしませう？」

「さうかい。いゝからちよつとお入りな」

お辰は小松の返事を取つてあるので、安心してゐた。

鴇母が入ると、小松は差うつ向いたきり、主人の久作は腕組をして、憮然としてゐる。重くるしい雰圍氣に、かの女は押だまつた。

「もう心配しなくてもいゝんだよ　やつと、いゝ返事をしてくれたのさ」

とお辰はいつた。

「まあさうでしたか」

鴇母もホツとした。

「顔さへ見せりやあ、すぐ温和しくなるんだから、打つ棄つて置けばいゝんだよ。異人は子供のやうに現金なんだから……」

「ほんたうに、困りましたよ。では、すぐ出てくれるんですね」

「あゝ、顔でも直して……その間つなぎに、あたしが行つて、小松さんの返事を聞かして、喜ばしてやらうよ」

「どうぞ……」

と鴇母はそれを機會に、主人に會釋をして、出て行つた。

お辰は姿見にむかつて、衣紋をつくろつた。

「お辰」

と久作は呼んだ。

「あいよ」

「なるたけゆつくり座をつないでいてくれ。すぐといつても、さうおいそれと出るわけにも行かないだらうからな」

小松の心を思ひやるのだつた。

「あゝ、わかつたよ」

とお辰は立つて、小松に、

「お前も顔でも直して、氣を變へて、なるたけ早く出てやつておくれ。あんまり世話をやかせずにさあ」

「はい」

「小松には、おれがいふ」

お辰が出て行く。入れ違ひに、男衆が、

「旦那はこちらですかい？」

「おゝ、何か用か？」

「ホールさんのお宅からお使が見えました。お目にかゝりてえといふんですが、お通し申してようがすか？」

「ウム、何か知らねえが、お上げ申して、お待たせ申せ」

ホールは、お辰の話を聞いて、打つて變つた表情だつた。そこへ女が使の來たことを通じた。

「急用！　だめ／＼」

ホールは手を振つた。

女は去つたが、すぐまた入つて來た。是非といふ、大切な御用だといふ。

「困る、困る……」

ホールは仕方なしに、女に伴はれて、立つて行つた。

岡田時彦　近く來滿　長氏への打電

松竹蒲田脱退後鈴木傳明、高田稔と共に不二映畫會社を組織して活動を續けてゐた岡田時彦は、兼ねてより滿洲駐屯の皇軍將士慰問の希望を持つてゐたが最近いよ／＼具體化し、四日映樂館主長次郎吉氏へ電報を以て本月十日までには渡滿する豫定で滿洲に於ける日程を打合せて來たとのことで、長氏の語る處によれば、岡田時彦は最近の作品たる「モダン聖書」を攜へて不二映畫撮影部長元橋龜三郎氏と共に渡滿し、大連より奉天、長春を始めハルビン、チチハル方面まで皇軍を慰問する豫定であると、尚長氏側よりは映樂館に於て舞臺挨拶或は寸劇の實演方を交渉中の由（寫眞は岡田時彦）

噂話

「戀愛案内」で初日早々から近來にない好成績をあげた中央映畫館▲スッカリ氣をよくして吉岡松竹事務員曰く「今月は一萬圓あげて見せます、來週の栗島の『情人』は燒き増しプリントですゾ」と鼻息の荒いこと▲この松竹映畫のトーキー攻勢さに對抗して帝國館も來週の「地獄の眼鏡」に次いで▲いよ／＼千惠藏ファン待望の「旅は青空」を上映することになるらしい▲映樂館は十五日頃の初日で入江たか子獨立第一回作品「滿蒙建國の黎明」を封切すべく、これまたプリントの燒増を交渉してゐる▲浪曲なら外れっこなしといふ大連劇場、宮川左近に次いで女雲月を招聘し浪曲の一手で封切る作戰

◇◇地獄の眼鏡◇◇　日活のPCL式録音オールトーキー婦人倶樂部連載の津村京村の原作——藥種問屋の主人が死んだふりをして棺桶の中から相續人を決めるといふナンセンスもので畑本秋一脚色、伊奈精一監督、渡邊五郎撮影、横山運平、一木禮二、相良愛子らの主演映畫【次週帝國館上映】

滿鐵上半鐵道收入 豫想以上良好

特に旅客收入は增加

滿鐵々道部昭和七年度上半期（自四月至九月）の收入概算は四千二萬三千九百十七圓で前年上半期に比し四百五十七萬四千六百五十五圓の增收となつた、而して今この鐵道收入の經過を見るに貨物は六月末までは齊克貨物の南下等で急激に增加したが、それ以後はさして振はず、唯旅客收入のみが終始依然たる旺盛を示した、左に七月一日、八月一日、九月一日、三十日の總收入概算および收入の主要部分を占める貨物、旅客收入の數字を示せば（單位圓、噸、△印減）

▲七月一日現在（累計　前年比）
客車收入 [illegible]
貨物噸數 [illegible]
貨物收入 [illegible]
總收入 [illegible]

▲八月一日現在
客車收入 [illegible]
貨物噸數 [illegible]
貨物收入 [illegible]
總收入 [illegible]

▲九月一日現在
客車收入 [illegible]
貨物噸數 [illegible]
貨物收入 [illegible]
總收入 [illegible]

▲九月三十日現在
客車收入 [illegible]
貨物噸數 [illegible]
貨物收入 [illegible]
總收入 [illegible]

となる、即ち昨年に比して最も好成績をあげたものは旅客收入で今年が好轉したといふよりも昨年が極度に不振であつたといふ事實から、この增收を來したものであると見るのが至當であり、即ち滿鐵線は匪賊の橫行によつて旅客輸送に大激減を來した八月においてさへ約二十萬圓の增收を示し、九月も昨年の事變による旅客收入減のため匪賊難の旅客減がなほ平常に復さない際に係はらず約三十五萬圓の增收となつた、貨物收入では特定運賃の廢止が最も的確に數字の上に現はれ九月三十日現在輸送噸數において二十四萬噸餘を減じたに拘はらず收入の點では二百七十餘萬圓の增收となつてゐる、而してこれを月別に見るに七月一日は輸送噸數においても一萬二千餘噸の增加となつてゐるその後撫順炭輸送の減少、水害 [illegible] による北滿貨物の輸送杜絶が突發して形勢逆轉、この狀勢は八月も持續し九月一日現在輸送噸數二十六萬餘噸減となつた、而して九月に入つて以後この形勢は一變し、一般社外貨物については東支南部線の復舊によるハルビン一帶の特產南下および新豆出廻りの旺盛に幸されて急激な增加を示したが、一方撫順炭の輸送は上海におけるボイコットの徹底等によつて更に激減し未曾有の不況に遭遇したゝめ九月中の貨物輸送全體から見ては前年九月に比し二萬八千餘噸の增加となつたのみであつた

滿鐵社債二千萬 近く賣出に決定

時期は東京支社に一任

年內に起債するか否か問題となつてゐた滿鐵社債二千萬圓は結局時期選定は東京支社に一任して近く募集することに決した、しかして今年八月の社債は返還期限や發行價格が著るしく不利であつたがその後同社債は賣出匆々パー近くまで昂騰し滿鐵社債に對する一般の人氣の衰へざるを示した上、その後の金融界は一流社債に集中する傾向があるので今度の社債は返還期限七年賣出價格百圓、利子七分見當となるべく又滿鐵もこれ以下では應ぜぬものと見られてゐる

滿洲轉向尙考慮 暫く靜觀した上

內外棉重役岡田氏語る

滿洲國の對支關稅改訂により打擊を受けた在華紡績業者はこれが對策につき大々代表をして協議の上滿洲國要路と折衝せしめたが、內外棉取締役岡田源太郎氏上海紡績重役權野健三氏は四日出帆はるぴん丸で所用を果し內地に向つた岡田取締役は語る

來連の際お話した通り實地についてよく事情を調査すると同時に滿洲國當局との間に了解を得ておく必要があつたので、上海から來滿中であつた船津氏等と行動を共にして新京迄行つて來た同業者中には州外進出說を口にする者もある樣だが本當のところ今少しよく同國の事情を靜觀すべきだ、例へば自分の會社などにして見ると金州の工場などうしようかが先決問題だ、金福沿線にも好い棉花の栽培土地があるさうだれ、一度見たいと思つたが隙が無つた、要するに今少し落ついてからおもむろにプランを樹てる、歸阪した上同業者に報告する氣だ、いづれにしても滿洲國財務實業外交關係方面の了解を得たのが何よりのよろこびだ

聯合會出席者

安東商工會議所では四日午後三時より常議員會を開催、來る八、九兩日公會堂で擧行される第十六回全滿商議聯合會の各地提出議案及び其の他に關し協議する事となつたが、各地よりの出席代表者は次の通りである【安東發】

大連　高田會頭、外一名
奉天　庵谷會頭、野添書記長
撫順　田中會長、森山書記長
鐵嶺　記藤會頭、松崎書記長
長春　永原會頭、大垣書記長
營口　今井會頭、草香書記長
鞍山　加藤會長、藤沼書記長
哈爾濱　加藤會頭、山田書記長
安東　荒川會頭以下

爲替相場浮動

目先見當不明

【東京四日發】正金發表市中レート對米廿三弗八分の一對英一志四片十六分の一で年內は同率來年は毎月一ポイント落ち一般市場は未だ混沌として見當たゝず

世界經濟會議

倫敦に開催

【ジュネーヴ三日發】聯盟理事會委員會は全世界の協力に依る世界經濟復興を目標とし且つ賠償戰債に關するローザンヌ協定の實施に關する諸問題決定の爲め世界經濟會議をロンドンに開催するに決定した併して其の開會期は十月廿一日ジュネーヴに開かる、專門家會議の結果に依るも此の本會議は恐らく來年二月頃となる見込である倘招會國は全世界に向つて發される

營口經由撫順炭 深甚な注意惹く

三日出帆の十六共同丸

支那政府の對滿新關稅政策發表後二十四日發行のカーゴー・サーチフィケート所持の分はいづれも無事通關したが、その後の分にはいづれも轉口稅又は輸入稅を課せられるので關係者はいづれも强硬な見送つてゐる、しかるに撫順炭は商樣の關係上、長く形勢を觀望してゐるわけに行かぬので三日朝營口より第十六共同丸（一千噸）を靑島向け出帆せしめた、同船は五日靑島に入港の豫定だから、その上で支那側が果して轉口稅を課するか輸入稅を課するか判然するわけで、滿鐵はもとより特產關係者も非常な注意をもつて注視してゐる、この試驗輸送の結果に對し、滿鐵は試驗の結果たとひ營口經由には全部轉口稅を課することが判然するも結氷まで二ケ月しかないので、いづれは大連經由に廻すほかなく輸入稅問題は回避し得ぬ問題となつて殘つてゐる

豆粕量斤不足問題 現狀推移は事重大

當業者對策に腐心

混保豆粕の量目不足に關しては曩に內地側當業者より不測の損害を蒙りたる事實を指摘し、將來の取引に影響甚からざるものありとして至急豆粕混保制度の改善方を要求し來り次いで先般當地に開催された滿洲特產協會第八回總會に於ても東京肥料協會より右の提案があり、これがため密接なる關係を有する團體を委員に擧げて所期の目的達成に着手することになつた而して現在大連埠頭に於ける混保粕は尙四十五萬枚を有するが、內地側當業者としては先般來の量目不足の關係から賈易に買氣の擡頭を期待し得ぬと共に當地輸出業者としては內地側の實勢に顧みて强いて取引することは、採算上出來るだけ避けるといふ傾向を免れざる事實がある、かくて內地との豆粕の取引は全く杜絕の狀態にあるが若し現狀の儘に放置するとせんか大連油坊にとり、殊に混保粕としては唯一の大量顧客たる內地側との取引に由々しき結果を招來する怖れがあり、大連の當業者としてはこれ可及的速かにこれが對策を講ずべき必要に迫られて來た、よつて滿洲重要物產組合では去る三十日開催の定時總會に於て、これを議題に供し種々協議を重ねる所があつたが、要するに內地農村の窮乏は今更論するまでもない所で、かくの如き際に豆粕の信用失墜するが如きことあらば唯さへ滿安の硫安、魚肥等に轉向せんとするの傾向ある際であるから層、一層の豆粕需要の減退をみるべきは明かなるを以て、豆粕信用保持の觀點から滿鐵當局と折衝し至急善後策を講ずることになつた

物產組合

善後策協議

別項混保粕の量目不足による內地側の不信用は單に內地側の聲のみとして聞き流すべきでなく當地當業者としても商取引の信用保持の上から充分に考慮すべき必要があり、殊に安東、營口の豆粕が圓滑に取引され大連粕のみに懸念が掛はるゝが如きこともあらば自然大連油坊の衰退を來すこととなり由々しき大事を惹起するは必然であるので原料大豆を精選するは勿論、現在の混保粕についても適當に何等かの方法を講ずることが必要とされるに至つた、かくて滿洲重要物產組合去る三十日の定時總會の結果に基き三日午後四時より組合事務所に緊急委員會を開き豆粕混保改善案につき協議を重ねた、其の結果更に三井、三菱、日清、瓜谷を實行委員に擧げ今後の對策を研究するに決定、四日午前十一時半滿鐵々道部當局を訪問交涉を重ねる所あつた、而して當面の措置としては現在埠頭に在る四十五萬枚の混保粕に對して果して幾何の斤量不足あるやにつき再看杆を要望する筈である

對米爲替慘落 報告影響

【ニューヨーク三日發】リットン報告書は休日明けニューヨーク市場に敏感に反響し米日爲替は一擧に一弗五仙方慘落し最終値は二十三弗となつた

商議役員會

五日午後開催

來る七、八の兩日安東に於て開催される滿洲商議聯合會提出各議案は昨報の如くその朝大連商議に到着したので大連商議ではこれら各議案に對する大連商議の贊否を決定しまた同會議に出席すべき大連商議の代表者選任、其他高田新會頭の就任挨拶、田村、藤田兩副會頭の辭任に關する前後處置、後任互選等各種の重要案件山積しゐるため五日午後役員會開催の豫定である

高田會頭出安

大連商議會頭高田友吉氏は安東に開催される商議聯合會出席のため七日午前九時發列車にて安東に赴き歸路奉天に立寄り武藤全權大使

滿洲仕向內地品 品薄で弗々商談

金物、琺瑯器皮革等々

最近の滿洲向け內地輸入品の荷動き振りに關する內地府縣內都市の大連駐在員並に有力卸商の談片を綜合すれば、北滿水害による作柄觀測困難、各地に橫行する匪害、銀價高騰氣味などのため一般に極力仕入れを手控へ、仲秋節に當つてもさんと手當が行はれなかつたそこで購買力が何ら增進されたわけではないが、先般來、極度の品ガスレは已むを得ず荷を引かしむるやうになり、折柄、日本爲替の一年前に比べて半價に等しい暴落と銀高は日本品の輸入販賣上、採算實行きを至極好轉せしめ、最近大阪品、東京品、中京品の區別なく手合せ續々と行はれ、就中目立つて捌けるのは諸雜貨類を第一とし、金物、琺瑯器物、皮革製品、ボタン類なども荷動き活潑である

人氣氣迷ひ 銀市相場亂高下

一時行詰りの銀高は早くも訂正反落相場となつた、即ち今朝日米第一二回とも二十三弗丁度と八分五暴落が日米第三回が八分の一反騰を入れるや、人氣一變して投物殺到し標米日一弗十八仙の寄落を入れ、標金もまた軟化したので當市强人氣に拍車をかけて一圓七十五錢高の百二圓七十錢まで吹上げた、然しマバラは先般來の下げ相場で傷んで突張れず、一方爲替といひ當市といひ反動來を懸念するもの多く早くも高値は利喰急さに崩れ、殊に相場は亂高上となつて驚くべき崩壞ぶりを演じ九十八圓九十錢と殆ど安値止めとした、目先は明日、米日待過ぎ反騰を見越し一般に弱人氣行はる

銀と特產について（四）

錢鈔信託專務　古澤丈作

滿洲の幣制紊亂と幣制整理

支那の幣制紊亂は昔から有名で今更異とするに足らぬが、滿洲に於ても張作霖及其流れを汲む軍閥が東三省各都市に蟠居して、自己の勢ひを張る爲め大兵を養ふ軍費に窮し、或は自己の私腹を肥やし、又は虛榮的施設に無益なる投資支出をなして、為に財政を極窮せしめ最近に於ては張作霖が野望を中央に伸べ北支那を其脚下に置かんとして、前後三回の奉直戰を試み其都度不換紙幣を濫發して軍費を賄つて來た、遂に奉天票相場を亂すものとして、錢舖の手代番頭九名を死刑に處する泉の暴擧を敢てし相場壟斷を防止し特產の囤積した場合も尠くなくある、其子學良は小孩のくせに、中々野心强く父に倣つて盛んに武備を收め、かの有名なる北大營、兵工廠等を起し、省財政を滅茶々々にしては其都度新規不換紙幣を出し、罪なき千萬の農民の勤勞所得を一片の不換紙幣で强制的に召し上げ、其血と肉とを喰つて榮耀榮華を恣にする事に浮頭した、一族郎黨で固めた奉天省既に然り、黑龍江省、吉林省又然らざらんやで、事變前の滿洲は實に不換紙幣の洪水を漲る處に出現したと云つてもよい、學良の失腳遁出誠に故ありで、彼と其一黨の今日の窮狀も一片の同情に値せぬ三千萬民衆又無論同感であらう、試みに滿洲の天下に縱橫する不良通貨を列擧すれば

一、東三省官銀號發行の滙兌券、所謂有名な奉天票で一時市價は七十分の一に暴落した
二、東三省官銀號の兌換券即大洋票
之は奉天票の名聲地に墜ち最早これ以上流通の餘地なきに至り新たに民力搾取の爲め出された紙幣
三、邊業銀行發行兌換券
之も東三省官銀號行詰りから新たに此名の銀行を作り其名によりて新紙幣を出したものである
四、遼寧四行號聯合發行の兌換券
五、公濟平市錢號發行銅元票
六、東三省官銀號發行ハルビン大洋
七、吉林永衡官銀號發行同上
八、黑龍江省官銀號發行同上
以上三個は何れもハルビンと云ふ大都市が紙幣發行消化に便なる爲め各省の官銀號が競つて大洋票を散布したもの
九、邊業銀行發行ハルビン大洋票前項三つと同樣の事情の下に
十、吉林永衡官銀號發行小洋票
十一、同上大洋票
十二、同上官帖
十三、黑龍江省官銀號發行官帖
十四、黑龍江省官銀號發行四厘債券
十五、同上大洋票
十六、官銀號發行の天津券
十七、邊業銀行發行の天津券
十八、銅元
十九、鎭平銀（安東地方）
二十、過爐銀（營口地方）
外に百餘種の私帖と稱する公私團體發行の紙幣樣のものもある熱河省は又別に通貨を有す
外國通貨と稱すべきものに
鈔票（我正金銀行發行）
金圓券（鮮銀發行）
日本銀行券
ルーブル紙幣（チェルヴォーネッツ）
關東州流通の小銀貨
是等各種の不良通貨の發行高を知るは容易でないが、嘗て正金銀行調査の數字を見るに次の通りである、滿洲通貨と其の新國幣換算高（外國貨幣を除く）
東三省官銀號大洋票二五、八七六、四三二元
邊業銀行大洋票七、九三五、〇〇〇元
遼寧四行號聯號後行兌換券六、三〇〇、〇〇〇元
吉林省官銀號發行吉林大洋票七四〇〇、〇〇〇元
黑龍江省官銀號發行大洋票一〇〇〇〇、〇〇〇元
東三省特別區ハルビン大洋票四三、七九三、四八九元
東三省官銀號奉天票二〇、七一三、二五七元
一、〇三五、六六二、八六九元時價五十元を以て新國幣一元とす
吉林省官銀號發行吉林官帖一二五〇〇、〇〇〇元
五、八一〇、〇〇〇、〇〇〇吊時價五百吊を以て新國幣一元
黑龍江官銀號發行官帖二〇、〇〇〇、〇〇〇元
三百、四百億吊時價一六五〇吊を以て新國幣一元とす
總計一億五千四百五十一萬八千百六十七元
其外決濟用として鎭平銀及過爐銀がある

本年三月滿洲新國家建設せらるゝや其施設の最も重點となりたるはいふ迄もなく財政整備、幣制統一確立であつて關係當局の公正無私眞に三千萬民衆の福祉を目標として不眠不休の努力が續けられ、遂に新幣制を樹立し、滿洲中央銀行をして紙幣發行をなさしむることゝなつた、幣制確立前金貨本位にすべきや銀本位にすべきや種々意見が發表され、論議が行はれたが、實際的智識の持主及實際的政治家は無論從來の銀本位を繼承しこれを改善する事の比較的容易にして

滿蒙

の開發にも一層便利であるに着目すべきは明瞭の事であつて、結局銀本位が採用され滿洲中央銀行をして銀圓（一圓を純銀三百六十八グレーン九七九一と定め正金銀圓の三七四、四グレーンよりも百分の一、四少い貨幣）を基礎とし金銀を以て發行準備發行高の三割と定め殘りは有價證券等の保證準備に據る事と定められた、中央銀行は資本金三千萬圓其半額拂込みとなし政府は株數三十萬の內五萬株を引受け場合により民間の所有する事を得る事とし、創業五ケ年間政府持株以外の株式に對する配當資金年六分に達せざる時は、政府之を補償するといふ好條件の下に去る七月一日開業された、一方に於て舊來流通し居る滿洲通貨を引換回收する義務を負ふた、而して其引換率も公定され二ケ年間全部引換へ以て通貨の統一を期せんとするものである、引換の公定割合は
各種大洋票一圓は、新國幣一圓
東三省官銀號滙兌券即有名な奉天票五十元を、新國幣一圓
公濟平市錢號發銅元票六十元を新國幣一圓
ハルビン大洋各種一圓廿五錢を新國幣一圓
吉林省官帖五百吊を、新國幣一圓
吉林省官銀號小洋票五十圓を、新國幣一圓
吉林省大洋一圓二十錢を、新國幣一圓
黑龍江省官帖千六百八十吊を、新國幣一圓
黑龍江省大洋一圓四十錢を、新國幣一圓
但し奉天省流通の十進銅元は五ケ年有効とされた

市況（四日）

特產

大豆昂騰 銀安と買氣で

今朝の定期は大豆は銀價の崩落と買氣旺盛で昂騰を辿り豆粕は不申、豆油は大豆高に反撥し高粱は邦商の買進みに

◇定期前場（銀建）

黄塵

市場電報（四日）

錢鈔　當市亂高下

株式　當市保合

商品　綿糸保合

（明治卅八年十月二十五日第三種郵便物認可）

發行人 本… 編輯人 橋本… 印刷人 本村… 發行所 大連市東公園町第一番地 株式會社滿洲日報社
定價 一ヶ月 金一圓二十錢 一部賣 金五錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別一行 金二圓六十錢 場所指定 二割以上加算

認識を是正する迄は永久に抗爭を辭せず
帝國政府の對聯盟態度

【東京四日發】報告書公表に伴ひ外務、軍部は夫々事務分擔、三日より我意見書作成に着手したが、右報告書内容は文書としては稀に見る名文だが措辭語法**全く中立的態度を失ひ最初から偏見と惡意を藏して居る事明白**である、依つて縱横に完膚無き迄にこれを痛擊する一切の準備を整へる、從つて聯盟が支那、滿洲の現狀に對する**正當な認識を得る迄は今後幾年費すも抗爭を辭せず**曾て聯盟がその解決を附託されて滿足な解決を與へた事例皆無なるに見るも聯盟における滿洲問題は**永久審議の議題化する可能性多大なるに鑑み**我國としては今後持久方針で進むべしと爲して居る

わが軍部の根本方針

【東京三日發】報告書に對する帝國の意見書起草の爲陸軍では鈴木貞一、原守兩中佐（軍務局）武藤章、大城戸三治兩中佐（參謀本部）の委員を擧げ外務省と協調せしむる事になつたが陸軍の根本觀念は左の如くである

一、千九百二十七年印度自治制問題に關しサイモン英外相は現地にて調査し報告書を出した處全然一蹴されし事實から今回の報告書に拘泥すべきでない

一、極端に或は故意に日本を不利に陷れて居る點を特に注意せねばならぬ、**報告は帝國政府の滿洲國承認前になされたもので今や當時と情勢を異にして居る**從つて帝國の承認に依り國際法上正當な獨立國となつて後の滿洲國の存在を加へないこの報告書は完全なものと認め得る事能はず故に聯盟としては帝國の承認後の滿洲國を再調査すべきものである

聯盟一部に正論擡頭
報告書の結論を非難して

【ジュネーヴ三日發】リツトン報告書に對する聯盟方面の第一印象は同報告書が全然日本に不利で支那のかたを持つたものだといふ事で、この見解は今日でも尚廣く抱かれてゐるが、然し各關係とも、まる一日の餘裕を以て報告書を些細に檢討するを得た結果、報告書は必ずしも日本に不利と解しないといふ意見が出て來た、例へば**ポーランド代表部の如きは報告書の結論に寄る非難の態度**をとるに至つた、即ちポ國代表ホチロン氏の意見としては調査團の蒐集した各種の證據は寧ろ強く日本の主張の正しい事を示してゐるにも拘らず、結論は日本に不利なものとなるに至つてゐる、第一報告書それ自身**支那には秩序を恢復し正常なる狀態を築き上げる能力なき事明瞭**にしてなり調査團も滿洲の原狀復歸不可能な事を容認してゐるではないか、日本の特殊的權益を認むる時は**日本の特殊行動も亦正當化せられるのだと正論を表明**してゐる

平和を建設すべき材料發見希望
リツトン卿の意見

【ロンドン三日發】日支紛爭に國際的巨彈を投じた報告書の主人公リツトン卿は九ケ月ぶりで本日ロンドンに歸着、サイモン外相等の出迎へを受けた、報告書につき記者に語る

苟くも報告書を通讀する者は紛爭の當事國を責めずして**平和の願望で行動したのを認めるだらう、**調査團以外の世界、即ち各國政治家聯盟、新聞も報告書で與へられた先導に追隨せん事を渴望する、報告書に對する日本の立場は既に滿洲國獨立政府が樹立された以上、報告書提案を受理する事は不可能だといふにあるが、余はこの報道を耳にしても意外に感じない、何となれば日本側の立場は既に調査團が東京に居つた時はつきりいつてゐた、**日本以外の各國が日本の提案を承諾するか否かは今後の問題だ、**余はこの際單に報告書中から**日本と支那が平和を建設すべき材料を發見せん事を希望**する（寫眞はリ卿）

報告書は單なる旅行記に過ぎぬ
陸相、閣議にて喝破

【東京四日發】四日の定例閣議は午前十時開會、高橋藏相缺席の外全閣僚出席、先づ荒木陸相より滿洲里方面の情況は連絡不充分のため眞相判明しない、然し在留邦人救出のため對策を講じてゐると報告し、次いでリツトン報告書に關し全閣僚認識不足を指摘し之を非難すれば荒木陸相は「報告書は單なる旅行記に過ぎない」と痛罵し、内田外相は「各國の關係についでは目下外務省において纏めてゐるから近く發表出來る」と述べ政府としては反駁意見發表する前、充分案を練る事とし次回閣議で更に意見交換する事とし正午散會した

三相重要協議

【東京四日發】外相及び陸相は本日閣議散會後特に首相官邸に居殘り首相も加はり三相鼎座リツトン報告書につき重要協議を遂げた

報告書改訂必要
獨政界の見解

【ベルリン三日發】二日正午ジュネーヴで公表された報告書の完全な正文はまだベルリン官邊に到着せず從つて政府當局は正文をみるまでは何等の批評も下されぬと沈默を守つてゐるがドイツの一般政界方面では報告書の起草及滿洲の事態は最近更に新な展開をしてゐるから報告書の改訂を必要とするとの見解を有つてゐる

米國務長官四日聲明

【ワシントン三日發】米國務長官スチムソン氏は週末旅行より歸るや報告書を閣議直にフーヴァ大統領と會見し、約一時間重要協議を遂げたがスチムソン氏は本日中報告書に關し聲明を發す筈

我・不・關・焉
報告書は他山の石たるのみ
鄭國務總理感想を語る

政友會委員會
報告書を協議

【東京三日發】政友會は午後二時滿蒙對策委員會を開きリツトン報告書を議題に協議の結果…

根據なき獨斷なり
武藤全權大使談

武藤全權大使は聯盟調査報告に對し左の如く感想談をなした

調査員一行

國際情行上如何なる行動をとるべきや

謬まれる報告は突放す迄だ
貴族院方面の意見

特別陸戰隊

米國事情を御聽講

世界の大東京輝く新裝の日

のまゝに世界第二位として躍進した我等の大東京は昭和七年十月一日……觀喜たゞよう祝賀の催しは各區各町思ひ〳〵盛大に行はれたが……上奏文を捧呈した、畏くも天皇陛下におかせられては大東京の永田市長に賜謁の御沙汰に市長は光榮に感激しつゝ宮中御學問所の榮譽に感泣御禮を言上して御前を退下した。參内する永田市長の左から溝口副議長、前田秘書課長

滿洲國承認答禮使
謝外交總長一行十八名
愈よ來る十二日出發訪日

各國言論界の論評

滿洲問題審議を一兩年延期せよ
イーヴニング・ニュース評論

親支的偏見報告
何の役にも立たない
デーリーメール紙評

モーニングポストの論評

伊國は沈默

紐育諸紙論評

北平各紙論調

佛諸新聞論調
餘りに空想

農村對策委員

西藏の珍風景

未開の天地にも近年一夫一婦の風
最上の敬禮として長い舌をペロリ

西藏では英國の援助で軍隊を動員し雲南と青海に向つて進撃を開始したとのニユースが報ぜられた唐時代の大西藏建設を目的とするものであるが實現の可能性が多分にあると見られてゐる、いま西藏の珍風景を一つ茲に紹介しやう

チベットと聞けば直に例の一妻多夫の特性を持つた人種であること想はせるほどに有名だが、近年外來の風潮がこの未開の天地にも訪れてきて、一夫一婦の風がだんだんと起つてきた、數年前この一夫一妻の示威運動が起り「全世界の男は悉く女を占領す、チベット獵りなんぞ然らざる」といつたやうな大旗を先頭にチベットの男が群をなしてラマ僧の政廳に押しかけ一夫一妻制の實施要求を提出して尖端を行くチベット・モボのために氣焔をあげた、爾來「一夫一妻制擁護!」とか「打倒一妻多夫!」なんてスローガンを掲げ女性横暴のドラ聲をはりあげてゐる

……×……

もつとも金持になると支那式の蓄妾が行はれてゐるが、極稀のことでラマ坊主にならない男兄弟は全部一人の妻君を共用し妻の統制によつて多くの夫が一生懸命に働くと云ふ大家族主義が行はれてゐるわけだが、その方法は先づ第一婚から始まるのだ。

男が二十歳になると必ず結婚するとしてゐる、相手の女といふのは男の兩親が選擇し本人に異存がないといふとまづ陰陽師のところへ行つて相性だとか日取だとかを決める、そこで男の叔伯父が威儀を正して娘の家に出かけて結婚申込みといふ段取りになる、その時女の家に酒を持つてゆくのである、それが申込む意味になつてゐるので酒を持つて男連が女の家を訪れれば必ず縁談と相場がきまつてゐる。

それから一週間のちである、男の方から女の家へ金を贈る、日本でいへば結納なんだが、チベットでは娘を育て丶くれた兩親へ感謝の意を表するのださうだ、これで許婚の儀が終るのだ

……×……

サテ陰陽師が見た黄道吉日が來るといよく結婚となる、娘の家ではその日の來るまでは連日祝宴を張り家の神である龍王神を祭つて盛儀報告をやり、娘は兩親から妻としての心得を一通り云ひ聽かせられ綺をかくして小馬に乗り行列美々しく親戚友人付添ひでお聟さんの家へと乗りつけるのだ、そして待ち設けてゐる聟の家の者は入口の兩側に並んで女に付添つてきた者一同に麥で造つた餅を一ツづゝ與へるまるで葬式のやうな趣向だが。お聟さんは家の中の一段と高い所に座を占めて待つてゐると新婦はその左に座り型の如く祝詞を浴びて來賓一同酒を呑んで騒ぐこれで式は終るのだ。

第一回の結婚式は以上で終り、第二回目からの結婚、即ち第一回の新郎の弟があれば、その年齢の順に凡そ一年一回の割で式を擧げ長男の倅に世乳を呑ませながら三男、四男の若い男と結婚するさ云つたやうなものだ。この二回以後の式は略する者もあり、内輪だけで濟ませるもの、第一回と同じやうにするもの等決つてゐない。

ところが困ることには共用の妻君なので肥料の公平な分配が行はれない、どうかすると兄貴が弟に妻を獨占されたりして人間自然の本能を現はす廉があるところから一年間を順ぐりに兄弟で專有することに取決める者も出て來る。こんなことになると女性の權威が斷然男性を壓し、そんな取決めには一から十まで女房の干渉があり、騒擾が起るといふ騒ぎだ。

……×……

斯ういふ庶民階級と全く異つた階級がラマ僧の世界である。チベットの政教を二つながら握つて庶民に君臨するラマ坊主なんだから少し美しい女と見ると片つ端から手をつける手をつけられた女の方では、まるで神樣にでも接すると云つた畏れを抱いてゐるので、何とも申上げずに往生させられてしまふ。これがため美しいチベット女は、ワザワザその顔に傷をつけるとさへいはれてゐる。

だからラマ僧の頭梁である達頼ラマは、權勢並ぶものなく、滅多に庶民などの目に觸れず、宮殿の奥深い所に引籠つてゐて、達頼に謁見したなんていふと無上の光榮としてゐる。

この謁見の時の敬禮が大變だ。帽子をとり合掌して達頼に謁するのだが、同時にベロリ長い舌を出すことが最上の敬禮なんだ。そして手を下げ足を曲げて拜すること三度、達頼はそれに答へる爲に謁する者の頭にチョット觸る、手で撫でてやれば死んでも忘れないほどに有難がつて感激の涙を流す始末だ。

……×……

ラマ僧生活のうちで一番修練の難しいのは「寒行」である。猛烈な寒中に全く素つ裸となつて經文を讀む、これは毎日決まつた時間だけこの修行をやらされ、臍下丹田に苦練の一念を力にこめるのである。

甚だしいのになると雪をカキ別け一晩中坐りこむのがある、おまけに濡れた布を素肌につけ、水氣が乾けばまた濡れたのと取り替へ對寒苦行の修練を積んでゆく、彼等が寒い時に薄着で居られるのもかうした修養のたまものである。

寫眞の說明

(左)敬禮　最上の敬禮とされてゐるペロリ出した長い舌(右)婦人　ゴチヤ〳〵した長い上衣、大きい二つの耳かざり、いとも大事さうにかけたのは彼等が尊崇するラマの守護紙を入れてあるマスコット(下)騎兵　物々しく身を固めた甲冑長い手槍馬にまで厳重な武裝がほどこされてゐる騎兵

暗い氣持の建物

◆…グレート大連をもつて自ら任ずるこの大連市に、誰が見ても暗い氣持ちにさらはれる建物が二つある、伏見臺紅葉町停留場近くの聖愛病院分院と、八幡町の角にある婦人病院がそれだ、ここに言ふ暗い氣持ちは病院の存在に對してではなく、病院の建築物その物より受ける感じである

◆…聖愛病院分院は俗に氣狂ひ病院と呼ばれてゐる、二十年を經たと思はれる平家の赤煉瓦造りで正面玄關にかけた聖愛病院分院の看板は古ぼけて字もはつきりと讀めない陰鬱の總元締のやうな建物だ、此をじつと見詰めてゐたなれば普通人でも氣が變になるだらうと思はれる

◆…八幡町婦人病院も聖愛病院分院と似たり寄つたりの建物だ、それに高く廻らした塀には處々硝子が植えてある、他のところなれば盜人除けと考へるが、婦人病院なるが故に非常に不愉快だ、太陽がよく照りわたつてゐる日などは、あの狹くるしい正門の石段に必ず三四人の生きた商品を見る、しかもヒゞの入つた商品である、蒼ざめた面持ちで街頭をボンヤリ眺めてゐる彼女等の姿は、背景の病院と調和して陰慘そのものだ

◆…この二つの建物に何とか明る味を持たすことは出來ないものであらうか

滿洲婦人歌壇

神場磨須子

○
髪をすく朝の室の明るきに赤きさんぼのまぎれ來にけり
○
朝たけて未だ露けき庭すみにこほろぎ一つ細々と鳴くも
○
夜のしじまに浮ぶ冷たき人の顔心靜かに眼をさぢにけり
○
波の音近く聞ゆる草原の宵待草に心ひかるゝ
○
下心くゆることあり夕庭に蟻のしぐさたちつと見てゐる

家庭顧問

拳大のシコリが出來た乳癌ではありませんか

【問】私は二十三歳で二人の兒の母でございます、一ケ月ほど前から右の乳房を強く押しますと痛みを覺えましたが普段は別に何ともありませんでしたので放つて置きました。ところが四日前の夜半から急に激しく痛み出しまして翌日には一寸とはつてもひどく痛み、朝檢温しましたら三十七度四分、夕方三十八度一分に上りました。それでイヒチオールを塗布し硼酸水の冷濕布を致して置きましたら昨日は熱も平温になり痛みも薄らぎました。外觀は別に變りありませんがさはつて見ますとこぶし大のしこりがございます、若しや乳癌ではございますまいか、すつと授乳を續けて居りますが如何でございませうか、御伺ひいたします(秋山かほる)

發熱が續いたら乳腺炎それなら切開を要する

唐澤準吉

【答】授乳期には單に乳汁の鬱積によつて乳房が腫て硬くなつたりしこりが出來たり熱が出たりすることがあります。授乳したりマッサージや硼酸水の濕布で大がいなほりますが、若しそんな手當をしても何時までもなほらず發熱が續くやうでしたら乳腺炎であります、乳腺炎は漸次中心部で化膿して來ますから切開し膿を出して治療せねばなりません、表面に大きく膨腫して紅潮するのは餘程膿が多量にたまつてからで、初期には殆ど外部へ現はれないのです、その初期のうちに手當すれば簡單に治りますが、大きくなつて外部にひどく現はれて來てからですと瘡も大きくなり治療日數も長くなります、二三日濕布をしてそれでもシコリや腫が治らなければ直に專門醫にお見せなさい

ポンタロウ (10)
ハシモト キヨシ

イタイ アシノニク クイキッタナ
ウゥー
コノヤロー ナマイキナ ヨクモ オレノ アシヲ クイツイタナ
ナグレル モノナラ ナグッテ ミロ
ザンネン ニガシタカ
ボキッ
コ・マテ オイ・テ
ウワーッ!! ヒ・ト・コ・ロ・シ

滿日各地版

對支貿易殆ど杜絶 安東海關收入激減
滿洲海關獨立と支那報復で 對日貿易のみ增加

【安東】對支輸出入關稅率の改正實施により九月廿五日以降の對支貿易は滿洲國に於て輸出入稅を支那に於ては輸口稅を徵收される爲め二重課稅の打擊は當然の歸結として貿易甲絕を來し安東海關の收入は激減するに至つた、從來安東に於ける對支貿易は逐年發展の途を辿り將來を囑望されてゐたものであるが、今回の關稅改正の結果最近の海路貿易は皆無に陷つてしまつた、右につき松原安東海關長は

新稅徵收の發表後における貿易の不振狀態は止むを得ない、支那も今後における狀況靜觀さいふところだらうがこの儘何時までも持續することはないであらう

さ樂觀してゐるが、現在の處では鐵道による對日貿易のみ漸次增加の傾向を示して居り、昨今支那側からは一隻も船舶の入港を見ず又た安東からも支那向の船は殆どない樣である

軍が開魯方面に逃走する理由は東支東部線と南部線一帶は高粱を刈り取りたる後日本軍の討伐と飛行機の爆擊を恐れ比較的日本軍勢力の及ばない開魯附近に逃げ込まんとしてゐるのであるさ

鄭家屯西南の義勇軍

【鄭家屯】東科爾沁前旗鄭家屯西南百二十支里よりの報告に依れば東北救國義勇軍司令の率ゆる千餘名は紅黃槍會匪百餘名と共に該地附近に蟠居する匪賊を招撫し勢ひ增大するを待つて康平縣城襲擊を企てゝゐるさなほ康平縣自衞團中には既に彼等と共謀各自坑日救國なる腕章を着し總數二千餘名中華民國を押立て目下盛に蒙古人民部の財物を掠奪しつゝあり又同縣內にて義勇軍司令四名、團長八名を任命したさ、又別の情報に依れば義勇軍司令于海川逮捕直後奉天方面より來れる某義勇軍司令は目下鄭山縣境附近に駐せる匪賊を招撫中であるさ

鄭家屯平靜に歸す

【鄭家屯】鄭家屯襲來の義勇軍司令于海川の逮捕後避難民は歸村し市民は門戶を開き營業するに至つた邦人居留民は從來處々に散在して居たが匪賊襲來等の場合不便の爲め新市に集り鄭家屯の銀座通りを形成した、加藤商店三笏屋鐵興公司は既に引越し旭洋行も開業、滿洲堂も兩三日中に引越す由滿洲國が益々充實するに從ひ鄭家屯も景氣が出るものと市民は期待して居る

撫順附近匪賊事件被害

【撫順】匪賊の燒打その他過般の匪賊事件で撫順附近の滿洲國人の家屋人畜の被害は甚大なるものあり此等の被害者中の生存者は目下冷氣加はる昨今宿るに家なく食に窮して悲慘であるため、縣公署でもこれが救濟のため今回省財政廳より銀五萬元をうけて救濟物資を配布することゝしたが炭礦としてもこの際應分の同情金を支出すべく滿鐵本社了解の下に二萬五千元を支出することゝしたさ

匪賊安廣襲擊

【洮南】八月廿七日洮南東方安廣附近に約千五百の匪賊現はれ安廣城西十支里の地點に於て掠奪せり安廣公安局長は公安隊を指揮し直にこれと交戰約一時間にして彼等匪賊を大賚方面へ擊退し牛馬百餘頭を捕獲した

鄭桂林と學良完全に連絡
捕虜の自白で判明

【錦州】既報目下鄭桂林軍討伐中の鈴木部隊所屬谷〇隊が二十九日の戰鬪にて敵の下士官一名捕虜にして取調べた處彼は元山海關にある天津軍何柱國の陸軍獨立第九路步兵第六百二十五團の上等兵姜永順にて約二週間前何柱國の命令にて鄭桂林の部隊に編入され同時に下士官に昇進した旨自白した之れに依つて鄭桂林軍と學良の何柱國軍とは完全に密接なる連絡を取りつゝあることが判明した、尚證據品としては彼の所持する腕章手帳等あり我が〇團としては之を重大視し近く山海關の何柱國に對し嚴重なる抗議を爲す筈であるさ

馮宮聯合軍暴虐
逃走の途部落民慘殺

【奉天】四洮線で捕虜となつた馮占海軍の某將校の言によれば馮、宮聯合軍は馮が總司令となり馮旅、趙旅、嶽旅、劉旅、王旅、姜旅、宮旅、華旅、孫旅、韓旅の十旅を糾合して西方に逃走の途中日本軍に擊破され又は逃亡者を出して現在では四離滅裂の狀態である、又この一旅と稱するのもその數二、三百で小銃彈は一人四十發づゝ所持し馮、宮、趙の三旅は迫擊砲二門、砲彈三十發づゝ有し尚飛行機の來襲と鐵道通過の際は夜行軍をなし大部落に入るをさけ小部落に入るか又は野營をなして逃走中であつて退却の道順を知られることをさけるため通つた部落の住民は悉く慘殺してゐる、今度馮、宮聯合

鮮農の收穫保護へ 警官隊奉天發

警備の同僚を思ひやり 俸給を天引きして醵金
安東警察署員の慰問

【安東】治安維持と人民保護の重任を擔ひ日夜辛苦の限りを盡してゐる警官殊に大堡、大東溝、三道浪頭、通溝等の僻地に駐在し充分なる睡眠の暇もなく緊張そのものゝ不自由な生活に堪へてゐる警官の勞苦に對しては何人も感謝の念自から湧き上るを禁じ得ない所であるが、此涙ぐましい同僚の不自由な生活と勞苦を思ひやつて安東署殘留部署員百三十五名は一齊に自己の俸給一割を天引醵金し又た互に貯蓄した積立金の中から百圓を支出して之に加へ慰問を爲すことゝなつた

微かに忍び寄る冬
蘇家屯驛では早くもストーブ 漸く枯れ行く楊柳

【奉天】ひと雨ごとに寒さが增し冬が忍び寄つて來る——二日から氣溫はグッと下つた、十六度から夜は十度內外に下る、洋車夫は綿衣を着出した、警察官の服裝は黑地の羅紗に變つた、コートをつけた婦人も見える、レインコートではうすら寒い氣がする、蘇家屯の驛電信課はストーブを焚いて居る滿洲の冬を語る果ぬくいの聲も遙に心のうちに沁み込む、鐵道の柳は段々枯れて行く

◇これからは小盜兒が殖えるだらう、馬匪賊のギャング式襲擊が橫行するだらう、犯罪は多くなるだらう、現在領事館刑務所に收容されてゐるものは合計五十八名、うち既決竊盜十四名、詐欺、橫領一の外未決中のもの竊盜六、橫領七、傷害一、傷害致死一、殺人九名、家宅侵入、醫師法違反等々で人口の增加と共に犯罪件數は伸びて行く

◇三上司法主任の話によると最近になつて殺人事件は撫順、奉天、本溪湖に各一件宛あつたが、事變來人間が多少殺伐の氣になつて來たことは事實であるそして智能的な橫領、詐欺が多くなり竊盜も增したさある、秋から冬への氣候の變化には犯罪の數も增えて來るだらうからお互に注意をせねばならぬ

約二百名の部隊が見る〱內に全滅
松木部隊の討伐談

【チチハル】去る廿四日昂々溪の匪賊討伐に參加した松木部隊附赤木騎兵大尉の凱旋談

昂々溪に襲來した匪賊は李海靑の敗殘兵約五千と稱せられたが實際昂々溪に侵入したのは二千位で、あとの三千は附近の部落で樣子を見て居た樣だ、兵匪の來襲當時同地には特務曹長以下若干名と憲兵若干名がゐて死力を盡して防禦に當つたので日本人方面には少しも損害がなかつた、自分は步兵の隊と砲兵〇隊を指揮して市內に侵入した兵匪の攻擊に當つたが、敵は我々の來援を知らなかつた爲め周章狼狽蜘蛛の子を散らす如く南方に退却した處、南門前は混地多く而かも道が一本よりないので再集團して逃走した、そのため千米突の距離から發射した彈丸は面白い位敵に命中し約二百名の部隊が見る〱內に全滅し道路一面死屍の山と化した、引續き追擊にうつり結局敵は死體約五百を遺棄して南方に潰走したが我々のチチハル到着早々の討匪であり、これ位痛快なことは今迄になかつた

殊勳の松木部隊 チチハルを出發
某方面の警備につく

【チチハル】廿六日午前八時朝來一點の雲もなき滿洲晴れの好天氣の中を天野少將は矢田高級副官、橋本中佐を隨へて龍江飯店を出發途中領事館前に整列した歡送者に答へつゝ自動車を飛行場に走らせ八時三十分飛行場に到着歡送の松木中將以下軍部代表者並に日滿官民有志と挨拶を交し記念撮影の後八時五十分飛行機に搭乘し萬歲聲裡に飛行機は秋空高く爆音を響かせて東方遙かに機影を沒した、尚同部隊は同日三回に亘つて緣故深きチチハルを出發して某方面の任務に着くことゝなつた、斯くて昨年十一月入城以來警備に討伐に殊勳を輝かした小泉部隊天野部隊は日滿十萬の居住者に名殘を惜まれつゝ遠くチチハルを離れ去つて行つた

戰傷者氏名

【チチハル】昂々溪の討匪に於ける松木部隊原隊の戰死傷者氏名は左の如くである

▲戰死 步兵一等兵柏村正男、同海東哲夫、同吉田清吉

▲負傷 步兵大尉增澤可也、同一等兵降旗雪雄

因に右は松木部隊のチチハル入城後最初の犧牲者である

チチハルの物價著しく騰貴
各線水害復舊狀況

【チチハル】水害に次ぐに匪害等にチチハルは交通の孤立に苦しむ事並に三ケ月諸物價は暴騰に次ぐに暴騰を以てし殊に米、味噌、醬油、煙草等の日用品は驚く許り暴騰して天井知らずの有樣でこれが救濟策を講じつゝある國際運輸の當地に於ける代實の奉仕的の價格すら實に驚く勿れ白米一升二十七錢と云ふ暴騰振である、各鐵路の近狀左の如し

▲東支鐵道西部線 小蒿子喇嘛甸子間軌條枕木破壞にて不通修繕日數約五日

▲洮昂線 墜落せる裝甲列車目下引揚中

▲呼海線 呼蘭起點百二十キロの地點匪賊の爲め燒却

▲齊克線 不完全ながら一日一回運行

▲東支鐵道東部線 二十六日橫道河子を發せる旅客列車高嶺子で匪賊の襲擊を受け乘務員等拉致

徵稅方法變更
縣政府に通令

【瓦房店】奉天稅務監督署より復縣政府に達したる通令に依れば十月一日より國稅及地方稅本規定に依り徵收すべしさ

一、國稅

凡そ關稅鹽稅礦稅等は其の特設機關に於て徵收し營業稅牙當稅出產稅煙草稅酒稅統稅印花稅は各縣稅捐局に於て徵收する事

二、地方稅

車捐船捐妓捐戲捐等は各縣さの財務局に於て徵收する事

鮮農の收穫保護は吉林方面は不可能
林警務局長語る

【奉天】林警務局長は三日午後三時着直にヤマトホテルに投宿したが語る

鮮農の農作物收穫時期のために保護として警察官を派遣することにしたが吉林方面まで手を伸すことは多少困難を伴ひできるだけの範圍で保護をすることになつた、州境方面の警備狀態を巡視したのは勢ひ兵匪馬賊等が州內に雪崩れ込んで來てはこまるからあらかじめこれに對應する必要あり其の準備をするのであるが大體において現狀は平穩である、奉天滯在は兩三日で豫算編成期にはいつたのであるから早く歸廳する、本月中には全機部も軍司令部も新京に移るから關東廳出張所も亦移駐せねばならぬ、陣容は奉天と殆ど同一のものでよいとは思つてゐる

關東廳警務局さしては鮮農農作物の保護は各地一樣に行ひたいの希望はあるが場所の危險性により若し不幸にして一名の警官が殉職しても收獲物と變らない物質的損害であるばかりか人命にも關する問題であるからこの點は愼重に考へられ吉林方面までは保護のできない狀態である

迷惑な狩獵

【撫順】撫順地方は匪賊警戒のため一般に狩獵等遠慮せるためか、昨今は搭連滿鐵採砂場附近には盛んに鴨が飛來するので、狩獵家仲間のうちにはゐたゝまらずポッポッ愛銃を背負つて鴨打ちに出かける者があるが、警備機關側では非常に迷惑してゐるし、萬一匪賊と間違へ誤殺するやうなことがあつては氣の毒だと心配もしてゐるが採砂場でも過日來盛んに銃聲がするため作業中の苦力等は何度も匪賊の襲來と感違ひして逃げ出すといつた風で困つてゐる

市營住宅貸付け規則改正案可決
三日の旅順市會

【旅順】旅順市營住宅貸付規則中改正の件他二件に對する旅順市會は三日午後二時半から開會米岡宮田潘議員缺席東畑氏議長席に就き陸山助役より提案說明の後一應協議會の形式に於て第一號議案中改正の點は

家賃は月額十圓以上二十八圓の範圍に於て市長これを定む、但し市長は必要に應じ市參事會の決議を經て變更することあるべし

と改め讀會省略可決、次で昭和園貸付規則中改正要點を

晝間一日を 八圓乃至十圓

夜間一晩を 八圓乃至三十圓

晝夜連續を 十二圓乃至卅五圓

に改め讀會省略可決、次で市會議員選擧名簿に關する名古屋町一二德光能雄(三九)に對しては內地へ歸省中附加洩れであつたこと判明登錄することとし異議なく可決四時散會した

旅順市議懇親宴

【旅順】旅順市會議員一同は三日の市會を以て當任期中最終の市會と見做され且又改選期も迫つて來たので三日午後六時から永山市長を始め市吏員主なる者市會議員一同は壽に於て慰勞懇親宴を開催した

怪しい看板
賭博中捕はる

【チチハル】當地永安里に看板三ツ四ツ麗々しく並べ揭げた自稱大連新聞支局長城東某(假名)は豫てから賭博常習犯として當局よりにらまれてゐたが最近頻々として支那人が同家に出入するので愈よ怪しさにらみ二十六日午後八時三十分東巡査以下新任警官數名が同家を襲つた處果然約三十名の支那人が車座となつて牌九と稱する賭博を開張してゐたが、警官隊の不意討ちに周章狼狽先を爭つて逃げんさする處を內二十三名を逮捕珠數繫ぎとして本署に連行、一應取調の上支那人のみは滿洲側官憲に引渡し、前記城東某は引續き留置取調中である、なほ右城東某はチチハル記者團とは何等の關係なし

邦人農園に强盜
ランプの石油を撒き 火傷を負はせて逃走

【鞍山】鞍山鐵西南四番町競馬場附近南地農園番小屋に二日夜九時頃各自拳銃所持の三人組强盜侵入して使用人吳延貴(二七)吳玉坤(二〇)路福榮(二六)姚振春(四七)の四名を脅迫し奧に寢て居た苦力頭郭士潔(六九)を土間に引摺りおろし金を出せさ脅喝して毆打し麻繩で首を縛り三回も氣絶させたが應ぜぬので吊してあつた石油ランプを打ち撒き火をつけ大火傷を負はせ衣類その他をかつさらひ逃走した、一同は火の手が盛んなのに驚き消火に努め午後十時漸く鎭火したので急を本署に屆け被害者は直に滿鐵醫院に入院せしめたが頗る重態である

三巡査署葬
開原で執行

【開原】既報の九月三十日昌圖東方橫道河子に於て殉職した巡査永間文春、永田權太郎、風岡壽藏、池田一二三の四勇士の葬儀は署葬を以て十月六日午後一時開原公會堂に於て執行することになつた

口錢稼ぎ捕る

【撫順】最近中央大街六六に日滿商工業界振興社假事務所なる看板を揭げてゐた櫻井清郎(三二)は昨今市內西五條牛肉商德永慶長外四名の依賴をうけ各種物品の賣掛金合計八百七十餘圓の取立方を引受け債務者邦人四名滿人十六名に對し債權取立狀を送附しあわよくば不當の口錢稼ぎをせんさしてゐたが、撫順署增尾刑事に探知されて

撫順電車變更

【撫順】撫順の市內電車は中央大街軌條の撤發と新線工事並に本撫線列車時間の改正に伴ひ本月十日以後月末までは一部變更、十一月一日より全部改正するさ

小泉聯隊長招宴

【遼陽】遼陽步兵聯隊長小泉大佐は三日午後五時半から偕行社に席を設け官民多數を招待新任披露を兼ねた晩餐會を催した

沿線往來

▲林關東廳警務局長 三日午後三時五分着奉天へ

▲小泉第十六聯隊長 三日午後一時四十分發鳩で赴遼

▲小山貞知氏 同上

▲河本大作氏(滿洲鐵路局理事長) 三日午後三時五分着鳩で歸奉

▲関部少將 三日朝來奉

▲中谷虎司氏(大阪府會議員) 二日來奉

▲河野一郞氏(代議士) 三日來奉

▲向坊勸業公司社長 三日歸奉

▲駒井德三氏(滿洲國總務長官) 來奉中の所二日夜歸長

▲原物兵衞氏(代議士) 二日晚安東より來奉

▲岡野俊吉中佐(國際聯盟特派海軍代表) 三日午後三時二十五分發安奉線で歸東

▲丁士源氏(滿洲國代表)同上

▲闞朝璽氏(奉天市長) 三日午後三時十五分長春へ

▲後藤英雄氏(奉天市政公署顧問) 同上

奉天を中心にして 全滿に航空網擴充
兒玉新會社副社長談

【奉天】九月廿六日に滿洲國の登記を終へた滿洲航空株式會社副社長兒玉常雄氏は語る

會社は創設されたが、營業開始は目下準備中である、一度各位の了解を得るために開業式をしたいと考へてゐた矢先滿洲里行旅客機が兵變のために碾子山で抑留されてゐるので其れが何とか解決するまでと考へてゐる、該飛機はハイラルに輸送された其後の消息は軍に依頼して調査中である、將來會社としては奉天を中心として日本航空會社の新義州飛行との連絡を開始する

奉天から日本内地に向ふ旅客はこれにより便利とならうが、目下技術上の日滿兩航空會社で交渉中である、これが實現したら奉天から大連へのコースも開くと考へてゐる、行く〳〵は奉山線の山海關まで航空路を伸ばしたい希望をもつてゐる、これは大連經由船便で天津へ出るより山海關から通過した方が便利であるからだが、旅客其他の状況を精査してからのことである、事務所は現在はこの儘でやつて行く方針である、滿洲國の會社だから附屬地に設けることも變だから

鞍山湯崗子間に自動車道路
各方面から嘆願書

【鞍山】既報した鞍山湯崗子間自動車道路新設に對する各方面の要望は愈々熾烈となり地方事務所、製鐵所共夫々關東軍に向つて嘆願書を提出すべく之に要する實地測量を三日早朝から始めた、該測量は製鐵所工事々務所に依頼し守備隊護衛のもとに驛前通り終點から開始し其の距離十五キロにして六日頃までに之を終り願書に貼布し代表者が赴奉して關東軍に篤と請願する筈である

撫順の傳染病

【撫順】撫順署管内九月中の傳染病發患數は左の通りであるが、馬賊騷ぎ等で人心緊張してゐたゝめか好成績である

△赤痢八名△猩紅熱三名△パラチフス三名△ヂフテリア一名

淀に赤痢患者

【旅順】軍艦淀は二日午後旅順へ入港の豫定なりしが艦内に赤痢患者二十餘名發生したので港外へ碇泊、患者はいづれも旅順衛戍病院へ入院せしめた

四平街の猩紅熱對策

【四平街】當地消防隊では初秋以來小學校兒童間に猩紅熱流行し、去る九月十九日以降十月一日に至るまで十二名の患者發生し爾後蔓延の兆あるに鑑み、之が對策として昨二日小學校々舍の内外を隈なく消毒すると共に近く兒童全員に對し豫防注射を實施する筈であるが、衛生防疫の萬全は家庭に於ける周到の注意心を必要とするので這回猩紅熱に就いてと云ふ七項より成る注意書を發し一般家庭に於ける衛生思想の喚起に努めた

黑龍江省公署實業廳長決定

【チチハル】黑龍江省實業廳長は韓雲階氏の省長昇任後省長の兼任にて缺員の儘であつたが今回滿洲國軍政部より盧元善氏が任命され數日前に着任した、同氏は日本仙臺東北大學農科出身の日本通にて將來事業山積の黑龍江省實業廳長として實に適材を適所に得たものとして凡ての方面から矚目せられて居る

遼陽附屬地 傳染病續發

【遼陽】遼陽附屬地は防疫當局の努力で幸ひ虎疫の發生もなく卅日限り防疫委員を解除したが最近赤痢とチブスが續發の傾向がある、警察署新妻衛生主任の談に依れば從來櫻木町と本町方面に多い樣である、而して櫻木町方面は家庭園藝が盛なため蔬菜に人糞肥料を施すに起因し本町筋は城内から來る葡萄や果物に原因するのではないかと一般家庭に於ても充分注意ありたきものであると

避難同胞に古着類を施與
奉天總領事館の依頼

【旅順】北滿方面に於ける匪賊水害に依り避難しつゝある鮮人は現に奉天附近に於て三萬人以上に達し越冬用の衣類に大困難を來してゐるので森島奉天總領事代理は三日旅順市長宛右古着類の施與方に關し依頼し來つた、在旅仁俠の士は舊つて不幸なる我が同胞に寄與され度く品物は市役所迄持參すれば便宜取計らふ由でこれに對する運賃等は滿鐵に於て無賃輸送をなす由である

四平街の七千米マラソン

【四平街】當地四洮新聞社主催、在四各新聞社支局後援に成る市内一周七千米マラソン大會は既報の如く三日華々しく擧行された、この日朝來の曇天に時折雨模樣さへ加はり、冷氣頓に著るしく、最良のコンデションであつたが三十名の參加全員頗る元氣にて、定刻を稍過ぐる午後二時五十分驛前出發點を一齊にスタートし、中央大街を一團となつて疾走、野球グラウンドを一周して平安街を經、日進街を南に驀進する時はトップとラスト間には相當の開きを見せ一、二、三着を争つて力走したが三時二十分元氣一杯の經水秀君に依り眞白のテープは切られた、入賞者中五着迄左の如し

一着經水秀、二着洪舜希、三着矢野正人、四着林寅治、五着小柳國弘

新義州辛勝
對安東野球戰

【安東】安東倶樂部對全新義州軍の定期野球第一回戰は一日午後三時より驛前球場で全新先攻、田中（球）中村（塁）兩氏審判の下に開始、八對七で安倶惜敗した、兩軍メンバー及び得點次の通りである

	得點	計
安倶	101002030	7
全新	000016001	8

安倶　好瀬岡兄弟條田塚馬／三筒吉酒酒上牛手有（井井）／278519341 5 6

全新　西岡野口部山　金田崎／今西小小服組東流高神濱（戸）／4761993291 5 8 PH PH

安東各學校の運動會

【安東】二日の第一日曜は安東中學校安東高女の秋季體育會をはじめ國境對抗庭球戰、奉天對安東ラグビー戰などいろ〳〵の催しものがあつたが、變り易い秋空は午前十一時頃から俄に搔き曇り冷雨となつた、雨に祟られる今秋のスポーツ・シーズン、心なの雨だ、然し安中は降雨を衝いて勇壯な競技をつゞけ、女學校も一時生徒や觀覽の母姉、同窓生などは講堂に避難したが折角興趣深く盛られたプログラム、然も年一回の樂しみにしてゐた體育會なので小降りになるのを待つて午後に殘された競技やダンスだけを續行し遂にそのまゝ閉會した

撫中驛傳競走

【撫順】撫中では三日體育デーにつき校庭に於て聯合體操を行ひ、恒例により午前十時を期し搭連以西約一萬五千米突の驛傳競走を催した、本年は驛傳と同時に各驛で「勇往邁進」「母校の爲に」其他の傳令を次ぎ間違組は減點するとし爲一層興味も多く選手は三年以上甲三年以下乙の兩組を更に白、赤、青、黄に分けたので都合八組七驛の全選手五十六人の多數で其の他職員生徒も全部途中にて應援し頗る盛況を呈したが右の如く赤甲組が一時間二分二十一秒で一等となつた

△一等赤甲△二等赤乙△三等白甲△四等白乙△五等黄甲△六等黄乙△七等青甲△八等青乙

全普蘭店庭球戰
選手をAB組に分ち 二日第一回を開始

【普蘭店】普蘭店庭球部にては管内全選手をAB組に分ち二日午後一時よりB組は小學校コートA組は滿鐵コートに於て第一回優勝戰を行ひ各組優勝者に夫々優勝盃並に副賞を授與したが其の選手組合せ及成績左の如し

B組第一回戰
黒宮・川本 二―四 二桑・木原
松池・木上 一―四 酒溝・井口
池肱・本黒 二―四 萩萩原（第）
高佐
不戰一勝
平外・尾本 四―二 山王
中濱・道 ○―四 孫井
渡松・島本 四―○ 河王 東
不戰一勝 宮狩

第二回戰
二桑・木原 四―○ 酒溝
萩萩原（第）・原 四―○ 高佐
平外・尾本 三―四 孫井
渡松・島本 四―○ 宮狩

準決勝戰
井口 三―四 萩萩原（第）
上 四―○ 松渡

優勝戰
上 四―一 萩萩原（第）

A組第一回戰
孫劉 一―四 豐田
藤久 保田 一―四 池鈴
吉山 元田 四―○ 權王
不戰一勝 山梅之内

林尾山園岩川
上 二―四 石小
路田 四―二 米西
切端 四―○ 西椎名（第）
森出川川

不戰一勝 町河
第二回戰
增口 二―四 鈴池
田元 四―三 梅山之内
森出 四―二 山園
切端 四―三 町河
準決勝戰
木井 四―三 吉山
森出 四―三 岩川
優勝戰
木井 一―四 石小

殉職者の葬儀

【鞍山】鞍山製鐵所硫安工場で一日作業中瓦斯の中毒に罹り殉職せる傭員馬洪財、常役夫王古卿の葬儀は三日午前九時より平安莊廣場に於て右近庶務課長、梅根製造課長、深山工場長、長井庶務係主任其他硫安工場日滿從業員等多數參列し盛大に執行された

增加した大公望
金州にチヌ釣り殺到

【金州】秋酣となつて山谷の草木も正に紅葉せんとする今日この頃海邊を漁さる大公望の群はこゝを先途と跳梁し出した、コレラ發生のため禁止された海水の使用も今では解禁され、誰に憚かる處なくのんびりと無我の快味を味はつてゐる、遠く老虎山海岸から愛川村附近一帶西海岸から拉柳房海岸、大房身柳樹屯から小孤山を距て大孤山海岸、遠く董家溝附近一帶、地元金州の公望連は勿論、一夜を釣場で明かすと言ふ公望中の大公望連は大連から、遠い處も何の其のかは漸く五寸の太さになつて締引具合も本物の鯛と變らぬ強引振りに快哉を叫びつゝ來るわく

國境警察隊

【瓦房店】復縣駐在國境警察隊は今回新京警務司長より命令に接し野田分隊長以下四名先發隊として既に綏分河に向つたが同地の設營完了次第當地を引揚げる豫定にて目下長春に駐在する遊動警察隊百八十名と更替すると

陸地測量班

【洮南】滿洲國政府の委任により遙ばる東京より來滿せる陸地測量班一行三十名は九月二十九日夜來洮した海工兵大尉の指揮の下に來洮南なほ同一行は約十日間洮南に滞在事務所を第二中隊兵舍内に置き洮南附近の土地を測量せる後洮安に向ふ豫定であると

互に意地くらべ
一藝者と樓主の爭ひ

【奉天】三日正午頃加茂町料理店粹山のちゑ子は最近内地からやつて來たばかりの藝妓でなか〳〵鼻ぱしらが強く氣に喰はぬ客は決して取らぬといふ氣前を持つてゐたが樓主側ではそういふことは出來ないと無理矢理に客をとらせやうとするので遂に彼女の感情が爆發し一切客はとらないといふことにした、これには樓主の方も承知せず客をとらないのならお座敷へ出るのもよしたがよいと斷然休暇命令を發した、そして兩三日來は仲居仕事ばかりしてゐたのである、一方これに憤慨したちゑ子はこんなことでは藝妓の面子にかゝると座敷へ出て藝をやるのは藝妓の役目胴德利を持ち運ぶのは仲居のやることとも何時までも座敷をとらせないで下働きをさせるなら斷然藝妓をやめて内地へ引上げてしまふからと勝手のよい注文を奉天署保安係に持ちこんだので流石の係官もこれには當惑してゐた

持ち逃げ捕る

【撫順】市内首藤靴店々員平安北道定地郡生れ山下政夫事金相段（二〇）は去月中主家の自轉車及靴を持ち逃げ行方をくらましてゐたが、最近長春祝町三丁目山本方に潜伏せることを發覺長春署で逮捕の上二日夜撫順署に連行された

バス驢を轢く

【旅順】二日午後十時半滿電の最終バスが山川神に差懸ると突然前方へ驢が躍り出した爲め急停車したが惰力の爲め遂に衝突し驢は後肢左足を切斷された

興津副領事

【奉天】通化事件で盛名を馳せた興津良郎副領事は安東領事館に榮轉し來る八日頃赴任するので總領事館出入記者團主催で三日夜叡良軒において送別宴を催したが領事館側も參加し頗る盛會であつた

旅順管内に大雹降る

【旅順】二日午後五時半頃旅順管内三澗堡北澗附近へ突如厚さ八分長さ一寸餘の大雹が降り大騷ぎを演じたが人畜に死傷もなく亦他に何等の損害もなかつた、古老の話に依るとこんな大雹が降つて來たことは初めてだと云つてゐる

青聯幹部挨拶

【奉天】二日解散式を擧行した滿洲青年聯盟の鯉淵恐、仙波清兩理事は三日各方面を訪問して聯盟に對する過去の援助を感謝し解散の挨拶を爲すところがあつた

警備費獻金

【瓦房店】關東廳警備機能充實費として左の通り獻金申出があつた

一金壹百圓也　國境警備監視隊長吉村儀以下隊員一同
一金五十圓也　許家莊商務會
一金二十圓也　大國シナ子

滿洲國郵便局退職金辦法

【瓦房店】滿洲國側の郵便機關は着々完備せるが今回局員に對する退職金辦法を制定し奉職一ケ年の者に對し退職金現大洋百元を支給し一ケ年を增す毎に大洋六十元を支給する旨通牒に接したり

四平街
實業軍勝つ リーグ野球戰

軟式野球の準優勝戰小學校對實業戰は昨三十日午前三時より南グラウンドに於て松岡（球）向井、小森（塁）の三君審判の下に小學校先攻にて試合開始實業軍は好投手高田をマウンドに送り小學校軍の猛打者を沈默せしめると共に、前日對地事戰に健投した島田投手をノックアウトして前半早くも十點を獲得し勝敗の歸趨を決定、爾後得點の機會なく、小學校軍は第九回の表にて野手失策に亞ぐ二個の四球で滿壘となり次打者の三前犧打に一點奪取零敗を免る、スコアー並にメンバー次の如し

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
小學校	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
實業	1	0	1	6	0	0	0	0	A	10

小學校　田上田部坊田須部水（兒）／本浦島輕奥寶那伊清／641532897
實業　田木井島見部岡崎岡（々）／驛高佐平田鶴服福谷平／5127889643

素人寫眞展覽會

當地觀光會主催、四平街素人寫眞展覽會は據て延期中のところ三十日夜仁壽街伊藤起一郎氏宅に同會委員集合、協議の結果愈々來る九日滿鐵倶樂部に於て開催することに決定した尚同夜行はれた出品物の審査は可成りの綿密に實施されたが優秀作品が多數あると

實業軍優勝す
野球大會終る

人氣沸騰の軟式野球大會優勝戰は二日午後二時より南グラウンドにおいて擧行された、凸凹クラブ並に小學校軍を壓倒的大差にて激破した實業チームと強豪驛軍及び國際チームを一蹴した保線區軍との對戰は未曾有の好試合にて試合前早くも風雲を捲き起すかの感があり内外野の兩側を埋め盡した、黒山の如き觀衆も鳴りを鎭めてプレー開始を待つ程もなく、島田主審の力強い宣告に戰ひの幕は切つて落され、觀衆のどよめき暫時秋晴の沖天に漲り渡り優勝戰に相應しい光景を呈したが、此の日兩軍のバッテリーは藤原――北村（保）高田――佐々木（實）の第一線にて保線藤原が速球を武器に健投すれば、好投手高田亦得意のアウトローに速球を交へ保線區側を調理すれば、此の息詰る樣な投手戰に觀衆は驚嘆の渦を流して喜んだが、打力に勝る實業軍は三回敵失に亞ぐ適時安打に一點を獲得更に五回の攻擊に一點を奪取し爾後無得點の儘終始敵を壓迫しつゝ熱戰裡に左のスコアで優勝した（審判島田、松岡、向井の三氏）

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
保	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
實	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2

公主嶺

子供相撲開催

公主嶺體育協會相撲部の子供相撲を公主嶺神社秋季大祭に華々しく開催すべく諸準備のなりし當日の降雨に妨げられ小力士を失望させたので三日の體育デーに小學校々庭の土俵に於て同日午前十時より開催することになつた

コレラ患者良經過

各地に於けるコレラ發生以來防疫其他の注意にもよるが一名の患者も出さず安全地帶と云はれてゐた公主嶺は該病の終熄期に際し遂に疑似コレラ患者を出したので係員は勿論一般住民も一層の防疫に努力した結果續出を見ず殊に患者は元氣な保安隊員王國昌なので醫藥に惠まれ經過良好近く隔離所を出ることになつた

新舊署長歡送迎會

前公主嶺警察署長齋藤直支氏と新任仲村延四郎の新舊署長の歡送迎會を守備隊小川大隊長、中本試驗場長、森地方事務所長發起の下に四日午後五時公會堂に於て官民合同の送迎の盛宴を張ることに決定した

吉林

小學校運動會

當吉林小學校秋季運動會は豫定の通り廿八日午前九時より校庭に於て盛大に擧行されたが當日はあたかも小春日の如く和氣溫々なる快晴に惠まれて兒童職員は勿論多數の父兄達は鶴首して待ち兼ねたる事とて開場間もなく殺到の有樣、我が愛し子の手に手を取りて約半ケ月間の戒嚴令より解放され命の洗濯するが如く今日一日を愉快に過ごすべく中にも來賓の魚釣り競爭は一層興をそゝり大人も兒童も聲援聯はしく歡聲湧く中に午後三時頃無事終了を告げた

熙長官誕生祝宴

吉林省々長熙氏は二十九日誕生日に當るので吉林獨立記念日も無事平穩に過ぎし今日正午より吉林倶樂部に於て各入魂の士を招き小宴を張りたるも時節柄御祝の贈答等は一切斷り極略式にして午後三時頃無事解宴した

旅順

旅長事務引繼

新監察官久下沼警視、新旅順警察署長加藤庄市警視は三日午前八時半より署長室に於て事務引繼を爲し、九時から署員一同を集め新舊署長より夫々挨拶を爲した

旅順放送

▲旅順滿鐵社友會では來る六日午後六時から料亭詩に於て秋季懇親會を開催する
▲久下沼、加藤兩警視は三日各方面を歷訪新舊署長に對する挨拶を述べた
▲食道樂敦賀町美乃路は今回「大樂」と改稱し電話〇七六〇番が開通した

法院便り

覆審部では三日午前十時から匪賊對王清事劉貴來に對し原判決通り懲役二十年、同遠君三に對しては前判決を取消し更らに一年六月を申渡したので「我不服〳〵」と叫びプン〳〵怒つて退廷した◆窃盜小野原君平に對しては原判決二年六月を取消し更らに懲役二年を申渡された

疫禍清算
通り魔のやうに荒し廻つたコレラ
初發以來『恐怖の數字』

六月二十八日營口に初發以來、通り魔のやうに南北滿洲を暴れ廻つたコレラも、襲ひ來る秋冷には勝てず、日一日と勢ひ衰へて九月二十七日公主嶺に一人出たのを最後にどうやら終熄したらしく、爾來發生を見ない、よつて滿鐵衞生課でも九月三十日限り各地の隔離所を閉鎖し殘るは鐵嶺（保菌者一三患者一）開原（患者三）公主嶺（患者一）のみとなつた、しかもこれらの患者はいづれも輕く回復期に向つてゐるとは、さしもの虎疫も老ては猫の如しである

◇

コレラ日誌を繰つて見る――營口のコレラの原産地は上海邊らしく相當惡性で三日間に十一名發生し、三十日には大連に飛火し、七月上旬までは兩地だけに限られ三十九名の發生を見たそれが中旬になると州外では萬家、蓋平、奉天、長春、州内では金州、普蘭店とコンマ菌は萬遍なく撒布された

◇

七月下旬から八月中旬までの一箇月間は最盛期で、奉天は七十三名長春は八十八名、遼陽は二十四名安東は二十名、州内では大連は百六十四名、旅順二十名など、續出して全滿の人心を寒からしめ、内地も朝鮮も大連をコレラ指定地として警戒し出した

◇

奥地はコレラのために久しく樣子が判らなかつたが八月の上旬、突如通遼に猖獗してゐることが判つて全滿を驚かした、防疫施設もないところとて一時は全滅するかと憂慮されわが裝甲列車中よりも犧牲者を出し、こゝを中心として病菌は四散して鄭家屯、洮南、新民屯に多數發生した、北滿は八月末水災の後の祟りとして現はれハルビン、チチハルに猖獗した、これら奥地も九月中旬までには大體終熄したがその數は左の如くである（この統計中には推定數がある）

錦州二一、鄭家屯一二六、溝幇子二、齊々哈爾三三二、通遼三〇〇〇、哈爾濱六一〇、吉林五四、新民屯七三〇、洮索店三〇、大林三〇、洮南三九一、北鎭三三〇、上下倫、三〇、三姓三二、八面城一、開通一一、鮫河五、下窪黨一四、太平川二、前衞六計五、七五七

内譯　邦人一〇、朝鮮人一一一滿洲人五、六〇九、ロシヤ人二七

日本側の手で收容した患者の數は左のごとくで州内外合せて六百七十五名邦人は二十七名である

▲州外

	附屬地内	附屬地外	計
瓦房店	一	八	九
大石橋	｜	八	八
營口	五	六〇	六五
遼陽	｜	二六	二六
奉天	一	一一五	一一六
鐵嶺	｜	三九	三九
開原	六	｜	六
長春	五四	四一	九五
安東	四	五一	五五
撫順	二	一三	一五
公主嶺	｜	一	一
計	七三	三六一	四三四

▲州内

大連	一七三
金州	九
普蘭店	二〇
旅順	二四
貔子窩	一五
計	二四一
州内外合計	六七五

▲罹病者人種別

	州外	州内	計
内地人	一四	一三	二七
鮮人	一二六	四	一三〇
滿洲人	二九二	二二四	五一六
外人	二	｜	二

即ち全滿を合せると約六千五百名の患者が出たわけでその七割内外は死亡したとは、まことに「恐怖の數字」である

『敢然承認へ』
自から認識を深める　滿鐵撮影映畫外國へ

滿洲國承認議定書調印當日關東軍指導の下に滿鐵弘報係が撮影した調査光景のフィルムは三日朝新京に携行されたので國務院に於て定例閣議閉會後四時半より試寫國務總理以下各部長及政府要人多數出席した、同映畫は「敢然承認へ」と題ぜられ全長二千五百尺でその劃期的歴史事件が細大漏らさず鮮麗に撮影されてなり新興滿洲國の歴史の第一頁を後世に傳ふる好個の記錄映畫として好評裡に滿洲國側に多大の感銘を與へた、尚執政は同日午後八時より執政府に於て試寫を見たが、同映畫は直に日本及び外國に送付し發表されることゝなつてゐる【新京電話】

犯罪捜査上の連絡を改善
新聞記事揭禁も改む　井關檢察官、檢事會議へ

關東廳地方法院檢察官井關安治氏は關東州より選ばれて來る十日より五日間東京において開催される檢事檢察官會議に出席の爲め四日はるびん丸で上京の途についたが出發に先だち語る

檢事事務に關し殆ど全國的に集つて色々

協議を するのだ、關東州としては別にこれと云つて取立てゝ云ふことはないが主なるものでは從來内地と植民地との間では犯罪捜査上とかく連絡が巧く執れず時折不都合なことが起き面白くない現象を來してゐたが今後は一致した方針のもとに連絡を保つて行かうと云ふのだ、そして思想犯罪の檢擧防止に力める意向なのだ、殊に日滿關係の間も今後は愈々交涉がしげくなるのだから滿洲國に對する今後の考へ方なんて云ふものについてもよく協議して來る、これによつて從來新聞記事の差止めなぞもとかく不合理な點が多い樣に思はれたがこれも改善されることゝ信じられる、そして

將來は もつとしばしば本省から出張員を派遣して貰ひ、同時にこちらからも連絡を執りに行く樣にしたいと思つてゐる、廿二三日頃歸る

海運界視察に
增田專務内地へ

大連汽船專務增田義男氏は社用を帶び内地における海運界の近況視察かたがた四日出帆はるびん丸で出發したが船中語る

最近内地の海運界が非常に色めいて來たので大汽としても安閑としておるわけにいかずと云つて見て置かないことにはお話にならぬので海運界の視察に行くのだ、ついでに神戸の支店の業績を見て一路東京に行く主として東京に居る、それに今度は最も關係の深い海軍省、遞信省方面と種々細かい事務上の打合せをする、次に例の船質改善に對し内地における同業者などの程度の關心を持つて居るかを聞いて關東州でもこれが適用の際の參考にしたい、解體出來るとしたらやりたいものも少しはあるも困る、そんな嫌やがらせなんか僕は云やしないよ、約一ケ月の豫定で歸りは長崎によつて長春丸の修理狀態を見てくる

醫大專門部復活と教專の廢止を決定
教育研究所擴充案も成る　きのふ滿鐵重役會議

教育專門學校附屬教育研究所の擴充および奉天醫大專門部復活案審議の重役會議は四日午後一時半から開催されたが地方部からは武部次長、有賀學務課長出席種々說明するところあつた、重役會議では二案の

審議 に先立ち先づ教專問題について審議滿場一致を以て教專は既定通り昭和八年三月末日限りを以て廢止することゝ決定、引つゞき研究所擴充案に移つた、即ち現在の教育研究所は滿鐵現職教員の再教育機關にすぎないが、擴充案においては、研究所を講習科、養成科、研究科の三科に別ち

一、講習科は既に滿鐵初等學校に在職する教員を順送りに講習を受けさせ教育方針の刷新向上を圖る

二、養成科　は内地師範學校を卒業した優良教員を採用して一ケ年間滿蒙事情、地歷、支那語等滿洲における教員が必要とする特種教育を授ける

三、研究科　は研究所に奉職する先生が中心となり滿鐵教育方針の研究にあたらしめる

ことを原則としてその面目を一新することゝなつた、從つて教育專門學校に

代る ものとしては養成科が設置されるわけでその採用人員は一ケ年二十五名とされており、而してその募集方法は未だ決定は見ないが公募試驗制度によらず教專設立前の教育研究所當時の如く内地師範學校卒業生で當該學校長および府縣長の推薦ある者を滿鐵において詮衡採用する如くであるなほ現在教專には十一名の教師があるが教專の廢止によりこれ等の教員を淘汰するが如きことは滿鐵としては極力避ける方針で大體研究所擴充、他の中等學校への配屬等により全部を收容し得られるものと見られてゐる、次いで醫大專門部の新入生募集復活案については

一、滿洲國側から滿鐵に募集復活を希望して來てゐるがどの程度の教育を必要とする醫師を希望するか

二、關東廳としてどの程度の教育を受けたものに醫師の資格を與へるや

の二點が判明しないためこの點に就き更に充分滿洲國、關東廳の

意見 をたゞし、兩者の意見に一致點を見出したうへ滿鐵の態度を決することゝなつたが、一致點さへ得れば當然募集復活を見るものとされてゐる

星ケ浦を狙ふ匪賊殘黨二名捕る
昨夕沙河口署の活躍

二日夜星ケ浦を襲はんとした十三人組匪賊團の殘黨はその後二日間に亘つて沙河口署に於て不眠不休の捜査中であつたが四日午後三時半頃逃走五人組の内二名が大膽にも星ケ浦黑石礁十四番地富豪于喜亭方に訪れたのをさきに頭目を櫻井巡査が逮捕した際居合せて顏見知りの星ケ浦の壯丁孫萬宝（三七）が恰も同家に居合せてこれを發見直にこの旨を星ケ浦派出所に屆け出でた、急報に接し沙河口署では三浦署長を先頭に内勤巡査總出で全員百餘名が賊の立ち去つた小平島以東星ケ浦間の二里四方に亘る旅大道路を挾んで村落山野海岸を追跡探索の結果午後四時五十分二名共逮捕星ケ浦派出所に連行取調中

職務に殉じたたふとき犧牲
小林滿鐵技術員の遺骨大連にかへる

去月二十六日呼蘭を襲撃せる有力なる匪賊のため沈家驛北方約一千二百米の地點において遭難奮戰の結果悲壯な殉職を遂げた滿鐵々道部技術員小林正之氏の遺骨は三日午後四時四十五分大連驛着列車で故人と共に死線を彷徨した僚友宮本橋本兩社員を始め臨時呼海線○○事務所長石村長七氏及横谷西山兩社員等に護られて過やかに到着したが驛頭に滿鐵十河、村上、山西、竹中各理事、山崎、猪田、佐藤各次長を始め鐵道部その他各課長職員等多數出迎へ石村呼海線○○事務所長は故人並に遺族に代つて挨拶を述べ一旦驛貴賓室に安置し淨土宗明照寺住職高宮義山師の讀經に故人の靈を慰めたが一同禮拜の後天神町明照寺の佛門に安置した、尚故小林氏の遺族は四日東京を出發來連の豫定で遺族の到着を待つて滿鐵では鐵道部々葬として十日午後三時より協和會館に於いて尊き犧牲者の告別式を執行する筈である、故小林氏の遭難狀況について臨時呼海線○○事務所員宮本寅三氏は左の如く語る

去月二十六日午後呼蘭を襲撃せる匪賊は抗日救國軍の正規兵で約五六百名位と思はれるが新鋭部隊で沈家驛から鐵道警備と修理のため無蓋車で砂嚢を積んで遙か作りの裝甲車にて救援に赴く○○○隊の兵○○名と共に吾々も同車して行つたが沈家驛を距る北方一千二百三十米の附近にて敵匪に遭遇し頻りに發砲されたのでやむなく應戰したが何分急造の裝甲車の事とて頗る不利な立場にあり遂に小林氏は右胸部より左へ抜ける貫通銃創を負ひその場に即死の悲壯な戰死を遂げられたもので時に午後三時四十二分の白晝の出來事である吾々は故小林氏の弔ひ合戰として奮闘しこれを擊退したが敵匪も相當の被害があつた筈である（寫眞は大連驛にて）

内地向け小包

大連中央郵便局取扱ひにかゝる九月中の内地行き小包郵便物は總數八千九百三十個で右の内宛地通關の指定あるものを除いた殘餘の六千七百八十二個に對し通關檢査執行の結果百九十五個の課稅を見た因にこの月の取扱ひ總數は前年同月に比し千九百九十一箇の增加であつたと

便衣隊の發砲から奉天驛内の拳銃戰
滿洲軍將校二名死亡　きのふ記事の揭載禁止解除

去る八月十日朝六時二十分突然奉天驛地下道において馬賊襲來で大騷ぎした事件はその取調べ上の關係で揭載禁止となつてゐたが四日解禁となつた、事件は安奉地區警備司令部副官王秀峰（三〇）が奉天における警備會議に

列席 のため八月十日午前六時二十分着安奉線列車で奉天驛に下車して第二ホームの地下道に下りた際突然便衣隊らしきものに拳銃を以て射擊されたので王と一緒にゐた奉天安奉地區警備司令部參謀林震及び大佐李務生の兩名は自己防衞として賊に拳銃を以て發砲したところホームにゐた奉天春日町五番地石田福吉長女アイ子（一）は流彈のため左腕に擦過傷、右列車に乘合せて來た旅客稻岡某生れ古賀一平（二八）は下腹に擦過傷、若松町六番地徐元盛（二〇）は左大腿部に盲貫銃創を受けた、この

拳銃 の音に馬賊の出現との急報で驛警戒中のわが警官は防備上止むなく發砲、李の兩名が第三ホームに上つて來るところをホーム上から拳銃を發射してこの二名を射殺したものである【奉天電話】

新たな召喚者
產業博事件證據固め

大日滿產業博覽會不正事件につき大連署司法係では八方證據の蒐集に努め三日午後債權關係被害調査を行ふと同時に押收せる帳簿に就き福券賣上げの約五萬圓の使途及び出品賣上金の行方等を追究し收支決算の辻褄を合すべく努力してゐるが、記帳方法は出鱈目で、目下のところ世上紛々たる醜聞あるも的確な證據を摑むに困難を來してをり、三日夜司法主任刑事の召集を行ひ、藤井司法主任を中心に今後の捜査方針に關し打合せた、なほ原理事長の相談役として最初から計畫に參劃してゐた市内能登町六五番地林田文助氏も三日午後四時ごろ召喚され春日部長の手で約二時間に亘り取調を受けた

舟山號沈沒
船體は二分

舟山號救助に出動中の大連丸より四日午前六時の無電によると舟山號は遂に波浪の爲め眞二つに切斷され前部は僅かに甲板のみを殘して岩上に橫たはり後部は全部沈沒してマストのみが見えるに過ぎず殘余の乘組員は救助を求めてゐる

乘組員の救助
波高く困難

遭難英船舟山號は遂に既報の如く眞二つに切斷され後部船體は沈沒し前部の一部分のみ辛うじて海上にあるが四日午後一時大連丸より無電によると帝サル優捷丸は四日午前十一時現場到着、乘組員を救出せんとしてゐるが波高く近よれず食料はまだあるが飲用水は缺乏の模樣であるとが波高く近寄れず英艦スケルトン號が來航したので救助を依賴したと

毓濟號坐礁

支那船毓濟號は三日午後七時二十五分吳淞沖にて坐礁目下救助を求めてゐる

中根工務監督
大林組工事視察

四日朝入港香港丸にて來連せる大林組工務監督中根縫一氏は目下滿洲において大林組の手で工事中の奉天、新京、旅順、蘇家屯、溝幇子等の工事現場を約一ケ月に亘り監督視察する豫定であると

依然不安な東支線と呼海線
通信の杜絕で運轉狀況不明

最近における東支線および呼海線の運轉狀況は左の如くである

一、東支東部線は三日より日軍および護路軍警乘しハルビン愛河間普通第三列車を運轉す

二、西部線は東支側の報道によれば滿溝以西の通信破壞され詳細不明であるが安達は既に匪賊に占領せられあるものゝ如くであると

三、一日チチハル發の列車は未だハルピンには到着せず

四、海倫呼蘭間は三日正午開通の見込

但しその後の情報によれば三日東支東部線は二層甸子が匪賊のため電信線を破壞され、同所以東の通信が全然杜絕したため情況不明であり、從つて三日運轉の第三列車は一面坡以東にあるものと見られてゐるが確な所在判明せず、四日以後の運轉も目下のところ氣遣はれてゐる、次いで西部線については安達ハルピン間の通信も杜絕し運轉復舊の見込は全然立たぬ

滿洲視察團
二日東京出發（貴族院）

【東京三日發】貴族院では承認後の滿洲視察の爲め各派より代表十一名を選び派遣するに決し團長井上匡四郎子及び津村重舍氏は二日出發したが青木以下六氏は三日夜出發した、尚殘りの山内一次、今井五介氏等は一兩日遲れて出發、京城で勢揃ひの筈である

訪滿自轉車隊
きのふ着奉

八月十日東京を出發した日滿親善訪滿自轉車隊一行六名は九月二十八日新義州に到着し三日安奉線にて來奉十間房西本願寺に到つたが四日は軍司令部訪問したが一兩日中に新京に向ふはず【奉天電話】

看守誣告事件
四日午前十時開廷

大連刑務所前市刑務支所の怪聞を投書した元同支所看守木下茂喜（三九）同十時航一郎（三九）兩名にかゝる誣告事件の公判は四日午前十時大連地方法院小田判官係開廷立會井關檢察官（高井檢察官代理）は被告木下に懲役五月、十時に懲役四月を求刑引續き高橋、竹田、長谷隈辯護人の無罪論があつた、來る十月十一日判決言渡

簡保相談所

大連簡易保險健康相談所の九月中に於ける利用數は初診者百六十九名、再診者九百七十七名、合計千百四十六名で之れを性別にすると男子五百七十一名、女子五百七十六名、これを前月の初診者二百十八名、再診者千二十六名、合計千二百四十四名に比較すると九十八名の減少である

郵便拂下增加

郵便貯金の利子値下げ五厘の最近据置貯金および月掛郵便貯金の拂下げを遞信局に請求する者頓に增加したがその數は初日の一日が百三十一名、二日は日曜、三日は二百餘名に達してゐると

練習艦春日

海軍運用練習艦春日は七日午前仁川より廻航來連の上十日午後四時出港すると

野村中將の渡米中止

【ワシントン三日發】日本政府は駐米大使館に對し去る八月日米親善特派使節として野村中將を派遣する事となつてゐたが上海で受けた負傷部の治癒思はしからず日々治療を必要とするを以て中將の渡米中止と通告した

汪精衞の病狀

【上海四日發】汪精衞は糖尿病と判明した

綾龍大連護送

大連署の手配となつてゐた美少年賊は八千圓藝妓綾龍こと永流綾子は大連署より引取に來た刑事に渡され四日の「はと」で大連に護送された【奉天電話】

學童使節謝電

訪滿學童使節として來滿日滿親善に多大の貢獻をなした使節一行の代表者西村博士より四日午後本社宛左の如き謝電があつた

只今安東にて滿洲國に對する最後の任を果し一同元氣よく平壤に向ふ、貴紙を通じて皆樣によろしく、西村

●大連幼稚園　秋季運動會は五日午前九時より開催

安樂椅子

二日深更星ケ浦方面に匪賊が現はれた、その匪賊が星ケ浦在住の富豪や旅館を襲撃する計畫だつたと聞いて第一番に慄へあがつたのは星の家の女中さん達。

◇……直近くの公園前のモダーン派出所にお巡りさんたちの出入頻繁「ソレそこへ行つた」「ソラあつちへ逃げた」と物々しいざわめきを聞くにつけても恐ろしくてならず一同自動車で逃げ仕度までして派出所にドヤドヤと亂入?「私、どうしませう〳〵」

◇……「何に大丈夫だ、頭目が捕まつた、警戒がしてあるから狼狽てるには及ばぬ」と諭されてヤツト安心、こんな時に何によりも賴りはお巡りさん達とばかり、假にお茶を運ぶやら、名物の麥饅頭を持つて來るやら、派出所は時ならぬ賑やかさ。

◇……で、思ひもかけずチヤホヤもてなされたお巡さん達有卦に入り「ウツエへ、こんなことなら匪賊騷ぎも滿更ではないぞ―」

鐵道部技術員小林正之儀呼海鐵路に出張中九月二十六日匪賊の襲擊に遭ひ殉職致候に就ては十月六日午後三時大連協和會館に於て葬儀執行仕候

昭和七年十月五日

南滿洲鐵道株式會社 鐵道部長 村上義一

公示催告

大連市山縣通貳百貳拾壹番地 申立人 國際運輸株式會社 右法律上代理人代表取締役 築島信司

目錄番號	證券ノ名稱及番號	副狀通數	作成年月日	運送人	運送品ノ種類	發送地	到着地	副狀一通ニ對スル重量	副狀一通ニ對スル個數	荷送人	荷受人
一	中東南滿連絡運送狀副狀 自第九八六[illegible]號 至第九八六[illegible]號	参	千九百三十二年九月十七日	中東鐵道	大豆	ハルビン八區	大連埠頭	二九、九九〇瓩	三五二袋	成發東	ルイドレフス
二	同 自第九八[illegible]號 至第九八[illegible]號	壹七	同	同	同	同	同	同	同	同	同
三	同 自第九八[illegible]號 至第九八[illegible]號	壹壹	同九月八日	同	同	同	同	同	同	同	同
四	同 自第九八[illegible]號 至第九八[illegible]號	壹〇	同九月七日	同	同	同	同	同	同	三井物產會社	三井物產會社
五	同 自第九八[illegible]號 至第九八[illegible]號	五	同	同	同	同	同	同	同	同	同
六	同 自第九八[illegible]號 至第九八[illegible]號	貳〇	同	同	同	同	同	同	同	同	同
七	同 自第九八[illegible]號 至第九八[illegible]號	参	同九月八日	同	同	同	同	同	同	同	同
八	同 自第九八[illegible]號 至第九八[illegible]號	四	同	同	同	同	同	同	同	同	同
九	同 自第九八[illegible]號 至第九八[illegible]號	壹七	同	同	同	同	同	同	同	同	同
一〇	同 自第九八[illegible]號 至第九八[illegible]號	六	同九月七日	同	同	同	同	同	同	三菱	三菱
一一	同 自第九八[illegible]號 至第九八[illegible]號	六四	同九月八日	同	同	同	同	同	同	成發東	東亞公司
一二	同 自第九八[illegible]號 至第九八[illegible]號	五	同	同	同	同	同	同	同	同	同
一三	同 自第九八[illegible]號 至第九八[illegible]號	壹五	同	同	同	同	同	同	同	同	同
一四	同 自第九八[illegible]號 至第九八[illegible]號	壹参	同	同	同	同	同	同	同	同	同
一五	同 自第六[illegible]號 至第六[illegible]號	貳八	同	同	同	インテンダンスキー	同	同	同	同	同
一六	同 自第[illegible]號 至第[illegible]號	五	同	同	同	四ハルビン	同	同	同	同	同
一七	同 自第[illegible]號 至第[illegible]號	参	同九月六日	同	同	阿什河	同	同	同	同	同
一八	同 第一〇四號	壹	同九月八日	同	引越荷	ハルビン驛	大連	二〇瓩	一	國際運輸	國際運輸
一九	同 第[illegible]號	壹	同	同	同	同	大連埠頭	五五瓩	五	國際運輸	持參人

右證書ニ付キ前記申立人ヨリ公示催告ノ申立ヲ爲シタルニヨリ其所持人ハ昭和八年四月十五日午前九時迄ニ當法院ニ權利ヲ屆出テ且ツ其證書ヲ提出スヘシ若シ右期日迄ニ屆出及ヒ提出ヲ爲サヽルニ於テハ其無効ヲ宣言スルコトアル可シ

昭和七年十月三日

關東廳地方法院

曙の鐘 (427)

倉田潮 河野想多畫

毒盃（一）

平津は己の一身を犧牲にして、芳川さより子を訴へ、お夏の罪を輕くしたが、まだそれだけでは滿足が出來なかつた。

未決に放りこまれて暗い日を送つて行くのはそれほど苦にもならなかつたが、自己の一身を犧牲にして糺彈した芳川さより子とが眞の犯人でないとすれば、あけみの謀にのつた譯になる。だが、より子が眞の犯人でないと思ふのは、あけみの云つた通り

「昔、自分がより子と甘い關係があつた爲めに無意識により子に同情してる」

爲だらうか。それも多少はあるかも知れない。が、それかと云つて、あけみの今迄の態度や處置には疑ひをかけずにはすまされぬところがある。

あけみは事件の眞相を殘る隈なく知つてゐるらしい。そして、己の心のまゝに人を牢獄に送つたり出してやつたりする。それだけでもあけみに疑ひをかける餘地は十分あるではないか。

芳川さより子とは明に被害者に害惡を加へたのだから、相應な罪の報いをうけるのは至當である。が、罪の報いをうけ可き者はもう一人外にありはしないか。

「何うせ俺はこんな豚箱の中で死ぬ人間ではないのだから」と平津はニヤ／＼笑ひながら考へ續けた「何うせ俺は近く陽の目を見る時が來るのだから、その時期を少し早めて、明日にもこの豚箱を蹴破つて外に出ようか。そして、最一人の罪の報いをうけべき人があるなら、その人をも一緒に連れて來ようか」

平津はもとよりこんな未決なぞを破るのは譯ないことであつた。時々人が中に這入つて來るではないか。その人を鳥渡くびり上げてそのかへ玉として出て行けばよいのである。が、彼は成るべくならば人を苦めずに出て行きたいのである。芳川の家から警察に連れて行かれる中に彼の選んだ暴力は、餘儀なくやつたことなのだが、今は十分時間があるから、あんな無理を通さずとも外によい方法がないことはなからう。

平津が其の方法を考へてゐると署長が使ひをよこして逢ひ度いと云つて來た。平津は此處の署長が好きだつた。平津に對するばかりでなく總ての者に對して出來るだけ寛大を許してあるらしい。特に平津に對しては一寸恐縮するほどの禮を以て接してゐる。

署長室のドアを押すと、平津は友達の家にでも這入つて行くやうなゆつたりした氣持で、笑ひながら椅子の前に立つた。

「おかけ下さい」

と今日に限つて署長は嚴しい面持をなして云ひながら、自分は立ち上つて後の扉をしめた。コンクリ五階建の大きい署内の物音も、扉が厚いので急に室内に聞えて來なくなつた。署長は再び席に戻ると

「平津さん、今日は秘密に御相談したいことがあつて御よび申しました」

と椅子をすゝめた。平津も椅子をすゝめて答へた。

「何んな御用ですか」

「これは私一個人として申上げることですが、私は以前からあなたのなされたことを新聞で讀み、また御經歷をあなたの同鄕の人から聞いてよく知つてゐるばかりか、あなたのなされたことが一私人の利益の爲でなく、日本國家全體の爲に犧牲となつて執行されたことだと知つて、職務柄をも忘れて非常に共鳴してゐるのです。で、公人としての私は何時までもこゝにあなたを止めておいて十分取りしらべなければならないのですが、さうすればかへつて日本人としての私の本分がつくせません。日本人として考へるとあなたをこゝに止めておくより寧ろ野に放つて日本の爲に盡して頂いた方が何れほど爲になるかしれません。で、私は職をとして、あなたにこゝから出て頂き度いと思ひますが私の微衷を入れて下さいますか」

と決心を面にあらはして言ひ切つた。

けふの放送

大連 JQAK 十月五日

▲午後七時 ニユース ▲講話「旅大北道路八景に就て」滿日社營業局長佐賀秀雄 ▲長唄「角兵衛」（後の月酒宴の島臺）唄堀邕鍵、三味線杵屋三喜乃、同三喜良 ▲マンドリン合奏（一）ウインナ行進曲（シユラメル作）（二）詩的序曲（カンナ作）滿鐵音樂會演奏部員 ▲職業紹介事項 ▲ニユース ▲氣象通報 ▲支那劇「南天門」公餘團劇社

東京 JOAK

▲五日（午後六時三十分）講演「神代の武藏野」文學博士鳥居龍藏 ▲（七時）常磐津「祝言式三番叟」（式三番）淨瑠璃常磐津文字太夫、同和佐太夫、同歌男太夫、同三都太夫、三味線同三藏、上調子同市松、同政壽郎 ▲（七時四十五分）小唄「未定」唄小林喜舞、三味線佐藤章子 ▲（八時）管絃樂（新交響樂團練習所より中繼）（一）行進曲歡喜（チユリーヌ作）（二）昭和奉讃曲（大沼哲作）（三）圓舞曲記念せよ（チユリーヌ作）（四）祝典行進曲（シユトラウス作）日本放送交響樂團、指揮平野主水

廿五周年を迎へた電機學校の活躍振り

東京市神田區錦町二丁目所在の財團法人電機學校は、目下電氣科、機械科の校内生及び電氣科の校外生を募集中であるが、同校は明治四十年の創立に係り、既に二萬四千廿九名の卒業者と、遞信省電氣主任技術者試驗合格者三千九百廿一名を出し、現在校内生四千五百餘名、校外生一萬五千餘名を有し、我邦工業教育界の權威として本邦工業界に異常の貢献を爲しつゝあることは一般周知の事實である。

同校は今年創立廿五周年に達したるを記念し、益々其の内容を充實し、名實共に斯界の權威たる陣容を整へた。詳細は同校に規則書を申込まれよ

第九回 滿日特選碁戰

先相先先番 四段 向井一男 / 三段 蒲原繁治

【7】

黑	白
●一二一リ二	○一二二ヌ二
●一二三ト十七	○一二四チ十五
●一二五ル十五	○一二六ワ十四
●一二七チ十三	○一二八ル十六
●一二九ル十七	○一三〇チ十二
●一三一ワ十三	○一三二ル十四
●一三三ヌ十六	○一三四ル十
●一三五ル十一	○一三六ヌ十
●一三七リ九	○一三八チ十一
●一三九ル十二	○一四〇カ十二

對局者の感想

黑曰く 一三五の手はこちらから打つのであつたかはつきりせんでした